

令和元年度

# 教育要覧



「ふるさと発見! 下関こどもかるた」  
平成30年12月完成!!

下関市教育委員会

# 下 関 市 民 憲 章

平成 19 年 2 月 13 日 制定

わたしたちは、美しい自然と古い歴史に恵まれたふるさと下関市を愛します。

わたしたちは、下関市民であることに誇りと責任を持って、互いに心を寄せあい、新しい理想のまちづくりをめざしてこの憲章をかかげます。

- わたしたちは **し** 自然の恵みを大切にします。
- わたしたちは **も** 燃え立つ心を大切にします。
- わたしたちは **の** 伸びゆく力を大切にします。
- わたしたちは **せ** 先人の訓えを大切にします。
- わたしたちは **き** 協働の営みを大切にします。

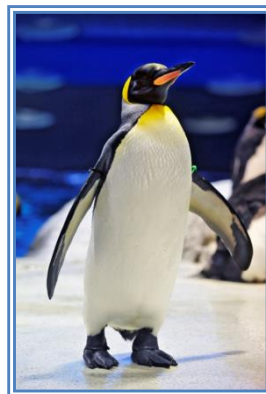
市の花「ハマユウ」



市の動物「クジラ」



市の鳥「ペンギン」



市の木「クスノキ」



市の花木「ツツジ」



市の花木「サクラ」



市の魚「フク」



市の虫「ホタル」

## はじめに

本市では、「自然と歴史と人が織りなす交流都市」を基本理念とし、その実現に向けたまちづくりを推進しております。そのまちづくりの基礎となる教育について、本市教育委員会では「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ～ ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育 ～」を教育理念とし、様々な教育課題に取り組んでいるところです。

夢に挑戦し、夢をかなえるのは、学び続けることで成長した未来の自分です。社会の変化に合わせて自分を変化させなければ、生き抜くことはできません。変化し成長するためには「学びが好き」でなくてはなりません。

さて、昨年度から小学校で、今年度から中学校で導入されている道徳科はいじめ問題対応の力点を、対処療法から原因療法へと移すことを求めています。道徳科の導入を、いじめ問題解消につなげることはもちろんのこと、子どもたちが安心して学べる学校の基盤づくりにつなげなくてはなりません。道徳科を下関教育発展の柱の一つと捉え、その充実に力を入れて参ります。

一方、グローバル化の進展とともに、経済格差が拡大し、この経済格差は学力格差につながり、この学力の格差が貧困の連鎖を招きつつあります。学校現場では、学ぶ力を身につけさせ、貧困の連鎖を断ち切ろうと、授業改善や小中連携等に必死に取り組んでいます。

しかし、生活習慣の未確立が学習習慣の確立を妨げ、小学校の早い段階で学ぶ意欲に大きな格差が生じている状況を打破することは、容易ではありません。現在の学校がもつ教育資源だけで、この課題を解決することには大変無理があると考えています。社会全体で子どもの教育と向き合う制度を整えるとともに、学ぶ風土を醸成していかなくてはなりません。

このたび刊行いたします本書は、本市教育委員会の取組を紹介するとともに、委員会内各課所館で取り組んできた事業の成果を取りまとめた内容となっております。

皆様方におかれては、本書をご高覧いただき、本市教育行政に対してなお一層のご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

下関市教育委員会  
教育長 児玉典彦



# 目 次

## ～ 本 編 ～

### ◆ 下関市の教育

1	下関市の概要	1
2	教育委員会	2
(1)	教育長・教育委員	2
(2)	教育委員会議決事項等	3
3	下関市教育理念	5
4	平成30年度教育施策の実施状況	6
1.	子供たち一人ひとりの生きる力を育てます	6
2.	学校の教育力を高めます	10
3.	社会全体の教育力を高めます	14
4.	生涯を通じて学ぶ機会を提供します	15

## ～ 資料編 ～

### I 学校教育関連資料

1	下関市学校教育指導上の努力点	23
2	市立学校一覧	24
(1)	幼稚園	24
(2)	幼保連携型認定こども園	26
(3)	小学校	28
(4)	中学校	30
(5)	高等学校	30
3	令和元年度研修計画	32
4	令和元年度研究事業一覧	33
5	下関市教育研究会	34
(1)	令和元年度部会一覧	34
(2)	研究主題	34
6	外国語指導助手派遣推進事業	34
7	特別支援教育	35
(1)	特別支援学級設置状況	35
(2)	通級指導教室活動実態	37
(3)	令和元年度就学支援状況	37
(4)	特別支援学級生徒の進路状況	38
(5)	下関市特別支援教育支援員配置状況	38
(6)	令和元年度に新設された特別支援学級	38
8	就学援助	38
(1)	就学援助費	38
(2)	特別支援教育就学奨励費	38
9	下関市奨学金制度	39

10	園・学校訪問	39
11	学校保健	40
(1)	平成30年度健康診断における疾患・異常	40
(2)	平成30年度負傷・疾病の種類別災害発生状況	41
(3)	平成30年度児童・生徒の体位比較	42
12	学校給食	42
(1)	学校給食実施状況	42
(2)	献立の作成から実施まで	42
(3)	平成30年度就学援助費(給食費)	43
(4)	学校給食共同調理場	43
13	生徒指導	44
14	教育相談	45
(1)	相談体制	45
(2)	平成30年度教育相談受理状況	45

### II 生涯学習関連資料

1	社会教育委員	46
2	図書館	46
(1)	中央図書館	46
(2)	彦島図書館	47
(3)	長府図書館	47
(4)	菊川図書館	48
(5)	豊田図書館	48
(6)	豊浦図書館	48
(7)	豊北図書室	48
3	公民館活動	49
(1)	公民館運営審議会	49
(2)	公民館設置状況	49
(3)	公民館利用状況	50
4	下関市生涯学習プラザ	51
5	生涯学習センター	52
(1)	豊田生涯学習センター	52
(2)	豊北生涯学習センター	52
6	菊川ふれあい会館	53
7	その他社会教育施設	54
(1)	豊浦ふれあいセンター	54
(2)	宇賀ふれあいセンター	54
(3)	小野ふれあいセンター	54
8	成人教育	55

(1)生涯学習まちづくり出前講座	55
(2)市民文化セミナー	58
(3)関門海峡・温故知新塾	58
(4)市民学級	58
(5)社会教育関係団体	60
(6)PTA地域活動	60
9 家庭教育	61
(1)地域ふれあい活動	61
(2)家庭教育学級(幼稚園・こども園)	62
(3)家庭教育学級(小学校)	63
(4)女性団体の育成	63
10 下関みらい塾事業	64
11 豊田ホテルの里ミュージアム	65
12 青少年教育	66
(1)青少年健全育成事業	66
(2)青少年非行防止対策業務	68
(3)青少年教育施設	69

(3)教育費予算	101
2 教育年譜	102

### Ⅲ 学術文化関係資料

1 美術館	71
2 歴史博物館	72
3 東行記念館	75
4 考古博物館	76
5 土井ヶ浜遺跡・ 人類学ミュージアム	78
6 烏山民俗資料館	81
7 豊北歴史民俗資料館	82
8 文化財保護	84
(1)下関市文化財保護審議会	84
(2)施設	85
(3)調査・保存修理	85
(4)市内の文化財	86
9 埋蔵文化財調査	96
(1)埋蔵文化財調査実績	96
(2)周知の埋蔵文化財包蔵地 (遺跡)件数	96
(3)愛護・普及活動	96
(4)埋蔵文化財関係印刷物	97
(5)主な埋蔵文化財発掘調査 成果概要	97
(6)史跡管理・保存活用	98

### Ⅳ その他資料

1 教育委員会	99
(1)機構及び事務分掌	99
(2)職員配置	100

#### 表紙

「ふるさと発見！」下関こどもかるた作成

「ふるさと下関」に対する誇りと愛情をもつ児童の育成をめざして、明治維新150年記念事業のひとつとして、ふるさとや歴史に関わる言葉を小学校3～6年生を対象に募集し、かるたを作成しました。作成したかるたは各小学校に配付し、活用しています。

## ◆ 下関市の教育

## 1 下関市の概要

## (1) 下関市の概況

本州の最西端に位置し、日本海・関門海峡・瀬戸内海と三方を海に開かれた下関市は、早くから大陸文化流入の先進地として開け、各域に多くの遺跡・文化財が残されている。

気候は温暖で、緑に富んだ景観は海の青とともに美しく、風水害の少ない住み良い自然環境をもつ都市である。

特に関門海峡は、対岸の門司と「呼べば応える」といわれるほどに狭く、関門橋の架橋下ではわずか700mたらずであり、また、この海峡は幾度も歴史上の舞台となった。

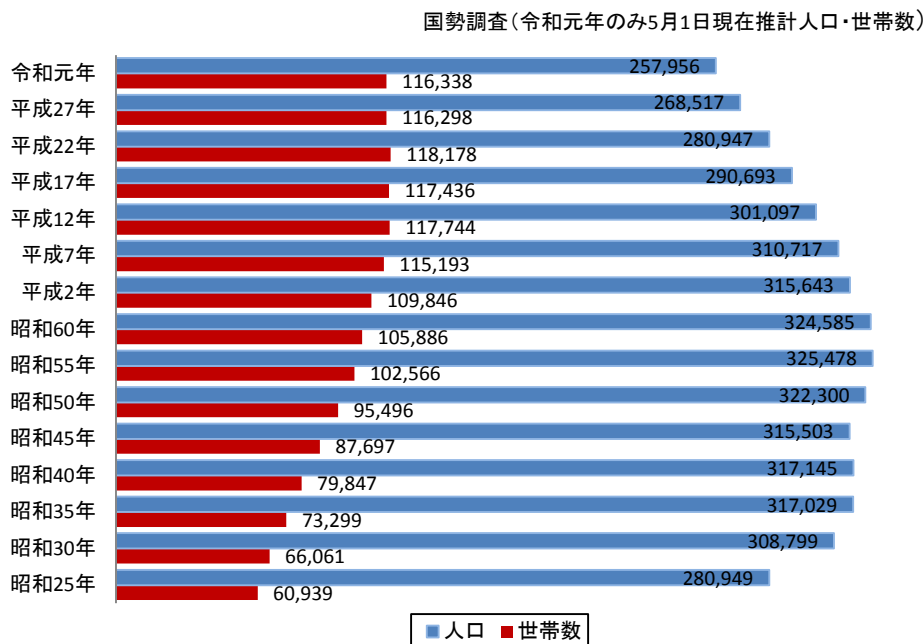
本市は、明治22年全国で初めて市制が施された31市の中の一つ赤間関市として誕生した。やがて山陽本線の開通、関門連絡船や関釜連絡船の就航等によって、九州はもとより大陸への門戸として再び活況を呈した。昭和20年、戦災によっていったんは市街が焼土と化したのが、まもなく復旧を遂げ関門国道トンネルや中国縦貫自動車道・関門橋の開通、関釜フェリー航路の開設や山陽新幹線の乗入れなどと、交通体系も大規模な整備がなされた。

平成17年2月には、豊浦郡4町（菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町）との合併により新しい下関市が誕生し、平成17年10月には中核市へ移行した。

現在、下関市は、関門海峡や響灘をはじめとする豊かな自然や歴史、地場産業に蓄積された高度な技術などを活用し、中核市にふさわしい「自然と歴史と人が織りなす交流都市」を目指して躍進している。

【面積】	715.89 k m <sup>2</sup>	(平成27年10月1日現在)
【人口】	257,956人	(令和元年5月1日現在)
【世帯】	116,338世帯	(令和元年5月1日現在)

## (2) 人口・世帯数の推移



## 2 教育委員会

### (1) 教育長



教 育 長  
児 玉 典 彦

### 教育委員



教育長職務代理者  
小 田 耕 一



委 員  
藤 井 悦 子



委 員  
吉 村 邦 彦



委 員  
児 島 ま さ 子

(令和元年5月1日現在)

役 職 名	氏 名	職 業	任 期
教 育 長	児 玉 典 彦	公 務 員	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日
教 育 長 職 務 代 理 者	小 田 耕 一	農 業	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 4 月 19 日
委 員	藤 井 悦 子	歯科医院 事 務 長	自 平成 30 年 4 月 20 日 至 令和 5 年 4 月 19 日
委 員	吉 村 邦 彦	会 社 役 員	自 平成 30 年 4 月 20 日 至 令和 4 年 4 月 19 日
委 員	児 島 ま さ 子	バイオリン 奏 者	自 平成 28 年 4 月 20 日 至 令和 2 年 4 月 19 日



## (2) 教育委員会議決事項等（平成 30 年度）

開催日	会議区分	議 案 件 名
H30. 4. 20	定例会	教育功労者表彰（篤行表彰）について
		下関市立美術館協議会委員の解嘱及び委嘱について
H30. 5. 25	定例会	平成 31 年度使用下関商業高等学校教科用図書採択について
		下関市立公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について
		下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について
		下関市立歴史博物館協議会委員の解嘱及び委嘱について
		下関市立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例
		豊浦四町公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について
		平成 30 年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について
H30. 6. 26	定例会	下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
		下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について
		下関市立図書館運営協議会委員の委嘱について
H30. 7. 27	定例会	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について
		平成 31 年度使用下関市立中学校教科用図書採択について
		平成 31 年度使用下関市立小学校教科用図書採択について
H30. 8. 20	定例会	平成 30 年度教育予算の補正（9 月）について
		平成 31 年度使用下関市立小・中学校一般図書採択について
		平成 31 年度使用下関商業高等学校教科用図書採択について
		下関市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則
		債権の放棄に係る報告について
H30. 9. 18	定例会	下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則
		教育功労者表彰について
		下関市指定管理候補者選定委員会（下関市小野ふれあいセンター）委員の委嘱について
H30. 10. 24	定例会	議案審議なし（報告事項のみ）
H30. 11. 27	定例会	平成 30 年度教育予算の補正（12 月）について
		下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
H30. 12. 26	定例会	平成 31 年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について
		下関市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則
		平成 30 年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について
		下関市立高等学校管理規則の一部を改正する規則
H31. 1. 24	定例会	下関市立歴史博物館協議会委員の委嘱について
H31. 2. 21	定例会	平成 30 年度教育予算の補正（3 月）について
		平成 31 年度教育予算について
		下関市附属機関設置条例の一部を改正する条例
		下関市立青年の家の管理等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市公民館の設置等に関する条例の一部を改正する条例

開催日	会議区分	議 案 件 名
H31. 2. 21 (つづき)	定例会 (つづき)	下関市生涯学習プラザの設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市学習等供用会館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		重要文化財旧英国領事館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立美術館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立歴史博物館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立東行記念館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		財産の取得について
		下関市立豊北歴史民俗資料館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市菊川ふれあい会館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市菊川青年交流館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		豊田ホテルの里ミュージアムの設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市生涯学習センターの設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市滝部活動拠点施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市角島開発総合センターの設置等に関する条例の一部を改正する条例
工事請負契約締結について		
H31. 3. 8	臨時会	平成 31 年度小・中学校教職員の人事異動について
		平成 31 年度幼稚園教員の人事異動について
		平成 31 年度教育技能士・校務技士・学校給食調理員の人事異動について
		工事請負契約締結について
H31. 3. 27	定例会	下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令
		下関市教育委員会公印規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会職員職名規程の一部を改正する訓令
		下関市立学校適正規模・適正配置検討委員会規則
		下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
		重要文化財旧下関英国領事館の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		下関市立美術館の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		下関市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則

### 3 下関市教育理念

## 夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志

～ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育～

現在、少子高齢化の進行やグローバル化・高度情報化の進展に伴い、家庭や地域社会の変容、個人の生活スタイルの多様化など、私たちを取りまく環境は大きく変化しています。

こうした変化や複雑化・多様化する様々な課題に柔軟に対応し、誰もが未来に向けてよりよく生きることができるよう、生涯にわたって学び続けることが大切です。そして、学びから得た力を自分のためだけでなく、社会全体のために役立てようとする心情・態度を育てることが、現在求められています。

そこで、下関市教育委員会では、上記の教育理念を掲げ、教育のさらなる充実・発展に努めてまいります。

「夢への挑戦」には、自分の可能性を信じ、夢に向かってあきらめずに挑戦してほしいという願いが込められています。

夢へ挑戦するためには、「生き抜く力」が必要となります。

#### 【生き抜く力】

- どのような状況においても、主体的に課題を探求する力
- 柔軟に物事をとらえ、的確に判断し、行動する力
- 他者を思いやり、感謝する心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力
- 世界的な視野をもち、多様な集団において人間関係を形成し、協働する力

このような力を身につけて、郷土の自然や人、歴史、伝統、文化に「誇り」をもち、「志」を胸に抱いて社会で活躍する人材を育てていきたいと考えます。

「ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育」には、学校、家庭、地域において、誰もがつながり、子どもも大人も一緒になって学び続ける姿を思い描いています。生涯にわたって学び続ける大人の姿を見て、子どもたちもあこがれの念を抱き、未来への希望を強くもつことができるでしょう。

わたしたちは一人ではありません。みんなが支え合い、かかわり合うことによって、より一層輝く可能性を生み出すことができます。大人から子ども、過去から未来へのつながりを大切にして、わくわくするような未来をともに創っていきましょう！

## 4 平成 30 年度教育施策の実施状況

### 1. 子供たち一人ひとりの生きる力を育てます

#### (1) 確かな学力の育成

##### ①基礎基本の定着と学力の向上

###### ア) 学習指導の充実 〈教育研修課〉

各学校における授業改善を推進するために、新学習指導要領の全面実施に向けて「下関スタンダード（授業の基礎・基本 vol.1・2）」の見直しを図り、「下関スタンダード（授業を振り返る）」<sup>※1</sup>を作成した。また、「授業づくりと評価の手引き【改訂版】（県教育委員会作成）」を配付するとともに、研修会を開催し、効果的な活用の仕方等について周知を図った。併せて、指導主事による計画的な学校訪問や研修支援訪問、学校からの要請に応じた訪問等を行い、「子供の実態を踏まえた授業」「かかわり合いのある授業」「見通しと振り返りのある授業」の更なる推進を図った。若手教員（1～3年目）の指導力の向上については、若手育成1000日プラン（たんぼぼ作戦）の実施により、定期的に指導助言を行うとともに、特に支援を要する教員には重点的に関わるように努めた。

また、学習指導の充実に向けて、中学校区ごとに児童生徒の課題を協議する学力向上連絡協議会を開催し、学力の向上に向けた共通取組事項を定め、学習規律や家庭学習の手引きを作成する等、積極的な取組が行われている。

※1「下関スタンダード（授業を振り返る）」：市内の学力向上推進リーダー、推進教員、英語教育推進教員を中心に作成したリーフレット。新学習指導要領全面実施に向けて、①これまでの指導観を見直し、新しい視点を意識する、②市内の児童生徒の実態から最低限身に付ける力を再確認する、③「学びが好きな子ども」の育成の視点から「下関市らしさ」の視点を共通理解する、という3つの目的を踏まえて完成した。

###### イ) 学力調査の活用 〈教育研修課〉

全国学力・学習状況調査及び県確認問題（4月）と山口県学力定着状況確認問題（10月）を利用して、各校の課題に応じた指導助言を行うことで、年間2回の検証・改善サイクルの確立を推進した。

また、各学校が児童生徒の実態や学校の課題に応じて必要と考える知能検査や学力検査など各種調査を実施できるよう体制を整備している。

###### ウ) 学力向上プランの活用 〈教育研修課〉

確かな学力の定着に向けて教員の授業力向上を目指し下関市学力向上プランを作成し、本市における重点事項等について周知を図るとともに、各学校における学力向上プランの作成・活用について、年間2回の検証・改善のサイクルを確立し、より効果のある計画となるよう指導助言を行った。

###### エ) 家庭学習の充実 〈教育研修課〉

学びの習慣化に向けて指導の工夫・改善を図るため、各校において「家庭学習の手引き」の作成とその活用を奨励した。また、中学校区で開催する下関市学力向上連絡協議会において学力向上に向けた取組について協議し、小中連携の9年間の連続した学びを意識して、中学校区で共通の「家庭学習の手引き」の作成やノーメディア・デーや中学校の定期試験に合わせた小学校における学習週間の設定等を行う校区が増加している。

##### ②時代の進展に対応した教育の推進

###### ア) 小中連携の促進 〈教育研修課〉

小中連携については、コミュニティ・スクールの取組がより一層進み、小・中学校の共通課題に応じ各中学校区での協議会設置や合同の研修会、熟議の開催など、小・中学校教職員の相互理解が増し、互いに協力して児童生徒を育てていこうとする意識が高まるとともに小・中学校が目指す児童生徒像に向けて協力できる体制が更に整ってきている。

また、小・中学校間における「乗り入れ授業」や「出前授業」の取組を進めている学校が増えてきており、小・中学校における接続期のなめらかな連携及び教員の小中連携にもつながっている。小中連携に関する研修会を実施し、小中連携の効果的な進め方等について学ぶ機会を提供した。

さらに、県教育委員会の小中連携に関わる指定事業を受け、特に授業力向上の面での連携を深め、研修会等で他の校区にもその成果を広めた。

###### イ) へき地・複式教育の充実 〈教育研修課〉

へき地及び複式学級を有する学校（11校）の学校運営や学習指導等についての改善を図るため、指定校研究協議会を蓋井小学校で開催し、公開授業及び部会ごとの研究協議、研究の取組紹介等を行った。学習の個別化、活躍の場の保障等といった、一人ひとりを大切にされた指導が小規模校の強みであ

ることを再認識するとともに、地域の特色を生かした教育の推進について研修を行い、理解を深めた。

#### ウ) 情報教育の推進 〈教育研修課／学校支援課〉

学校における「教科指導におけるICTの活用推進」及び「校務の情報化の推進」等を図るため、ICT推進委員会を開催した。

また、タブレット端末の導入に伴い、その操作や活用方法に関する研修会を行うとともに、タブレット端末の基本的な操作や活用例を掲載した事例集の活用促進を図るなど小・中学校におけるICT活用推進のための環境整備等を行った。併せて、校務の電子化に向けて、ICT推進委員会において、教職員からの個別相談に応じた支援を行うなど、校務の効率化を図ることができるよう環境整備を行った。

さらに、プログラミング教育の導入に向け、専門的知識を有する山口県立下関工科高等学校と連携し、小学校における研修会や授業に講師を派遣した。

#### エ) 外国語教育の充実 〈教育研修課〉

外国語指導助手（ALT）を下関商業高等学校及び認定こども園、幼稚園、小・中学校に派遣し、外国語教育の充実に努めるとともに、ALTとの交流を通して国際交流及び相互理解の促進を図った。高等学校と中学校での英語科授業への派遣と、小学校外国語活動での補助として、14人のALTを延べ2,600日程度派遣した。

小学校外国語活動に係る研修会では、指導経験に応じたプログラムを用意し、模擬授業等を通じて、指導力と実践力の向上を図った。また、2日間のイングリッシュ・キャンプでは、ALTとの様々なコミュニケーション活動を通して、英語に対する興味・関心を高めるとともに、国際理解を深めることができた。

新たに平成29年度から始まった派遣研修（釜山グローバルビレッジ）では、英語による研修を通して、英語教育指導力の向上を図るとともに、中核となって英語教育を牽引していく人材の育成を図っている。

また、各学校における外国語活動が円滑に進むよう、年間計画や時間割の作成例などについて情報提供を行った。

### ③ キャリア教育の推進

#### ア) 発達段階に応じたキャリア教育の推進 〈教育研修課〉

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「人権教育推進資料」並びに県教育委員会作成の「学習展開例」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図った。初任者、フォローアップ、6年次の各研修においても人権教育の内容を必ず扱った。

### ④ ビジネス教育の推進

#### ア) ビジネス教育の推進 〈下関商業高等学校〉

ビジネス社会に適応できる人材を育てるため、ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得、保護者・地域との連携、学校行事・部活動の活性化を図った。特に、簿記等に関しては、公認会計士試験（短答式）に1人、税理士試験（財務諸表論）に1人、（簿記論）に3人、日本商工会議所簿記検定1級に4人、全国経理教育協会主催簿記能力検定上級に2人の生徒が合格し、これに続く可能性のある生徒もおり、高大連携授業の結果が出せる体制が整ってきた。

#### イ) 情報処理教育の充実 〈下関商業高等学校〉

生徒が下関商業高等学校コンピュータシステムを利用できるように、パソコン等電算機器及び校内ネットワークを導入している。

## (2) 豊かな心の育成

### ① 思いやりのある豊かな心を育む教育の推進

#### ア) 道徳教育の充実 〈教育研修課〉

「特別の教科 道徳」の全面実施に向けて、中学校においては、学校の道徳教育の目標や重点内容項目の明確化、各学校の実情に合った道徳教育の全体計画及び別葉の作成に取り組んだ。小・中学校とともに、県教育委員会が作成した指導資料の紹介をすることで、道徳教育推進教師<sup>※1</sup>の役割や特色ある

道徳教育の実践事例・取組の啓発を行った。

また、県教育委員会から「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト（平成 29・30 年度指定：東部中学校、平成 30・31 年度指定：西市小学校）の指定を受けるとともに、道徳教育研修会の開催等を通して、授業の質の向上に努めた。

※1「道徳教育推進教師」：校内の道徳教育の指導体制の中心として位置付けられた道徳教育の推進を主に担当する教師

#### イ) 人権教育の充実 〈教育研修課〉

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」並びに県教育委員会作成の「学習展開例」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図るとともに、初任者研修、フォローアップ（2・3 年次）研修、6 年次研修、中堅教諭等資質向上研修など、全ての義務研修において人権教育に関する研修講座を実施し、計画的に人権教育の研修を行った。

#### ウ) いのちの教育の充実 〈教育研修課〉

「下関市いのちの日」における「命の尊厳」について考える取組の充実として、外部講師を招いた講演会を実施するなど、保護者、地域関係機関と連携した取組を進め、自他の生命を尊重する心や思いやりの心を育む取組の充実を図った。「特別の教科 道徳」等との関連を図りながら、計画的、継続的に実施することが必要である。

#### エ) 特別活動の充実 〈教育研修課〉

特別活動の推進により、子供たちがより良い生活や望ましい人間関係を築くことを目指している。各小・中学校においては、9 年間を通した自然体験活動やボランティア活動等、体験活動の充実や AFPY※等、人間関係づくりのプログラムを計画的に実施することで特別活動の充実を図っている。

※AFPY…他者とのかかわり合う活動を通して個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方や行動の在り方を学び合う山口県独自の体験学習法

#### オ) 読書活動の充実 〈教育研修課〉

各学校においては、朝読書や図書ボランティア等による読み聞かせなど、家庭や地域と連携しながら継続した読書活動を進めている。

また、平成 27 年度から市内に 5 人の学校司書を配置し、教員との連携による学校図書館のセンター機能（読書・学習・情報）の向上を図っている。平成 28・29 年度は、勤務形態を拠点校と兼務校にすることにより、勤務する学校数を増やし、取組の拡大を図った。平成 30 年度は 5 人を増員し 10 人が 32 校兼務している。

なお、学校司書を対象とした研修会を年間 5 回行い、学校司書の資質向上を図った。これまでの成果と課題を検証し、今後の取組につなげていきたい。

#### カ) 姉妹校交流 〈下関商業高等学校〉

韓国の開成高等学校から生徒 4 人及び教職員 4 人を下関商業高等学校に迎え、交流式典、親善交歓会等の相互交流を行い、両国の善隣友好を担える人材の育成を行った。

また、下関商業高等学校から生徒 36 人及び教職員 7 人が鹿児島商業高等学校を訪問し、交流会、生徒会交流等を行った。

## ②ふるさと学習の推進

#### ア) ふるさと学習に対する支援 〈教育研修課〉

下関歴史マップ（2,400 部）を作成し、小学校 6 年生児童全員に配付した。併せて、夏季休業中の自由課題として「大すき ふるさと下関 歴史マップ」の作品募集を行い、平成 29 年度の 27 校 781 点から応募数が増加し、29 校 966 点の応募があった。入賞作品は、ゆめシティなど 5 会場にて展示を行い、ふるさと学習の充実を図った。

また、ふるさとや歴史に関わるかるたの言葉を市内の小中学生から募集し、「ふるさと発見！！」下関歴史かるた（650 セット）を作成し、各小学校への配布を行った。

加えて、観光スポットに関わる地域の小中学校の児童生徒の中から、「ジュニア下関 PR 隊」を結成し、各地域の祭りや地区行事等で観光案内等を行った。

また、各学校においてはそれぞれの実態に応じて「町探検、職場見学、施設訪問、店舗見学、観光マップ制作」等の活動を取り入れ、総合的な学習の時間や社会科、生活科等の各教科指導で地域の特色や人々の営みについて学んでいる。

**③つながりを基盤とした青少年健全育成の推進****ア) 生徒指導推進体制の充実 〈学校教育課〉**

小・中学校におけるいじめ、暴力行為等の生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見・対応の充実とともに、登下校時を含む児童生徒の安全確保、学校教育に対する保護者からの指摘等に対して、生徒指導推進室が積極的に学校を訪問し、指導・支援の充実を図った。

**イ) 青少年補導センターにおける補導、相談の実施 〈生涯学習課〉**

青少年補導センター 青少年補導委員 208 人

・街頭補導回数	217 回	・街頭補導従事者数	403 人
・合同補導回数	48 回	・合同補導従事者数	455 人
・校区補導回数	1,359 回	・校区補導従事者数	7,738 人
・補導件数	2,606 件	・ヤングテレホン 相談件数	216 件

**④不登校児童・生徒の適応指導の充実****ア) 不登校児童生徒への個別支援の実施 〈学校教育課〉**

不登校児童生徒に対して、教育支援教室「かんせい」における体験活動や学習支援、フリースクールとの連携による個に応じた学びの場の提供、「教育相談室」における相談活動等を実施した。

また、学校だけでは対応が困難なケースは「カウンセリングアドバイザー<sup>※1</sup>」や「スクールソーシャルワーカー<sup>※2</sup>」を派遣し、状況の改善に努めた。

※1「カウンセリングアドバイザー」：緊急に市教育委員会から派遣する臨床心理士

※2「スクールソーシャルワーカー」：不登校や児童虐待等で家庭環境・生活環境を要因として学校の対応だけでは改善が困難な事案に対して学校に派遣される社会福祉士や精神保健福祉士等の専門家

**イ) ふれあいDAYキャンプの実施 〈学校教育課〉**

夏季休業中に、自然体験・社会体験を通して集団や社会に適応する力を養うために「ふれあいDAYキャンプ」を実施した。川遊びや野外炊事等の活動は、仲間づくりや異年齢の交流を通じて社会性や協調性、思いやりの心を育てる貴重な場となった。

**(3) 健やかな体の育成****①体力の向上****ア) 体力向上プログラムの充実 〈教育研修課〉**

全ての小・中学校において体力向上プログラムを作成し、体育科及び保健体育科の授業改善とともに、「柔軟性の向上に向けた取組」、「1校1取組」など、児童生徒や学校の実態に応じた継続的な取組を行った。

**イ) スポーツ大会の運営・支援 〈教育研修課〉**

小・中学校体育連盟主催の事業に対して支援を行うことによって、児童生徒の体力・競技力の向上を図った。

・小学校体育連盟補助金	1,042 千円
・中学校体育連盟補助金	7,954 千円

**ウ) 選手派遣の支援 〈教育研修課〉**

小・中学校体育連盟への補助事業を通して選手派遣を支援することにより、保護者の負担を軽減し、多くの選手が、より多くの大会に参加しやすい環境をつくるよう努めた。

**②健康教育の推進****ア) 健康教育に関する研修会・調査研究の実施 〈教育研修課〉**

各学校の健康教育の中核を担う、保健体育科担当教諭及び栄養教諭等を対象とした研修会を開催した。

**イ) 望ましい生活習慣形成の啓発 〈教育研修課〉**

「早寝、早起き、朝ごはん」など、望ましい生活習慣を形成するために、各校での生活アンケートの活用など、校長会や校内研修会等において指導助言を行った。

全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙における生活習慣に関する結果に着目し、今後の取組について検討していく。

### ③食育の推進

#### ア) 地場産給食の推進 〈学校保健給食課〉

地場産食材を使用した学校給食を通じて、地元の農林水産物への理解や郷土愛の醸成に努めた。

- ・地場産食材の地域品目別使用割合

	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
県内産品	65 %	61 %	59 %	59 %	55 %
市内産品	32 %	28 %	29 %	29 %	30 %

#### イ) 食育推進ボランティアの活用 〈学校保健給食課〉

小・中学校へ食育推進ボランティアを派遣し、食育教室を実施した（9回）。

併せて市内の生産者等に対して、食育推進ボランティアへの参加協力を行った。

#### ウ) 食に関する指導の充実 〈教育研修課〉

市内全小・中学校において、栄養教諭、学校栄養職員による児童生徒の食生活の実態に沿った食に関する授業実践や食に関する指導を行った。また、食に関する指導の学習効果を上げるために、栄養教諭や学校栄養職員の資質向上、授業力向上につながる研修を進めた。

さらに、食に関する指導研修会（栄養教諭配置校訪問）では、授業研究や参加者のグループ協議などを通して、参加者の学校の実態に応じた食育推進の取組についての支援を行った。

#### エ) 学校給食の充実 〈学校保健給食課〉

栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の保持増進、体位の向上を図っている。地元の農業や食文化への理解を深めるため、地元の食材を取り入れることで、学校給食の目標の1つである食育の推進を図った。

## (4) 子供たちの状況に応じたきめ細かな教育の推進

### ①特別支援教育の推進

#### ア) 下関市教育支援委員会の開催 〈学校教育課〉

障害のある子供の状況を正しく理解し、一人ひとりの可能性が最大限に伸長される適切な就学先や必要な教育支援について審議するため、下関市教育支援委員会<sup>(\*)</sup>を開催した。前年度と比較して審議対象児童生徒数は、ほぼ横ばいの状態であるが、教育支援委員会前に実施する就学相談会を含め、児童生徒及び保護者への丁寧な聞き取りや、一人ひとりの状況に即した審議を行うことができた。

〔(\*)平成 27 年 4 月 1 日に下関市就学指導委員会から改称〕

#### イ) 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 〈学校教育課〉

特別な支援を必要とする子供が就学する小・中学校において、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な支援・介助を行う特別支援教育支援員を配置した。

年度当初の配置後も、学校との情報共有を密に行いながら児童生徒の状況把握に努め、支援の必要性の高い学校へ順次追加配置を行う等、きめ細かな支援体制を整えた。

#### ウ) 特別支援学級就学に対する助成 〈学校教育課〉

児童生徒の特別支援学級への就学について、就学に関しての特別な事情を配慮し、保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の推進を行った。

#### エ) 特別支援学級の設備整備 〈学校支援課〉

小・中学校の特別支援学級における教育活動に必要な教材や備品などの整備を行った。

## 2. 学校の教育力を高めます

### (1) 学校の組織力の向上

#### ①組織力を高める取組

##### ア) 評価を生かした組織的な取組 〈学校教育課／教育研修課〉

市内各小・中学校が、学校評価、教職員評価、授業評価及び各調査結果を通して学校の状況を明らかにするとともに、課題を共有しながら、学校運営協議会委員等、学校関係者からの意見・要望等を取り入れ、実効性のある重点目標を設定した。



また、学校通信やWebページ、保護者会等を通して学校評価の結果を公表することで、学校の課題を家庭、地域と共有し、保護者や地域の意見を反映させる取組を進めた。

## ②教職員の適切な配置

### ア) 教職員の適正な人事管理 〈学校教育課〉

各学校において、教職員一人ひとりがそれぞれのモチベーションやキャリアステージに応じた資質能力の向上を図り、専門性を発揮しながら、特色ある学校づくり、確かな学力の育成や体力の向上、生徒指導の充実、キャリア教育の推進等の諸課題に組織的かつ適切に対応できるよう、全市的な視野に立って、人事異動を行った。

### イ) 非常勤講師の活用 〈学校教育課〉

県教育委員会と連携し、非常勤講師の配置によって、学校の実情に応じた、よりきめ細かな指導が行える体制を整えた。

## ③校種間の連携の推進

### ア) なめらかな接続のための体制づくり 〈教育研修課〉

こ幼保小連携を図るための研修会を開催し、幼児教育長期研修生による報告や校種を越えた意見交流を行った。

同じ中学校区の小学校と各園が、こ幼保小連携の取組について情報交換をしたり、連携の在り方について再確認したりする場を設けたことで、より連携が深まってきている。

小中連携の取組としては、小・中学校の共通課題に応じて各中学校区で協議会を設置したり、小・中学校合同の研修会を開催したりするなど、小・中学校教職員の相互理解が増し、互いに協力して児童生徒を育てていこうとする意識が高まるとともに協力できる体制が更に整ってきている。

また、小中一貫教育についての研究を行うため、平成 28・29 年度は名陵中学校区、平成 30 年度からは長成中学校区を指定校区とし、取組を進めている。

中高連携については、下関地域中高連携教育推進協議会を年 3 回開催し、県立高等学校の再編整備等に関する情報を共有することができた。

### イ) 小中一貫教育の推進 〈教育研修課〉

小中一貫教育の推進のため、平成 27 年度に「下関市新しい学校づくり推進委員会小中一貫教育部会」を立ち上げ、本市の実情に合った小中一貫教育の研究を開始している。特別委員として学識経験者を講師に迎え、継続的な指導を受けるとともに、先進地視察等を行った。また、平成 28 年度より 2 年間、「小中一貫教育研究推進校」として、名陵中学校区を指定し、地域の特色を生かした名陵中学校区にふさわしい小中一貫教育の在り方について研究に取り組んだ。また、平成 30 年度からは、長成中学校区を研究推進校区として、一小学校一中学校における、よりよい小中一貫教育の在り方について研究している。

さらに、平成 28 年度から小中連携・一貫教育に関する中核市研修を実施し、教員への研修機会を確保している。

## (2) 教職員の指導力の向上

### ①指導力を高める研修の実施

#### ア) 教職員の経験に応じた研修の実施 〈教育研修課〉

平成 30 年 3 月に策定された「山口県教員育成指標」に基づいて、教職員一人ひとりの資質向上を図るために、「基本研修」・「専門研修」・「希望研修」等、6 つの研修体系・研修計画を整え、どの研修が育成指標のどこに対応しているのかを意識した「育成指標対応表」を作成した。教職員のキャリアステージに対応するため、初任者、2 年次、3 年次、6 年次及び中堅教諭を対象に、職務に関する専門的知識と実践上の課題について、それぞれの経験に応じた研修を実施した。研修においては、実際の授業を参観したり、模擬授業を行ったりするなど、より実践的な研修になるよう運営の工夫を行っている。

今後は、教育公務員特例法（昭和 24 年法律第 1 号）等の一部改正に基づき教員の研修体制の見直し等を慎重に行い、これからの学校教育を担う教員の資質の向上を目指していく必要がある。

#### イ) 教職員の専門性を高める研修の実施 〈教育研修課〉

教職員の資質向上を図り、より質の高い教育を提供するため、認定こども園、幼稚園・小・中・高等学校教職員に対して、中核市として市独自に教職員研修講座を全 54 講座開催した。

また、下関市教育センター供用開始に併せ研修内容を整理し、新学習指導要領実践研修会等、教職

員のニーズや学校における様々な教育問題に対応した研修会を行っており、研修後のアンケートからは、受講者の満足度が常に高い結果となっている。

さらに、自主研修会「わくわく教師塾」や指導主事等による要請訪問等を引き続き行い、「学びが好きな子ども」の育成・「学びの街・下関」の創造に向けて、自らが学び続ける教職員を目指している。

#### ウ) 下関市教育祭の実施 〈教育研修課〉

平成30年8月23日、海峡メッセ下関において、約1,500人の教職員及びPTA関係者の参加を得て開催した。主な内容としては、実践発表「下関におけるビジネス教育の取組～下関に根ざした人材育成の実践～（下関商業高）」、「一人ひとりを大切にする保育～いのちの日の取組から～（川棚こども園）」、「人権教育の推進（市教委）」、教育講演「言葉のちから 無限大！（講師：岩崎由純）」を行った。

また、教育長メッセージとして、教育長の思いを市内の全教職員に直接伝えることができる場となった。

今後は、「働き方改革」における業務改善の視点を踏まえて、教職員が一堂に会する形での教育祭は実施しないこととしている。

[趣旨] 教育関係者が本市教育に関与する者としての自覚を深め、教育意欲の高揚を図るとともに、本市教育の現状と課題を認識し、これからの進むべき方向性を確認することにより、教育理念である「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ～ともに学び とともに育み 未来(あす)を創る 下関の教育～」の実現に真に努めること。

#### エ) 指導主事等の派遣による校内研修などへの支援体制の充実 〈教育研修課〉

全ての認定こども園・幼稚園、小・中学校に、年1回研修支援訪問を行うとともに、各園・学校からの要請に応じて、その都度校内研修等に指導主事等を派遣し、教職員の指導力向上のための支援を行った。また、担当園・学校や専門分野を決めて日常的に指導主事等が園・学校訪問を行うことにより、学力向上や生徒指導、特別支援教育、新学習指導要領に関する情報提供等、園・学校の課題に応じたきめ細かな支援に努めた。園・学校と教育委員会が連携を図りながら、研修の成果や課題、今後の方向性を確認する場となっている。

さらに、県教育委員会の園・学校訪問にも同行し、県市が協力して、学校の研修の充実、教員の授業力向上に向けて支援を行った。

### ②教育センターの整備・運営

#### ア) 教育センターの整備・運営 〈教育研修課／教育政策課〉

平成28年1月29日に整備工事が完成し、平成28年3月22日から上田中町庁舎で執務していた教育委員会事務局の一部が移転し教育センターの運用を開始し、4年目を迎えている。

教育センター研修室等全体の平成30年度の稼働率は約70.9パーセント、利用延べ人数は39,667人となった。

各種研修・会議等が実施されており、教職員の研修拠点として有効活用されている。

### (3) 教育環境の整備

#### ①市立学校の適正規模・適正配置の推進

##### ア) 市立小・中学校の適正規模・適正配置の推進 〈教育政策課〉

第2期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画※<sup>1</sup>（計画期間：平成27年度～平成31年度）に基づき学校統合に向けた合意形成を進めるため、「学校統合に関する意見交換会」を3回開催した。

本計画に示す統合対象校のうち、豊北地区の角島小学校（児童数26人）、阿川小学校（児童数32人）及び栗野小学校（児童数8人）において、角島小校区では平成30年6月に、阿川小校区、栗野小校区では同年9月に、「2020年4月に現在の下関市立滝部小学校の位置に豊北地区全ての小学校統合を目標とすること」が確認・決定をされ、同年11月に各校区の代表者より「学校統合に関する要望書」が市長及び教育長へ提出された。

翌月には4校（角島小・阿川小・栗野小・滝部小）の代表者による会合が開催され、統合に関しての基本的な事項（統合後の学校位置、学校指定用品の取扱等）確認後、豊北町各地区の代表者を構成員とした「下関市豊北地区統合小学校開校準備協議会」が設置された。

適正規模・適正配置事業を積極的かつ効果的に進めるため、教育に関する専門的知識や経験を有する職員（適正規模アドバイザー）を、引き続き配置することで、学校との緊密な連携や保護者・地域住民に対するわかりやすく説得力のある説明等を行い、一層の事業推進を図った。

※1「第2期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画」：少子化に伴い、市立小中学校の小規模化が進行する中、将来にわたって義務教育の教育水準の維持・向上を図り、子供たち一人ひとりの「生き抜く力」を育てることができる、よりよい教育環境を提供することを目的として策定された計画

## ②私学教育の振興

### ア) 私学に対する助成 〈学校教育課／教育政策課〉

私立学校等の特色ある教育事業を促進し、本市の学校教育の発展を図るため、私立中学校、私立高等学校及び私立専修学校に対し、事業の実施等に係る経費の一部を助成した。

## ③学校給食施設の管理運営

### ア) 学校給食施設の衛生管理 〈学校保健給食課〉

子供たちに安全・安心で栄養に配慮した学校給食を提供するために、学校給食従事者の研修や衛生機器の更新を図り、衛生管理の徹底に努めた。

### イ) 給食施設の管理運営 〈学校保健給食課〉

子供たちに安全・安心で栄養に配慮した学校給食を提供するために、<sup>ちゅう</sup>厨房機器の更新を行うとともに、給食施設の維持管理や食材調達の円滑化に努めた。

## ④安全な施設、教材教具等の整備

### ア) 学校施設の耐震化 〈学校支援課〉

「下関市立小・中学校耐震化計画」に基づいて、計画的かつ効率的に学校施設の耐震化を行い一定のめどが立った

### イ) 学校施設の長寿命化 〈学校支援課〉

小・中学校施設の9割が建築後25年を経過している状況において、小・中学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるため、従来の建替ではなく、長寿命化改修によりコストを抑えながら学校施設の安全面や機能の改善を図り、児童生徒に安全で機能的な教室環境を提供する。

老朽化により劣化の進行した学校施設の構造体（柱、梁、壁、床等）の耐久性と建物の安全性を向上させながら、内外装を改修し、機能や性能を現在の学校が求められる水準まで引き上げる小・中学校長寿命化事業に取り組んでおり、長寿命化事業対象校舎の基礎調査を実施中である。

### ウ) 学校施設の整備 〈学校支援課〉

小・中学校の安全で安心な教育環境を維持するため学校施設の修繕、改修工事等を実施し、教室の環境に係る望ましい温度を確保するため、小・中学校の普通教室・特別支援教室・通級教室にエアコンの整備を行っていく。

また、現在の建築基準法に適合しないもの及び大地震の際において倒壊につながるおそれのあるブロック塀の改修を行っていく。

### エ) 教材教具の整備 〈学校支援課〉

小・中学校における教材教具の整備を図った。

### オ) 学校図書の実践 〈学校支援課〉

小・中学校の図書室における学校図書の整備を行った。

## ⑤就学に対する支援

### ア) 奨学金の貸付 〈学校教育課〉

有用な人材育成のため、向学心があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者に対し、学資を貸し付け、支援した。

### イ) 学用品費等の援助 〈学校教育課〉

義務教育について、経済的理由によって就学が困難な市立学校（県立中等教育学校を含む。）の児童生徒の保護者へ就学援助を行った。

### ウ) 遠距離通学に対する援助 〈学校教育課〉

片道の通学距離が小学校は4キロメートル以上、中学校は6キロメートル以上の児童生徒を対象に、通学費の援助を行った。

## エ) スクールバスの運行 〈学校教育課〉

豊田、豊浦、豊北地区において、スクールバスの運行を実施した。

### 3. 社会全体の教育力を高めます

#### (1) 家庭の教育力の向上

##### ①家庭への学習支援

###### ア) 家庭の教育力を高めるための講座の実施 〈生涯学習課〉

家庭教育の充実を図るため、こども園、幼稚園及び小学校において保護者を対象に家庭教育学級を開催した。

##### ②家庭教育を支える組織の育成

###### ア) 社会教育団体の育成 〈生涯学習課〉

下関市PTA連合会及び下関市連合婦人会に補助金を交付した。

#### (2) 地域の教育力の向上

##### ①青少年健全育成の体制づくり

###### ア) 青少年健全育成のための体制整備と啓発 〈生涯学習課〉

青少年健全育成のための市民運動を展開し、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、教育・啓発活動を行った。

###### イ) 青少年団体への支援 〈生涯学習課〉

青少年団体の育成を図るため、補助金を交付した。

##### ②青少年の交流活動の場づくり

###### ア) 多様な体験活動の実施 〈生涯学習課〉

深坂自然の森「森の家下関」において、市内の小学校4年生から6年生を対象にして、「自然の中で生き抜く力を身につけること」を目的としたキャンプを実施した。

青年の家では、自主性と思いやりの心、規範意識を養い、心身ともに成長することを目的とした野外活動を実施した。

###### イ) 青少年交流施設の活用の促進 〈生涯学習課〉

青年の家において、青少年の規律ある共同生活と研修を通じて交流を深め、人間関係を育て、学校・地域・職場の活動に貢献できる青少年の育成を図った。

また、菊川青年交流館において、青年の交流を通じた自主的活動（青年団活動）の振興促進を図った。

##### ③地域活動を支える指導者の育成

###### ア) 指導者に対する研修の実施 〈生涯学習課〉

子供の指導者として活動している人や青少年の健全育成に関心を持つ人を対象に、活動する上で役立つ情報や体験活動・スポーツ等について学ぶことにより、知識・理解を広げ、指導者の資質の向上を図った。

#### (3) 学校・家庭・地域の連携

##### ①地域とともにある学校づくりの推進

###### ア) 学校における生徒指導に対する地域連携の強化 〈学校教育課〉

児童生徒の問題行動等に係る実態を把握し、保護者や地域、児童相談所や警察等の関係機関との連絡調整も踏まえ、学校とともに対処策を多角的に検討するなど適切な支援に努めている。

取組の一つとして学校・家庭等に「スクールソーシャルワーカー」を派遣し、生徒指導上の課題解決に向けて対応した。

###### イ) コミュニティ・スクールの推進 〈教育研修課〉

平成24年度に、全ての小・中学校に下関市コミュニティ・スクール運営協議会が設置され、下関市コミュニティ・スクールとして指定し、平成26年7月には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6の規定に基づき、下関市学校運営協議会規則（平成26年教育委員会規則第8号）を定め、全ての学校が法にのっとったコミュニティ・スクールへと移行した。

また、地域と学校をつなぐコーディネーターについては、全小・中学校への配置が平成 27 年 6 月に完了し、研修会を行ってきた。併せて、学校運営協議会委員等を対象とする研修会を開催し、コミュニティ・スクールの取組の充実を図った。

地域において学校運営協議会等を活用した熟議の実施等の支援を行い、学校や地域の特色を生かした地域とともにある学校づくりを引き続き目指す。

平成 30 年度の各学校の取組をきらめきネットに掲載するなど、コミュニティ・スクールに対する理解を深め、取組の充実を図った。昨年度は、全国各地から本市のコミュニティ・スクールへの視察が 13 件あるなど、全国的に注目されている。

#### ウ) 学校運営協議会の活性化 〈教育研修課〉

学校や地域の「願い」を実現するために、全小・中学校が家庭・地域と一体となり、学校運営・学校支援・地域貢献の充実を目指して学校運営協議会を実施している。

また、小・中学校が合同で学校運営協議会を実施するなど、小中連携も進んでいる。さらに、学校運営協議会委員を対象に、講演会や実践発表を行った。

#### エ) 学校応援団の組織化 〈教育研修課〉

公民館、ボランティア団体、PTA、地域住民、地域企業、自治会、ふるさと下関協育ネット、まちづくり協議会、民生委員等多くの団体や個人が学校応援団として活動している。

地域住民・保護者ボランティアによる学校支援体制づくりを目指し、学校に必要な支援内容の明確化と計画的な実施、地域住民と教職員とが協働する場の創出などに取り組んだ。

#### オ) 学校と地域との連携の強化・促進 〈教育研修課〉

学校と学校応援団、地域をつなぐコーディネーターを全小・中学校に配置し、スムーズな連携、効果的な取組を促進した。

また、コーディネーター及び地域連携担当教職員の資質向上及び活動充実のため、研修会を行った。

### ②地域の子供を地域で育てる活動の促進

#### ア) 「ふるさと下関協育ネット」及び「放課後子供教室」の実施 〈生涯学習課〉

地域の教育力向上を図ることを目的として、地域住民等の参画による「ふるさと下関協育ネット」及び「放課後子供教室」を実施した。

- ・「ふるさと下関協育ネット」事業の実施・・・26 小学校、13 中学校
- ・「放課後子供教室」の実施・・・23 教室

#### イ) 「放課後子供教室」の「放課後児童クラブ」との連携の推進 〈生涯学習課〉

「放課後子ども総合プラン」に基づき、一体型を中心とした放課後子供教室の放課後児童クラブとの連携の推進を図った。

## 4. 生涯を通じて学ぶ機会を提供します

### (1) 図書館の充実

#### ①図書館の充実

##### ア) 図書館基本計画の遂行 〈図書館政策課〉

平成 30 年 3 月に策定した下関市立図書館基本計画に基づき、年次計画を作成した。この年次計画を各図書館が遂行することにより、図書館サービスの充実を図っている。

##### イ) 図書館サービスの向上 〈図書館政策課〉

- ・ 図書等の資料の整備・充実
 

総貸出冊数	1,333,193 冊
総貸出件数	324,238 件
資料購入費	47,450 千円

- ・ 図書館の施設整備

各地域図書館の維持管理に係る修繕を行った。雨漏り修繕や、照明器具取替など老朽化した施設の整備や安全対策のために危険なレンガ塀を改修する一方、ソファ等張替などの快適な環境整備を行った。

#### ②子供の読書活動の推進

##### ア) 学校貸出用図書の充実と人材の育成 〈図書館政策課〉

学校貸出用図書を整備し、幼稚園・保育所や小・中学校等に貸出を行った。

## (2) 生涯学習の推進

### ①公民館など生涯学習拠点施設の整備と活用の促進

#### ア) 公民館等の整備と管理運営 〈生涯学習課〉

生涯学習の推進及びコミュニティ活動拠点として設置している公民館等（公民館 34 館、その他社会教育施設 6 施設）及び、指定管理者制度のもと、生涯学習プラザの管理運営を行った。

また、現在の建築基準法に適合しないブロック塀について改修を行った。

#### イ) 公民館学級の実施 〈生涯学習課〉

各公民館を中心に、地区市民学級や地域ふれあい活動を開催し、地域住民の知識や技能を高めた。

#### ウ) 各種講座の開催 〈生涯学習課〉

市民のリクエストに応じて職員等が出向く「下関市生涯学習まちづくり出前講座」や本市と北九州市が提携した「関門海峡・温故知新塾」を開催するなど、多様な学習機会の提供に努めた。

また、成人向けに豊かな生き方を学ぶ「市民文化セミナー」のほか、ジャンルを問わず第一線活躍している方々に自らの人生について語ってもらうことで、子供たちに夢や希望を与え、未来へ向けて羽ばたく人材を育成することを目的とする「下関みらい塾」を開催した。

## (3) 芸術・学術文化活動の推進

### ①美術館の環境整備

#### ア) 美術館の環境整備 〈美術館〉

建物全体の延命を図るため屋上の防水工事及び貯水槽と配管の取替を実施した。

### ②博物館など学術文化拠点の整備

#### ア) 新博物館の整備と長府博物館の改修 〈歴史博物館〉

新博物館建設計画は、博物館資料の収集保管、調査研究、展示活動を行う新館の建設と、教育普及学習支援活動を行う旧長府博物館の改修とで構成されている。新館は、平成 28 年 11 月 18 日に開館し、順調に運営している。しかしながら、旧長府博物館改修については、改修費用等の課題があり進捗していない。

#### イ) 共通収蔵庫の整備と土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムのリニューアル

##### 〈土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム／文化財保護課〉

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの敷地内に市域の人類学、考古学及び民俗学に係る資料のうち滅失するおそれのある資料を集約的に保管する各博物館等施設共通の収蔵施設を設置し、市域にある文化財の収集及び適切な保存を図るとともに、これを市民及び観光客に公開することを整備目的として、平成 28 年度から 29 年度にかけて土井ヶ浜整備事業基本構想検討委員会を開催し基本構想を策定した。

平成 30 年度は基本計画策定とならなかったため、建築関係、観光関係、博物館関係、地域団体等の外部有識者から意見を伺い、次年度以降、基本計画の策定が進むよう検討を重ねた。

#### ウ) 日清講和記念館の改修 〈歴史博物館〉

日清講和記念館については、平成 28 年 4 月 1 日から歴史博物館の分館として位置付けるとともに、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）に基づく博物館登録を行った。

昭和 12 年竣工の日清講和記念館の建物については、経年による劣化が著しいことから、劣化調査及び耐震改修等に係る協議を市関係課所と行ったが、第 2 次総合計画実施計画に未掲載となったため、引き続き検討することとなった。

近年は、台湾、中国、韓国などの東アジア諸国からの来館者が急増していることに加え、日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の構成資産となったことから、日本語のほか、中国語（簡体、韓国語）のリーフレットを作成するとともに、SNS による情報発信を積極的に行なって観覧者の利便性の向上を図った。

#### エ) 考古博物館のリニューアル等 〈文化財保護課〉

開館以来 22 年が経過し、設備の老朽化が進み、常設展示の固定化や教育普及事業の定型化などの課題にも直面している。社会変化やライフスタイルの多様化による市民ニーズに対応し、学校教育から生涯学習まで市民の学びに寄与し、共にあゆむ博物館となるよう、将来の博物館の方針を含めたリニューアル計画を立案するための現況把握を進めた。

また、博物館利用の促進と市民ニーズの的確な把握の観点から、地域連携を積極的に推進した。

地元川中地区まちづくり協議会と連携し、川まち弥生まつりの誘致を行い、行事開催に向けた準備協議の中から、施設に対する地域ニーズの掘り起こしを行い、荒天ながら1,500人の集客を達成し、今後の展開の手ごたえを得た。

#### オ) 豊田ホテルの里ミュージアムの展示リニューアル 〈文化財保護課〉

開館後15年を経過した豊田ホテルの里ミュージアムの展示をリニューアルし、本市の自然史博物館として整備するための検討を進めた。

#### カ) 積極的な学術資料の収集 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、(1)下関の美術の歴史に係る作品、(2)下関の美術の歴史を美術全体の中で位置付けることができる作品、(3)芸術的価値の高い作品を対象とする収集方針に従い、収蔵品の充実に努めている。平成30年度は、合計59件の美術資料(作品及び資料)を収集した。収集区分別にその内訳を示すと、寄贈6件(亀永吾郎作「松林図」など絵画2件及び清水恒治作「歳末の長門町市場」など写真4件)、寄託53件(狩野芳崖作「桜に雉図」など絵画7件及び堀尾卓司作「波濤研」など工芸44件、赤間硯制作道具など資料2件)である。

歴史博物館は、本市の中核的な歴史系博物館・文化財保存公開機関として、博物館展示の質的向上を図るとともに、本市ゆかりの文化財等の散逸を防ぐため、系統的な資料収集及び市内外に所在する本市ゆかりの文化財(古文書、歴史資料、美術工芸品など)の収集を行っている。昨年度は、寄贈が572件1,437点、寄託が56件57点あり、合わせて628件1,494点の資料を収集している。主な寄贈資料には、長府藩14代藩主毛利元敏の歌書・書状などからなる田上家資料、江戸後期の長府を代表する女流文人田上菊舎の自画賛などを含む椋梨家資料、長門鉄道関係の資料を中心とする児林家資料などがある。また、寄託資料には、本陣伊藤家に伝来した茶道具を中心とした工芸品、豊浦小学校教育資料館が所蔵する歴史資料などがある。なお、平成28年度から開始した長府毛利家遺品の計画的な公有化(購入)については、所有者の事情により平成29年度は不執行としたが、平成30年度は5年計画の第2年次として公有化を行った。

東行記念館では、高杉晋作が妻まさ宛てた書状1点が寄贈された。

豊北歴史民俗資料館においては、旧下関市域の漁具関係資料の収集を実施した。

烏山民俗資料館においては、市域の近代観光関連資料及び市域の近代温泉文化に関する資料の調査・収集を実施した。

豊田ホテルの里ミュージアムにおいては、市域の生物調査及び化石・岩石調査を行い、多数の標本を収集した。

考古博物館においては、響灘沿岸部の古地理変遷とそれに伴う遺跡形成過程や災害史についての基礎的研究を行うため、地質ボーリングによるコア資料を多数収集した。

#### キ) 調査研究の充実と関係機関との連携 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、平成28年度に締結された「下関市と東亜大学の連携協力に関する包括的協定」の一環として、平成29年2月に東亜大学と共同で開催したシンポジウムの報告(「報告 アートトークしものせき2017 あなたの知らない都市・下関」『下関市立美術館研究紀要』第16号(平成30年3月)所収)を、平成30年5月から山口県大学共同リポジトリ・東亜大学サイト

(<http://ypir.lib.yamaguchi-pu.ac.jp/>)に掲載し、ウェブ上に公開した。

考古博物館では、研究紀要第23号を刊行した。また、山口県博物館協会が主催する研修会に積極的に参加し、博物館活動の現状と課題などについて討議した。

また、日本博物館協会中国支部が主催する総会に参加し、加盟する博物館施設との議論を深めた。また、新潟大学災害・復興科学研究所との共同研究として、地質ボーリング調査資料に基づく響灘沿岸地域における海岸低地の古地理復元、縄文時代の海進、津波堆積物の有無、弥生時代の水田立地と自然災害の影響等について基礎的研究を実施した。

歴史博物館では、次の取組を行った。

- a) 明治維新150年記念特別展・企画展を開催

明治維新150年記念特別展「海峡の幕末維新」、明治維新150年記念企画展「幕末のメディアと下関」「下関のラストサムライ」をそれぞれ開催した。

- b) 関連団体主催の博物館研修への職員派遣

山口県博物館協会の研修会に参加して、博学連携などに関する知見を深めるとともに、各加盟館と情報交換を行った。

- c) 山口県主催明治150年プロジェクト「幕末維新回廊」に参加

東行記念館では、山口県博物館協会の研修会に参加して、博学連携などに関する知見を深め、

各加盟館と情報交換を行った。

豊田ホテルの里ミュージアムにおいては、下関地域及び山口県内の自然史に関する調査・研究を行い、それらの研究成果の一部をまとめた「豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書第 11 号」を刊行した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、国内研究機関（鳥取大学、東京大学総合研究博物館、京都大学等）と中国の関係機関（上海博物館、吉林大学等）の所属研究者と共同で中国上海市広富林遺跡出土の新石器時代人骨の研究を継続し、平成 29 年度からは国内の大学及び研究機関と沖縄県白保竿根田原洞穴遺跡出土人骨の共同研究を開始している。また、九州大学アジア埋蔵文化財研究センターと古人骨資料の研究連携・協力に関する覚書に基づき共同研究を実施した。その他に、新潟大学災害・復興科学研究所及び文化財保護課との共同研究として、響灘沿岸地域の地質ボーリング調査に参加した。また、文化財保護課が試掘調査した秋根遺跡から出土した人骨の発掘調査と外部行政機関より発掘調査で出土した人骨及び獣骨の鑑定依頼を受けた。土井ヶ浜遺跡や当館収蔵古人骨に関する研究成果と浜出祭に関する研究成果を「研究紀要第 14 号」にまとめ刊行した。

鳥山民俗資料館では、次の取組を行った。

#### 展覧会の共同開催

川棚温泉まちづくり株式会社、Permanent reality と共同で、川棚の杜の施設全体を使用した「堀尾寛太 目的の設計」展を開催し、開催期間中に「シゴトとカタチ」展を開催した。

川棚温泉まちづくり株式会社、川棚コスモス倶楽部と共同で、「川棚温泉ひなまつり」を開催し、開催期間中に「カラスヤマのひな祭り」を実施した。

### ク) 魅力的・効果的な展示 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、平成 30 年度に国内外の地域・時代・ジャンルをそれぞれ異にする特別展と所蔵品展を開催した。特別展としては、休館を伴う施設改修工事のため年度内 1 本の開催にとどまったが、漫画（劇画）を対象とする「さいとう・たかを ゴルゴ 13」展を開催した（会期：平成 31 年 2 月 2 日～3 月 24 日）。対象分野を漫画に特化した展覧会としては、平成 20 年度の特別展「少女まんが三人展 水野英子・青池保子・文月今日子」以来となるが、絵本など出版文化に係る視覚表現を展覧会事業の柱の一つとして掲げる美術館として、このたびの「さいとう・たかを ゴルゴ 13」展は、その方向性を拡張するものである。劇画の原画など資料展示はもとより、モデルガン体感コーナーの設置など、従来とは異なる「立体的」な会場づくりもあいまって、幅広いファンの反響を得た。所蔵品展では、地域ゆかりの美術を中心としたテーマ設定により、所蔵品展 No. 140 から No. 146 までの 7 本（会期が前後の年度と連続するものを含む。）を開催した。このうち、No. 145 の特集「“わたしの美術館”プロジェクト」（会期：平成 30 年 12 月 5 日～平成 31 年 1 月 27 日）では、市内の作家からの作品借用もあわせた小企画展というべき構成を試みた。

考古博物館では、山口県埋蔵文化財センター巡回展「発掘された山口」を皮切りに、綾羅木郷遺跡史跡指定 50 周年を記念した「郷台地奇譚 Episode I - 文化財保護の金字塔-」、「郷台地奇譚 Episode II - 綾羅木式土器の世界-」の 2 つの企画展、発掘速報展「掘ったほ！下関 2018」、第 20 回「やよい絵画展」を開催し、地域の歴史や文化財に愛着を持つことを目的とした展示を行い、昨年度と同水準の入館者があった。

歴史博物館では、常設展示のほか、企画展示として、明治維新 150 年記念企画展「幕末のメディアと下関」、明治維新 150 年記念企画展「下関のラストサムライ」、「長府藩の能と茶の湯」、「海峡往来—すべての『道』は海峡に通ず」、「長門国府から長府へ」を開催した。特別展示は、明治維新 150 年記念特別展「海峡の幕末維新」、「大内氏の興亡と毛利氏の隆盛—海峡の戦国史第 1 章」を開催した。また、関連イベントとして、ミニ講座、子供向け講座、れきはくクイズラリー、秋の野点等のイベントを開催した。

東行記念館では、「高杉晋作の素顔～流水奔波の 29 年」、「高杉晋作×下関」、「奇兵隊の軌跡」、「幕末に生きた女性たち」の常設企画展を開催した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、「人骨が語る江戸時代の下関」、「# 土井ヶ浜遺跡 ～日本人のルーツを物語る遺跡～」、長崎県壱岐市立一支国博物館と「国境の島壱岐展 魏志倭人伝に記された一支国の世界」を共同開催し、年間では 3 つの企画展を開催した。このほかミニ企画展示として、赤米を題材にした展示と土井ヶ浜遺跡の埋葬について紹介した展示を開催した。

鳥山民俗資料館では、企画展「シゴトとカタチ」において、著名な若手芸術家である堀尾寛太した展覧会として「シゴトとカタチ」展を開催した。さらに、明治維新 150 年記念企画展として「明治維新と暮らしの変化」展においては、明治維新後の社会の変化を当時のベストセラー書籍



等から明らかにする展覧会を開催した。また、鳥山民俗資料館では、宇賀村出身の政治家である湯浅倉平とその兄である医者であった湯浅為之進を取り上げたパネル展を開催し、明治初期の旧宇賀村と福島県郡山市の地域医療の発展についての研究成果を公表した。

そのほか企画展を1回、所蔵品展を2回、合計7回の展覧会を開催した。

豊北歴史民俗資料館では、明治維新150年を記念し、「流浪の貴公子ー中山忠光卿の足跡と豊北ー」を開催、講座も実施した。そのほか「こどもの遊びーいとむかしー」「くらしの道具ー移り変わる「モノ」たちー」など3つの企画展を実施した。いずれも資料収集・整理活動の成果としての民具、文献資料から地域を考える展示を、地域住民との協力の上で開催した。

豊田ホテルの里ミュージアムでは企画展として、春季企画展「身近な魚の脳」、蛍季企画展「発光生物の発光器と昼間も見れる光るホテル」、夏季企画展「蛍の肢と蟲の肢」、秋季企画展「下関のヒル」、冬季企画展「岩石薄片の作り方と見方」を開催した。さらに、テーマ展として春季テーマ展「下関の海浜の植物」、夏季テーマ展「収蔵標本展 カミキリムシ」、夏季特別企画「世界のカブトムシとクワガタムシ」、秋季テーマ展「下関の海浜の生物（節足動物）」、冬季テーマ展「山口の植物の写真と標本」を開催した。

#### ケ) 普及活動の充実 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、普及活動として、児童生徒から一般まで幅広い層の市民を対象に、実技講座を柱としたメニューを設定している。美術講座など座学形式のものについても出前講座や出前授業など、要請に対応することを市内の学校を中心に告知し、依頼に基づいて学芸員を講師として派遣した。館内で開催する実技講座では、外部の講師を招聘したもの（「ぴかぴかにみがけ!泥だんごづくり」[8月]、「わたしの写真術」[10-11月]）の他、小学生及び中学生を対象とした造形教室（「飛び出すクリスマスカードを作ろう」[12月]）など内部講師（学芸員等）が指導に当たるメニューも追加し、参加機会の拡大を図った。また、情報発信においては、広報誌など紙媒体によるものと併せ、電子媒体の利用を図り、平成26年度以来開設しているフェイスブック、ツイッターなどSNSによる告知を引き続き展開し、美術館活動の紹介に努めた。

考古博物館では、小学校の歴史学習を中心とした学校単位での見学を多数行ったほか、館内での体験講座や出前講座・出前授業も積極的に受け付けた。また、アンケートの実施等により、市民ニーズの把握に努めるとともに、新規メニューの試作を行った。そのほか、親しみの持てる施設として多くの市民に利用されるよう、平成27年に設定した公式キャラクター「ぶえ吉」の周知や着ぐるみの活用を積極的に行うとともに、地域連携の川まち弥生まつりでは、行事開催に合わせ、土器焼成や勾玉づくり等の体験イベントを開催し、博物館での地域行事開催による相乗効果の創出に努めた。

さらに、新潟大学災害・復興科学研究所との地質ボーリング調査を実施するに当たって、市民参加型イベント「地質ボーリングを体験しよう!」を開催し、実際の調査を体験することで、博物館活動における地域に根差した調査研究の意義について、市民への理解を促し、今日における考古博物館の果たす役割についてアピールした。

歴史博物館では、特別展示及び企画展示の関連イベントとして、ミニ講座、子供向け講座、れきはくライブラリー、秋の野点等のイベントを開催した。また、中学生の職場体験学習、教師の職場研修の受入れ、学校や公益団体、市民団体などの依頼による出前講座や講師派遣に積極的に対応した。

東行記念館では、展示に併せて展示解説やこども向け展示解説、境内見学、講演会、晋作クイズなどを実施した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、平成26年度から自然人類学体験講座「ホネホネウォッチング」と題して、自然人類学を中心とした体験型の講座を実施し、これらの内容を出前授業として市内の学校、公民館、教育施設等にて開催した。また、土井ヶ浜遺跡の出土遺物である貝輪を実際に作る体験講座「貝輪づくり」を開催した。さらに、壱岐博物館との展示関連講座として、壱岐博物館で行われている講座を当館にて実施したほか、ミニ企画展示として、赤米や土井ヶ浜遺跡の埋葬について取り上げた展示を開催し、館長講座や学芸員講座を開くことで調査研究の成果を一般に向けて紹介した。

豊北歴史民俗資料館では、当館の県指定有形建物や所蔵資料である民具を使った小・中学生向けの体験型学習を始め、明治維新150年に関連した歴史民俗講座を開催したほか、豊北郷土文化友の会と連携した歴史文学講座、古文書整理等を実施した。

豊田ホテルの里ミュージアムは、下関市立唯一の自然史系博物館として自然史に関する調査・研究、更に市民向けに様々な体験学習講座（観察会、夏休み講座等）を実施した。また、館内イ

ベントや研究者を招待して講演いただく特別講演会、学校等での出前講座を実施したほか、当館では初めての試みとなる自然史に関するさまざまな体験講座を1日で体験できる「自然史体験の日」を実施した。

#### コ) 博学連携の強化 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

考古博物館では、未来を担う子供たちが郷土に誇りを持ち、郷土を愛する若者に育つことを願って、市教育研究会小中学校社会科部会と連携を強化し、学校にはない歴史の実物資料を使うなどして、学校教育の支援のための活用メニュー等の作成を検討した。また、今後発生が懸念される大規模自然災害に対する防災・減災を目的とした大学等研究機関との連携研究を推進し、現代社会への博物館としての貢献の可能性を追求した。

美術館では、梅光学院大学から学生ボランティアを受け入れ、資料のデジタル・データ化作業のほか、広報物発送作業、実技講座の開催準備などを行った。また、東亜大学との間では、平成27年度から展開している連携事業の一環として、所蔵品展 No. 145「わたしの美術館」プロジェクトの会期中、同大学の教員・学生によるテーマ制作等により構成される展示企画「ライフ・アート しものせき・都市と人のイメージ」を共同開催した（会期：平成31年1月5日～1月14日）。

歴史博物館では、学校行事で来館する児童生徒への対応について学校教員と協議し、授業の進度や歴史の理解力などを十分に把握した上で、展示解説やフィールドワークなどを行った。また、小・中学校の教育研究会社会科部会の研修を受け入れ、学校教育における博物館連携について協議した。

#### サ) 博福連携の検討 〈文化財保護課／歴史博物館〉

考古博物館における博福連携の一環として、高齢者福祉施設入所者への広報、誘致を積極的に推進した。また、休憩所弥生の里において、地域の子育て親子の交流促進や子育て関連情報の提供を目的として、就学前の児童とその保護者を対象に地域子育て拠点施設として活用され、非常に好評を博している。施設利用者の児童と保護者には考古博物館への来館を促すため、様々なコラボレーションイベントを積極的に実施し、利用者層の拡大に努めた。

歴史博物館では、高齢者福祉施設ほか、福祉施設や老人クラブなどへ来館を積極的に働きかけた。烏山民俗資料館では、川棚の杜で毎月開催する「なつかしの歌」イベントに高齢者及び福祉施設入所者が数多く参加することから、高齢者およびその関係者との交流を目的として、当時の暮らしを振りかえる展覧会「お菓子レシピ 明治・大正・昭和初期の暮らしとともに」及び、「郷土玩具から見る“こども”」展を開催した。また、「郷土玩具から見る“こども”」展においては昔の懐かしいおもちゃのハンズオン展示を実施することで、高齢者層及び関係者への好評を得ることとなった。

### (4) 文化財保護活動の推進

#### ① 歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

##### ア) 指定文化財及び登録文化財の管理状況の把握 〈文化財保護課〉

本市が所有者又は管理団体となっている建造物、史跡、名勝、天然記念物等の指定文化財について、適切な維持管理に努め、台風、豪雨、地震等の発生に際しては、被害状況の迅速な把握に努めた。また、民間が所有する指定文化財については、文化財保護指導員などによる定期的な巡視を行った。

重要文化財旧下関英国領事館については、平成26年7月18日の再開館後、指定管理者による公開活用を行い、アイリッシュハーブのコンサートなどによる英国文化に関する情報発信や水産大学のサークルとの連携による「イル見ないと2018」の開催など、新しい取組により、平成30年度の入館者数は平成29年度から約4パーセント増加し、64,700人となった。また、平成26年から続く文学サロンや休憩室（カフェ&パブ）の運営は、利用者から好評を得ている。このほか、附属屋ギャラリーの利用件数が増加するなど、指定管理者による管理運営が順調に進められた。

##### イ) 指定文化財に対する保護措置の強化 〈文化財保護課〉

文化財の保存修理を行う所有者及び指定文化財の定期的な維持管理を行っている所有者に対して、必要に応じて補助金を支出した。

今後、保存修理等の措置が必要と考えられる指定文化財は、基礎調査等の実施により現状の把握に努め、破損などが顕著な文化財については、所有者に対して保存修理などを助言するとともに、次年度着手に向けて補助金の確保に努力した。

平成30年度は7年に一度の「浜出祭」（県指定）と6年に一度の「蓋井島山ノ神神事」（市指定・国選択）が開催され、豊北歴史民俗資料館と協力して指定無形民俗文化財の記録作成を行うとともに、未指定の無形民俗文化財についても現況把握などを行い、今後の無形民俗文化財の保護活動のための情報収集を行った。

**ウ) 埋蔵文化財に対する適切な保護と活用 〈文化財保護課〉**

試掘・確認調査4件を実施し、埋蔵文化財の基礎情報を収集した。また、工事立会や立会調査等を随時実施し、宅地造成等開発工事により影響を受ける遺跡の記録保存に努めた。

平成29年度に実施した丸小山墳墓群の埋蔵文化財調査について、調査により収集した記録類や出土品を整理し、成果を取りまとめた調査報告書を1冊刊行した。

公共工事、宅地開発や不動産売買などに伴う埋蔵文化財の分布照会は1,450件を数え、前年度より若干減少した。1,000平方メートル以上の開発行為に伴う開発事前協議は44件あり、前年度より2件増加した。これらの中から、文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づく発掘届又は発掘通知の提出は131件（前年比11件増）あり、埋蔵文化財保護のための調整を行った。

なお、平成29年度に調査成果報告書を刊行した勝山御殿跡は、新たに国史跡に指定され（平成30年11月16日答申、平成31年2月26日告示）、本市における国史跡は9件となった。

**エ) 市域に所在する文化財の悉皆調査 〈文化財保護課〉**

自然、歴史、文化遺産を活かしたまちづくり実現のため、文化財保護のマスタープランである「歴史文化基本構想」の策定を念頭に、その手法等について研修会への参加などにより、情報の収集、検討に努めた。また、文化財総合調査の一環として、北九州市と連携し、国が推進する「日本遺産」について、関門海峡をテーマに『関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～』が認定を受け、その魅力を関門地域内外に発信するため、1. 情報発信（ホームページ作成）2. 普及啓発（#のすたる関門Instagramフォトコンテスト、PR動画作成、フグ料理PRブースイベント出展等）3. 調査研究（関門地域へ訪れたインバウンドの嗜好性調査）4. 環境整備（総合案内板、説明板設置）に取り組んだ。

**②文化財の整備活用の推進****ア) 長州藩下関前田台場跡の整備活用 〈文化財保護課〉**

国史跡長州藩下関前田台場跡については、適切な管理・活用を図るため、定期的な除草等環境整備を実施した。また、従来未整備であった駐車場について、近隣の土地を借り上げ、簡易的な整備を実施し、来場者の利便性を向上させることができた。

同時に、「明治日本の産業革命遺産」の関連資産として位置付けられたことや、日本遺産の構成文化財として認定を受けたことにより、複合的な活用を視野に、ハード整備にとらわれず、柔軟な整備活用の在り方を検討し、実現へ向けて関係機関等との協議・調整を実施した。

このうち、昨年、日本遺産の取組と連動し作成した、主に携帯用端末で往時の史跡の様子を仮想体験できるVR（バーチャルリアリティ）コンテンツについて、観光ボランティアに対し、その使用法を解説し広く観光客への周知を図った。加えて、来訪者への理解を促すため、日本遺産構成文化財としてのサインを設置した。

**イ) 国指定三史跡の整備検討 〈文化財保護課〉**

昭和40年代後半から平成初期にかけて公有化し、将来の整備公開活用に備えている国指定三史跡について、考古博物館での展示講演活動はもとより、周辺域に県内屈指の密度で分布する周知の埋蔵文化財包蔵地を含め、史跡の道ウォーク等の史跡散策行事の開催や、Web上の案内・解説及び、説明版の設置等を実施した。また、綾羅木郷遺跡史跡指定50周年を記念し、川まち弥生まつり等地域連携事業を推進するなど、市民の愛護意識の醸成に努め、今後の史跡等整備公開活用の推進に備えた。

**ウ) 長府藩主毛利家墓所の整備 〈文化財保護課〉**

県指定文化財となった長府藩主毛利家墓所について、その立地性により優れた観光資源であることから、定期的な除草作業など環境の整備に努めるとともに、その価値を広く周知するため、愛護意識の啓発に努め、将来の整備活用に備えた。

**エ) 天然記念物などの現状把握 〈文化財保護課〉**

記念物のうち、名勝、天然記念物（樹木類）については、周辺環境及び気候環境の変化に連動して適切な維持管理に課題を抱えているものが多い。このため、所有者等の協力のもと逐次状況把握を実施し、今後の適切な管理の在り方を検討するための情報収集に努めた。また、突然枯れ症を発症した国指定天然記念物「川棚のクスの森」については、専門家を招聘し、枯損対策の緊急対応を実施するとともに、国・県と連携し、今後の対策検討を深めた。

**オ) 天然記念物などの保存（管理）活用計画の策定検討 〈文化財保護課〉**

指定文化財の適切な管理・活用を目的に、管理団体として所有者等に対し、保存（管理）活用計画策定の必要性について説明するよう心がけ、所有者、管理団体間の共通認識の醸成に努めた。

---

## (5) 人権教育の推進

### ①関係機関と連携した多様な人権教育の推進

#### ア) 家庭、地域社会への情報提供の充実 〈生涯学習課〉

人権に関する各種研修会や行事の案内等、市内各教育支所、公民館等に情報提供を行った。また、人権に関する標語、作文、ポスター等を市内各教育支所、公民館、小・中学校に配布した。

#### イ) 学習機会の充実 〈生涯学習課〉

人権尊重の職場や地域環境づくりについての理解や認識を深めるために、人権学習講座を企業、学校、団体、グループ等で開催した。

### ②教職員研修の充実

#### ア) 人権課題に応じた研修の計画的な実施 〈教育研修課〉

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「人権教育推進資料」並びに県教育委員会作成の「学習展開例」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図った。初任者、フォローアップ、6年次の各研修においても人権教育の内容を必ず扱った。

# 資料編



# I 学校教育関連資料

## 1 下関市学校教育指導上の努力点

**下関市教育理念**

**夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志**

～ともに学び ともに育み 未来を創る～

下関の教育～  
学びが好きな子ども 学びの街・下関

**I 生き抜く力の基礎を培う**  
就学前教育の推進

- 1 連携の強化
- 2 研修の充実

**II 新しい時代に必要な資質・能力の育成**

- 1 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた工夫・改善
- 2 確かな学力の向上に向けた取組の推進
- 3 時代の進展に対応した教育の推進
- 4 下関商業高等学校におけるビジネス教育の推進

**III 豊かな心の育成**

- 1 思いやりのある豊かな心の育成
- 2 「かわわり」「つながり」を基盤とした成長促進的な生徒指導の推進

**IV 健やかな体の育成**

- 1 体力の向上に向けた取組の推進
- 2 健康教育の推進
- 3 食育の推進

**V 地域とともにある学校づくりの推進**

コミュニティ・スクールの推進

**VI 子供たちの状況に応じたきめ細かな教育の推進**

- 1 特別支援教育の充実
- 2 少人数指導の充実
- 3 へき地・複式教育の充実

**VII 学校の組織力の向上**

- 1 学校評価等の効果的活用
- 2 学校の総合力の向上に向けた取組の推進

**VIII 教職員の指導力の向上**

- 1 指導力を高めるための研修の充実
- 2 教職員の成長を支援し、学校づくりに生かす取組の推進

**IX 安心・安全な教育環境の整備**

- 1 防災教育の推進
- 2 危機管理体制の確立
- 3 子供を守る安全対策の充実

**2019年度 下関市学校教育指導上の努力点**

下関市教育委員会



- 23 -

## 2 市立学校一覧

### (1) 幼稚園

区 分	所 在 地	学級数	園 児			教 員	保健室	給食室
			総数	男	女			
平成30年度		21	352	168	184	36 (39)	11	11
令和元年度		19	302	140	162	33 (31)	8	8
1 第 一	貴船町三丁目 11-12	1	20	12	8	3 (4)	※1○	配
2 豊 浦	長府亀の甲二丁目 2-82	2	23	8	15	4 (4)	※1○	配
3 小 月	小月宮の町 15-20	3	49	24	25	5 (5)	※1○	配
4 内 日	休 園							
5 江 浦	彦島江の浦町三丁目 4-5	1	10	7	3	3 (4)	※1○	配
6 清 末	清末西町一丁目 6-1	5	93	46	47	6 (5)	※1○	配
7 川中西	古屋町二丁目 8-1	1	14	5	9	2 (2)	※1○	配
8 川 中	伊倉本町 21-1	4	66	25	41	7 (5)	○	配
9 豊 東	菊川町大字上大野字上ノ原 10020-1	2	27	13	14	3 (2)	○	配

平成30年度末をもって第五幼稚園、室津幼稚園を廃止。

( ) は非常勤、外教

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

※1 保健室と職員室を共用して使用



令和元年5月1日現在

校舎				用地				左の内 借地	区分
校舎保有面積				面積					
総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
8,684	5,043	3,623	18	30,347	14,253	14,600	1,494		平成30年度
7,558	5,043	2,497	18	27,232	12,657	13,114	1,461		令和元年度
927	717	210		4,174	1,842	1,911	421		1 第一
1,035	1,025		10	2,989	1,781	1,208			2 豊浦
1,005	974	31		3,121	1,616	1,363	142		3 小月
499		499		2,488	874	1,614			4 内日
983	956	27		3,498	1,534	1,964			5 江浦
854	620	234		3,058	1,604	1,454			6 清末
789	751	30	8	2,614	1,032	1,582			7 川中西
1,010		1,010		2,740	1,480	904	356		8 川中
456		456		2,550	894	1,114	542		9 豊東

## (2) 幼保連携型認定こども園

	所在地	学級数	園児			教員	保健室	給食室
			総数	男	女			
平成30年度		53	988	523	465	79 (31)	9	9
令和元年度		49	970	494	476	74 (63)	9	9
1 中央	幡生新町 1-10	9	174	86	88	11 (12)	※1○	有
2 垢田	新垢田東町 1-2-7	6	118	55	63	9 (9)	※1○	有
3 王喜	王喜本町 2-11-12	5	96	62	34	8 (6)	※1○	有
4 菊川	菊川町大字下岡枝字高田 1504	6	140	67	73	9 (10)	○	有
5 西市	豊田町大字矢田字横の田 184	3	61	33	28	6 (3)	○	有
6 豊田下	豊田町大字手洗字堂本 273-1	3	41	22	19	5 (2)	○	有
7 川棚	豊浦町大字川棚寺田 5281	9	185	94	91	12 (10)	※1○	有
8 黒井	豊浦町大字黒井字下北岡 2159-1	5	101	45	56	8 (7)	○	有
9 豊北	豊北町大字滝部字上ノ原 2992-1	3	54	30	24	6 (4)	※1○	有

平成27年度の子ども・子育て支援新制度施行に伴い、幼保連携型認定こども園が開設。

認定こども園の各数値は全体数値（旧幼稚園と旧保育園の合算値）

（ ）は非常勤、外教

○有の意味（配は、給食配膳室のみ）

※1 保健室と職員室を共用して使用

令和元年5月1日現在

校舎				用地				左の内 借地	区分
校舎保有面積				面積					
総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
9,903	8,002	1,901	0	40,459	23,705	10,599	6,155		平成30年度
9,903	8,002	1,901	0	40,459	23,705	10,599	6,155		令和元年度
1,819	1,819	0		6,601	3,586	2,020	995		1 中央
771	771	0		2,084	486	800	798		2 垢田
714	703	11		2,644	714	998	932		3 王喜
1,076	0	1,076		2,801	1,302	745	754		4 菊川
1,124	1,124	0		4,870	2,953	1,000	917		5 西市
814		814		4,907	906	2,272	1,729		6 豊田下
1,833	1,833			5,870	4,485	1,355	30		7 川棚
768	768			2,331	1,582	749			8 黒井
984	984			8,351	7,691	660			9 豊北

### (3) 小学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	児童			教員	事務職員		養護教諭 (養護士)		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
平成30年度		492	109	12,418	6,297	6,121	814	51		51		15	4	13(36)	59(32)	629	545	33
令和元年度		485	114	12,288	6,233	6,054	806	48		50		15	3	12(35)	57(34)	619	522	33
1 養 治	本町二丁目6-1	6	2	119	60	59	11	1		1				(1)		9	16	
2 文 関	上田中町一丁目14-1	18	4	522	265	257	27	1		1	1		1	2(2)		24	13	
3 名 池	名池町10-1	7	4	178	95	83	19	1		1				(1)	2	11	15	
4 王 江	入江町9-1	6	2	96	44	52	11	1		1				(1)	2	9	12	
5 関 西	関西町12-1	6	2	57	30	27	11	1		1				(1)	2	8	13	
6 桜 山	上新地町二丁目5-10	8	2	197	92	105	14	1		1				(1)		10	19	
7 向 山	向山町14-1	12	2	310	155	155	17	1		1		1	1	2(1)		15	29	
8 生 野	幡生本町7-14	12	3	339	178	160	20	1		1				(1)	2(1)	17	9	
9 本 村	彦島本村町三丁目16-1	6	2	91	51	40	11	1		1				(1)		8	14	
10 西 山	彦島迫町五丁目13-21	9	2	217	114	103	14	1		1				1		11	15	1
11 江 浦	彦島江の浦町三丁目4-1	12	4	296	138	158	22	1		1	1			(1)		16	14	
12 角 倉	彦島角倉町三丁目5-5	9	3	240	116	124	17	1		1	1			1		12	23	
13 向 井	彦島向井町二丁目20-1	11	2	247	117	130	17	1		1				(1)		13	11	
14 小 月	小月西の台6-1	12	2	290	148	142	19	1		1				(1)	2(1)	14	9	
15 清 末	清末西町一丁目6-1	16	3	462	237	225	24	1		1	1			1	2(2)	20	6	
16 王 司	王司神田六丁目9-1	17	3	500	254	246	26	1		1				(1)	2(2)	20	8	
17 豊 浦	長府亀の甲二丁目2-1	28	6	893	432	461	48	2		2	1			1	3(4)	35	19	
18 勝 山	秋根上町二丁目2-1	24	5	749	372	377	37	1		1	1			1	3(2)	27	11	
19 川 中	伊倉本町19-1	25	6	740	382	358	39	1		1	1			1	3(2)	31	10	
20 安 岡	安岡町三丁目5-5	23	4	753	392	361	35	2		2	1			1	3(2)	28	10	
21 吉 見	吉見里町一丁目8-1	7	0	174	99	75	9	1		1				(1)	2	7	13	2
22 吉 母	大字吉母字塩谷287	2	0	8	4	4	4			1				(1)		3	7	
23 蓋 井	大字蓋井島字田町126-2	2	0	7	5	2	3			1				(1)		2	3	
24 吉 田	大字吉田字高田1044-2	4	2	45	24	21	8	1		1				(1)	2	8	5	
25 王 喜	王喜本町二丁目12-30	7	4	181	92	89	15	1		1				(1)	2	10	6	
26 内 日	大字内日下字坂本1031	3	0	14	4	10	5	1		1				(1)	2	4	9	3
27 山 の 田	山の田中央町13-1	19	4	584	300	284	31	1		1	1			1	2(2)	23	13	
28 川 中 西	古屋町二丁目9-1	16	5	449	228	221	28	1		1	1			(1)	2(2)	22	11	
29 堀 田	新堀田西町一丁目1-1	12	5	294	160	134	23	2		1				(1)	2(1)	17	18	2
30 長 府	長府松小田北町14-1	18	5	463	246	217	29	1		1		1		(1)	2(2)	23	19	
31 一 の 宮	一の宮住吉一丁目8-1	17	4	484	264	220	28	1		1	1			1	2(2)	23	6	6
32 熊 野	熊野西町10-1	25	3	795	384	411	37	2		2	1			1	3(3)	26	7	6
33 豊 東	菊川町大字上大野字上/原10020-1	8	2	206	109	97	14	1		1			1	(1)	2(2)	12	9	3
34 岡 枝	菊川町大字吉賀字金蔵寺2494	6	2	133	65	68	11	1		1				(1)	2(1)	8	8	
35 檜 崎	菊川町大字檜崎字殿屋敷215	6	1	52	31	21	9	1		1				(1)	2	7	8	
36 豊 田 中	豊田町大字浮石字久下1159-1	3	0	19	4	15	5	1		1				(1)		4	9	
37 西 市	豊田町大字矢田字今熊132	6	2	97	52	45	11	1		1	1			(1)		8	9	2
38 豊 田 下	豊田町大字手洗字貴布祢303	6	2	53	27	26	10	1		1				(1)		8	5	
39 室 津	豊浦町大字室津下字新田152-1	5	0	44	24	20	7	1		1				(1)		7	6	2
40 誠 意	豊浦町大字黒井字才舛2200	8	2	188	86	102	16	1		1	1			(1)		11	17	
41 川 棚	豊浦町大字川棚字後楽3650-1	13	2	408	204	204	19	1		1	1			(1)		16	7	4
42 小 串	豊浦町大字小串字谷田ヶ浴617	5	1	47	23	24	8	1		1				(1)		6	9	
43 宇 賀	豊浦町大字宇賀字ふけ4961	4	1	31	10	21	7	1		1				(1)		5	11	2
44 角 島	豊北町大字角島字正/田1768	3	1	25	17	8	6	1		1				(1)		4	7	
45 阿 川	豊北町大字阿川字下宅野3755-1	4	2	33	21	12	8	1		1				(1)		6	6	
46 栗 野	豊北町大字栗野字妙見3349	3	0	8	3	5	5			1				(1)		3	10	
47 滝 部	豊北町大字滝部字常安1200	6	1	150	75	75	11	1		1				(1)		8	8	

( ) は非常勤職員、外数

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

令和元年5月1日現在

保健室	給食室	水泳プール	校舎等									用地				区分
			校舎保有面積				屋内運動場保有面積			面積				左の内借地		
			総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他			
49	49	46	199,092	190,181	7,615	1,296	41,676	11,606	30,070	963,032	375,919	446,431	140,682	30,611	平成30年度	
49	49	46	195,288	186,367	7,780	1,141	40,360	10,290	30,070	914,991	369,682	425,887	139,610	30,611	令和元年度	
○	配	○	4,593	4,456	137		809		809	10,589	5,131	4,607	851		1 養 治	
○	○	○	6,392	6,294	7	91	968		968	18,679	7,752	6,646	4,281		2 文 関	
○	○	○	3,748	2,961	787		887		887	15,920	6,945	7,102	1,873		3 名 池	
○	○	○	3,646	3,522	114	10	729	729		14,454	4,537	5,040	4,877		4 王 江	
○	○	○	3,950	3,787	163		965		965	20,947	9,009	7,855	4,083		5 関 西	
○	配	○	4,891	4,773	118		785		785	11,647	4,494	4,768	2,385		6 桜 山	
○	○	○	8,249	8,104	145		936		936	20,208	9,260	7,438	3,510		7 向 山	
○	○	○	4,355	4,305	50		928		928	14,271	5,449	7,184	1,638		8 生 野	
○	配	○	4,685	4,370	315		806		806	14,537	6,463	5,298	2,776		9 本 村	
○	配	○	4,946	4,738	208		879		879	25,481	12,731	11,603	1,147	20,832	10 西 山	
○	配	○	4,783	4,638	145		918		918	18,047	10,018	7,825	204		11 江 浦	
○	配	○	6,030	5,761	269		1,046	24	1,022	18,385	7,420	8,843	2,122		12 角 倉	
○	配	○	5,029	4,823	206		890		890	31,930	13,116	14,583	4,231		13 向 井	
○	○	○	3,778	3,659	119		1,156	1,156		26,279	8,618	9,058	8,603		14 小 月	
○	○	○	4,481	4,216	92	173	814		814	19,686	9,033	9,315	1,338		15 清 末	
○	○	○	4,499	4,258	241		981	981		18,538	7,553	9,731	1,254		16 王 司	
○	○	○	8,772	8,606	157	9	1,404		1,404	29,261	20,743	8,518			17 豊 浦	
○	○	○	5,658	5,574	84		1,123		1,123	29,844	10,369	12,931	6,544		18 勝 山	
○	○	○	6,540	5,400	1,140		1,181		1,181	24,071	9,501	12,762	1,808		19 川 中	
○	○	○	6,978	5,988	990		1,189		1,189	20,902	9,004	9,965	1,933	9,575	20 安 岡	
○	○	○	3,971	3,901	70		980		980	24,810	8,164	12,319	4,327		21 吉 見	
○	配	○	1,961	1,843	118		868		868	11,517	5,349	6,168			22 吉 母	
○	○	○	322		322		761		761	8,637	1,571	4,902	2,164		23 蓋 井	
○	○	○	1,924	1,820	33	71	868		868	15,285	4,653	10,632			24 吉 田	
○	○	○	2,782	2,741	41		906	906		17,861	7,386	8,739	1,736		25 王 喜	
○	○	○	2,233	2,188	45		881		881	13,323	6,657	6,018	648		26 内 日	
○	○	○	5,772	5,697	75		811		811	17,902	6,946	8,798	2,158		27 山 の 田	
○	○	○	5,313	5,165	148		788		788	17,018	6,005	9,822	1,191		28 川 中 西	
○	○	○	6,319	6,248	71		1,011		1,011	27,104	9,928	12,728	4,448		29 垢 田	
○	○	○	7,335	7,250	85		1,131		1,131	30,014	10,878	10,932	8,204		30 長 府	
○	○	○	5,900	5,900			1,018		1,018	32,475	11,110	12,200	9,165	204	31 一 の 宮	
○	○	○	6,051	5,990	61		1,015	1,015		31,042	11,935	11,740	7,367		32 熊 野	
○	○	○	3,351	2,712	620	19	648		648	21,195	10,336	8,863	1,996		33 豊 東	
○	○	○	2,799	2,769	30		544		544	17,131	5,916	6,546	4,669		34 岡 枝	
○	○	○	2,011	1,686	69	256	525		525	19,664	5,730	8,699	5,235		35 檜 崎	
○	配	○	1,817	1,769	17	31	698	698		26,081	7,174	9,300	9,607		36 豊 田 中	
○	配	○	3,076	3,037	3	36	694		694	14,331	7,680	6,008	643		37 西 市	
○	配	○	1,696	1,665		31	680	680		15,966	7,153	8,813			38 豊 田 下	
○	配		2,087	2,037		50	785	785		19,699	8,380	11,319			39 室 津 意	
○	配		4,062	3,972	75	15	561		561	16,216	4,685	11,375	156		40 誠 意	
○	配	○	4,169	3,945	116	108	911		911	22,290	9,993	12,297			41 川 棚	
○	配		3,144	3,098	13	33	607	607		14,632	7,809	5,835	988		42 小 串	
○	○	○	2,542	2,480		62	779	779		11,772	4,773	6,269	730		43 宇 賀	
○	○	○	1,962	1,807	128	27	463	463		16,445	3,193	8,799	4,453		44 角 島	
○	○	○	1,850	1,736		114	673	673		13,036	3,145	9,802	89		45 阿 川	
○	○	○	1,913	1,810	103		566		566	30,505	6,962	12,648	10,895		46 粟 野	
○	配	○	2,923	2,868	50	5	794	794		25,552	9,025	13,244	3,283		47 滝 部	

#### (4) 中学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	生徒			教員	事務職員		養護教諭 (養護士)		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
平成30年度		200	47	5,741	2,990	2,751	440	28		23		7		14(8)	15(7)	269	449	16
令和元年度		196	48	5,774	3,005	2,763	441	28		22		5	2	14(8)	14(8)	286	440	16
1 日 新	上田中町一丁目 15-1	9	2	281	137	144	23	1		1				1		14	26	
2 向 洋	向洋町一丁目 14-1	5	2	131	53	78	13	1		1				1		9	23	
3 文 洋	上新地町五丁目 6-1	7	2	162	88	74	18	1		1				1		16	32	
4 名 陵	丸山町一丁目 13-3	5	2	122	59	63	14	1		1				1		8	20	
5 東 部	清未陣屋 5-10	17	3	556	287	269	33	2		1		1	1	2(2)		19	22	
6 長 府	長府逢坂町 3-1	13	3	426	242	184	27	1		1	1		1	2(1)		16	20	
7 勝 山	秋根上町二丁目 5-1	18	3	586	298	288	35	1		1		1	1	2(2)		22	14	2
8 川 中	伊倉新町四丁目 6-1	19	2	635	343	292	40	5		2	2		(1)			27	53	
9 安 岡	安岡町四丁目 2-1	12	3	335	185	150	24	1		1	1		1	2(1)		17	17	2
10 吉 見	永田本町一丁目 3-10	3	1	92	44	48	9	1		1			1	2		6	10	
11 彦 島	彦島江の浦町二丁目 25-1	13	3	389	204	185	29	1		1			1			16	25	
12 玄 洋	彦島本村町二丁目 8-1	6	2	143	81	62	15	1		1			(1)			10	25	
13 木 屋 川	木屋川南町二丁目 660	4	3	105	66	39	13	1		1			1	2		7	10	
14 内 日	大字内日 下字福寿庵 1196-2	2	1	13	6	7	7	1					(1)			4	7	1
15 山 の 田	山の田本町 8-1	13	2	434	220	214	29	2		1			1			17	21	
16 堀 田	大字堀田字笹原 1127-6	11	2	328	164	164	24	1		1			1			13	25	
17 長 成	長府日の出町 4-1	8	2	229	108	121	19	1		1			1			12	19	2
18 菊 川	菊川町大字下岡枝字上室屋 1-2	7	2	208	114	94	16	1		1			(1)	2(2)		10	14	
19 豊 田	豊田町大字矢田字鎮守 434	5	2	107	62	39	12	1		1			(1)			7	12	
20 豊 洋	豊浦町大字黒井字馬神 10724-1	5	2	121	67	54	12	1		1			(1)			8	13	
21 夢 が 丘	豊浦町大字小串字夢が丘 10145	9	2	254	127	127	17	1		1			(1)			12	15	4
22 豊 北	豊北町大字滝部字幸神 1244-36	5	2	117	50	67	12	1		1	1		(1)			16	17	5

( ) は非常勤職員、外数

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

#### (5) 高等学校

下関商業高等学校 (下関市後田町四丁目 11-1)

区分	生徒	学級	保有教室		保健室	食堂	水泳プール	校舎保有面積			
			普通	特別				校			
								総数	鉄筋	鉄骨	木造
平成30年度	596(21)	18(4)	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106
令和元年度	553(14)	17(3)	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106

( ) は定時制、外数

令和元年5月1日現在

保 健 室	給 食 室	水 泳 プ ール	武 道 場	校舎等				用地							区 分	
				校舎保有面積				屋内運動場保有面積			面積					左の内 借地
				総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
22	22	20	17	126,489	120,814	5,604	71	20,915	9,424	11,491	780,586	241,501	277,554	261,531	20,146	平成30年度
22	22	20	17	126,510	120,835	5,604	71	22,341	9,424	12,917	782,933	243,848	277,554	261,531	20,146	令和元年度
○	配	○	○	6,683	6,368	315		812	812		33,695	8,355	7,957	17,383		1日新
○	配	○	○	5,771	5,376	395		1,192	1,192		30,529	13,250	12,340	4,939	17,258	2向洋
○	配	○	○	7,450	6,925	525		749	749		25,490	12,248	7,803	5,439	2,888	3文洋
○	配	○	○	5,038	4,946	92		758	758		16,391	7,299	8,016	1,076		4名陵
○	○	○	○	6,299	6,194	105		819	819		73,459	12,331	13,118	48,010		5東部
○	○	○	○	6,843	6,315	528		1,026		1,026	57,236	12,519	15,171	29,546		6長府
○	○	○	○	6,858	6,806	52		961		961	29,899	11,510	10,694	7,695		7勝山
○	配	○	○	12,131	12,131			2,299	133	2,166	33,753	19,553	14,200			8川中
○	○	○	○	6,212	5,555	657		1,019		1,019	34,816	12,251	16,299	6,266		9安岡
○	○	○	○	3,401	3,208	193		994		994	26,753	10,472	14,832	1,449		10吉見
○	配	○	○	7,322	6,737	585		817	817		37,778	10,785	16,491	10,502		11彦島
○	配	○	○	6,233	5,606	627		1,130		1,130	46,640	12,069	15,768	18,803		12玄洋
○	○	○	○	3,097	3,002	95		602		602	20,743	7,157	10,435	3,151		13木屋川
○	配	○		1,928	1,864	64		776		776	12,611	5,750	6,541	320		14内日
○	配	○	○	6,530	6,368	162		985		985	20,761	9,116	10,254	1,391		15山の田
○	配	○	○	6,464	6,022	442		1,234		1,234	33,053	12,000	15,000	6,053		16垢田
○	配	○	○	5,549	5,491	58		1,178	1,178		35,095	8,864	15,910	10,321		17長成
○	○			3,234	2,664	543	27	1,426		1,426	26,465	11,341	15,124			18菊川
○	配	○		2,919	2,813	62	44	1,123	1,123		25,538	11,437	13,859	242		19豊田
○	配	○		3,441	3,337	104		676	78	598	19,928	6,302	9,997	3,629		20豊洋
○	配			5,580	5,580						23,423	5,611	11,500	6,312		21夢が丘
○	配	○	○	7,527	7,527			1,765	1,765		118,877	23,628	16,245	79,004		22豊北

令和元年5月1日現在

舎等		用地					左の内 借地	区 分
屋内運動場保有面積		面積						
総数	鉄筋	総数	建物敷地	屋外運動場	その他			
5,579	5,579	38,517	9,605	25,917	2,995	0	平成30年度	
5,579	5,579	38,517	9,605	25,917	2,995	0	令和元年度	

### 3 令和元年度 研修計画

令和元年5月1日現在

番号	研修会名	参加対象				実施予定日等	番号	研修会名	参加対象				実施予定日等
		幼 こ 保	小	中	高				幼 こ 保	小	中	高	
1	下関市小・中学校初任者研修		○	○		全7回	33	中学校 音楽科			○	○	未定
2	フォローアップ(2年次)研修		○	○		6月11日(火)	34	中学校 美術科			○	○	未定
3	フォローアップ(2年次・3年次)研修		○	○		8月8日(木)	35	中学校 保健体育科			○	○	未定
4	下関市小・中学校6年次研修		○	○		全2回	36	中学校 技術家庭科(技術)			○	○	未定
5	小・中学校中堅教諭等資質向上研修I		○	○		全4回	37	中学校 技術家庭科(家庭)			○	○	未定
6	教頭研修会			教頭	教頭	6月27日(木)	38	中学校 英語科			○	○	未定
7	園長・校長フォローアップ(1・2・3年次)研修会	園長	校長	校長		全3回	39	中学校 道徳科			○	○	未定
8	園長研修会	園長				7月5日(金)	40	幼児教育実技研修会	○				8月21日(水)
9	校長研修会		校長	校長	校長	7月2日(火)	41	児童生徒理解を深める生徒指導研修会		○	○		11月14日(木)
10	園務主任等研修会	○				7月22日(月)	42	危機対応研修会		○	○		10月4日(金)
11	教務主任のための教育課程研修会		○	○		7月4日(木)	43	通常の学級における特別支援教育研修会	○	○	○	○	8月5日(月)
12	人材育成担当者連絡協議会		○	○		7月23日(火)	44	道徳教育研修会		○	○	○	6月24日(月)
13	新学習指導要領に向けた研修サポートセミナー		○	○		6月3日(月)	45	人権教育研修会		○	○		7月30日(火)
14	つなぐ生徒指導研修会		○	○		6月28日(金)	46	外国語活動研修会【HOP!】初級		○	○		7月25日(木)
15	教育相談担当研修会		○	○		5月9日(木)	47	外国語活動研修会【STEP!】中級		○	○		5月31日(金)
16	特別支援教育コーディネーター研修会		○	○		8月5日(月)	48	「なめらかな接続」のための連携教育研修会	○	○			11月12日(火)
17	特別支援教育スキルアップ研修会	○	○	○		7月29日(月)	49	複式教育研修会		○			6~7月
18	小中連携教育研修会		○	○		11月12日(火)	50	ICT教育研修会		○	○		8月上旬
19	食育研修会		○	○		7月下旬	51	研修支援訪問					計画による
20	学校図書館研修会		○	○		6月4日(火)	52	授業力サポート研修		○	○		随時
21	養護教諭研修会		○	○		7月31日(水)	53	外国語活動校内研修		○			随時
22	学校事務職員研修会		○	○		6月14日(金)	54	イングリッシュ・チャット・ルーム		○	○	○	夏期休業中
23	小学校 音楽科		○			未定	55	わくわく教師塾 in 下関	任意参加			随時	
24	小学校 図画工作科		○			未定	56	短・中期派遣研修(こ・幼・保)	○				計画による
25	小学校 家庭科		○			未定	57	短・中期派遣研修(小・中・高)		○	○	○	計画による
26	小学校 体育科		○			未定							
27	小学校 外国語活動		○			未定							
28	小学校 道徳科		○			未定							
29	中学校 国語科			○	○	未定							
30	中学校 社会科			○	○	未定							
31	中学校 数学科			○	○	未定							
32	中学校 理科			○	○	未定							



## 4 令和元年度研究事業一覧

☆印は山口県教育委員会事業 ○印は文部科学省事業

研 究 領 域	学 校 名	期 間
☆小中高連携英語教育推進校・連携校	下関市立名陵中学校 下関市立名池小学校 下関市立王江小学校	令和元年度
☆小学校英語専科教員配置モデル事業	下関市立王司小学校 下関市立勝山小学校 下関市立熊野小学校	令和元年度
☆小中連携授業力向上実践研究指定校区	下関市立豊洋中学校 下関市立室津小学校 下関市立誠意小学校	令和元年度
☆「やまぐちっ子の心を育む道德教育」 プロジェクト推進校	下関市立西市小学校 下関市立木屋川中学校	平成 30 年度～令和元年度 令和元年度～令和 2 年度
○人権教育総合推進地域事業	下関市立菊川中学校 下関市立豊東小学校 下関市立岡枝小学校 下関市立檜崎小学校	平成 29 年度～令和元年度
○武道等指導充実・資質向上支援事業	下関市立長府中学校	令和元年度
☆プログラミング教育実践研究校	下関市立一の宮小学校	令和元年度
下関市へき地・複式教育研究協議会	下関市立吉田小学校	令和元年度
下関市小中一貫教育研究推進校	下関市立長成中学校 下関市立長府小学校	平成 30 年度～令和元年度

## 5 下関市教育研究会

### (1) 令和元年度部会一覧

幼稚園	幼児教育																									
小学校			学校事務	養護			国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語活動	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	学校図書館	情報教育	特別支援教育	人権教育	食に関する教育
中学校	学校経営	教育課程	学校事務	養護	保健	研修	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	保健体育	英語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	学校図書館	情報教育	特別支援教育	人権教育	食に関する教育

### (2) 研究主題

年 度	研 究 主 題	副 題
令和元年度	学ぶ力を育む下関教育	学ぶ意欲と支え合う心の育成を視点に

## 6 外国語指導助手派遣推進事業

ALT人数・配置先	12名：教育研修課 8、菊川教育支所 1、豊田教育支所 1、豊浦教育支所 1、豊北教育支所 1
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の生活や文化に慣れ親しむための指導に当たる。</li> <li>・外国語担当教員や学級担任のもとで協同授業(ティーム・ティーチング)を行い、児童・生徒のコミュニケーション能力の素地や基礎を養う。</li> <li>・外国語担当教員のための各種研修会に講師として参加する。</li> <li>・特別活動・課外活動などを担当教員のもとで指導する。</li> <li>・外国語暗唱・弁論大会の指導及び審査に当たる。</li> <li>・音声教材及び外国語原稿作成への支援に当たる。</li> <li>・その他、所属長または校長が必要と認める職務に当たる。</li> </ul>

## 7 特別支援教育

## (1) 特別支援学級設置状況（令和元年度）

(令和元年5月1日現在)

(ア) 小学校

(単位：学級、人)

区分	障害別	学級	担当者数	児童						合計
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	
平成30年度	—	109	121	65	70	73	83	81	68	440
令和元年度	—	114	122	63	73	85	72	92	78	463
養治小	知的	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	1	0	0	0	2
文関小	知的	2	2	0	0	0	2	6	1	9
	自閉・情緒	2	2	0	2	2	2	5	1	12
名池小	知的	1	1	0	0	2	0	0	1	3
	肢体不自由	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	2	2	0	3	0	2	2	9
王江小	知的	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	0	1	1	0	5	0	7
関西小	知的	1	1	0	1	0	0	0	2	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	0	1	1
桜山小	知的	1	1	1	0	0	1	0	0	2
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	0	3	0	4
向山小	知的	1	1	0	0	0	2	0	1	3
	自閉・情緒	1	1	1	0	1	1	0	2	5
生野小	知的	1	1	1	1	3	0	1	1	7
	自閉・情緒	2	2	2	1	2	1	2	1	9
本村小	知的	1	1	1	0	0	0	1	1	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1	1	0	3
西山小	知的	1	1	0	1	2	0	0	1	4
	自閉・情緒	1	1	2	1	0	1	0	0	4
江浦小	知的	1	1	1	0	0	1	0	0	2
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	自閉・情緒	2	2	1	0	3	2	3	2	11
角倉小	知的	1	1	0	0	1	1	0	1	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	1	2	4
	肢体不自由	1	1	0	0	1	0	0	0	1
向井小	知的	1	1	0	1	1	0	1	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	1	1	0	1	2	5
小月小	知的	1	1	0	1	0	0	2	2	5
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1	2	3	7
清末小	知的	1	1	0	1	0	0	0	2	3
	病弱・虚弱	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	3	0	1	0	0	5
王司小	知的	1	1	0	1	0	1	1	0	3
	病弱・虚弱	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	3	2	0	1	0	1	7
豊浦小	知的	2	2	0	2	2	2	3	3	12
	自閉・情緒	3	4	6	2	4	2	6	4	24
	難聴	1	1	0	0	2	0	0	0	2
勝山小	知的	2	2	0	1	5	1	2	2	11
	自閉・情緒	3	4	5	6	4	3	1	0	19
川中小	知的	2	2	2	0	4	1	4	1	12
	病弱・虚弱	1	1	1	0	0	0	0	1	2
	難聴	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	3	3	2	1	4	2	3	15
安岡小	知的	1	1	1	0	0	1	2	1	5
	自閉・情緒	3	3	1	3	2	4	3	4	17
吉田小	知的	1	1	0	0	0	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1	0	0	2

区分	障害別	学級	担当者数	児 童						合計
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	
王喜小	知的	1	1	0	3	2	1	1	0	7
	難聴	1	1	0	1	0	1	0	0	2
	自閉・情緒	2	2	2	3	2	2	1	2	12
山の田小	知的	1	1	0	0	1	0	2	0	3
	自閉・情緒	2	2	0	3	1	4	2	0	10
	肢体不自由	1	1	0	0	0	1	0	0	1
川中西小	知的	2	2	1	1	1	3	1	2	9
	自閉・情緒	2	3	4	2	2	4	0	2	14
	難聴	1	1	1	0	0	0	0	0	1
垢田小	知的	2	2	1	1	1	1	5	1	10
	自閉・情緒	2	2	0	5	2	2	1	2	12
	肢体不自由	1	1	1	0	0	0	0	0	1
長府小	知的	2	2	1	2	2	0	5	0	10
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	自閉・情緒	2	2	1	2	3	0	1	3	10
一の宮小	知的	1	1	2	0	2	1	1	1	7
	肢体不自由	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	2	5	0	0	0	1	2	8
	難聴	1	1	0	0	1	0	0	0	1
熊野小	知的	1	1	0	1	1	1	0	1	4
	自閉・情緒	2	2	2	3	3	1	1	1	11
豊東小	知的	1	1	0	0	1	0	1	0	2
	自閉・情緒	1	2	0	1	0	3	1	2	7
岡枝小	知的	1	1	1	0	0	0	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1	0	1	3
檜崎小	知的	1	1	0	0	0	1	0	0	1
西市小	知的	1	1	0	1	0	1	0	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1	0	0	2
豊田下小	知的	1	1	0	0	0	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	1	0	0	1
誠意小	知的	1	1	0	0	0	0	2	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	2	0	0	1	3
川棚小	知的	1	1	0	0	1	1	2	1	5
	自閉・情緒	1	1	1	1	1	0	0	1	4
小串小	知的	1	1	0	1	1	0	0	0	2
宇賀小	知的	1	1	0	0	0	0	0	1	1
角島小	自閉・情緒	1	1	1	1	0	0	1	0	3
阿川小	知的	1	1	0	1	1	0	0	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	0	1	1
滝部小	自閉・情緒	1	1	1	1	1	0	0	2	5

(イ) 中学校

区 分	障害別	学級	担当者数	生 徒			合計
				1年	2年	3年	
平成30年度	—	47	49	56	47	41	144
令和元年度	—	48	55	66	57	47	170
日新中	知的	1	1	2	2	1	5
	自閉・情緒	1	2	4	2	1	7
向洋中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1
文洋中	知的	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	2	3
名陵中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	2	0	1	3
東部中	知的	1	1	1	3	1	5
	自閉・情緒	2	2	3	1	5	9
長府中	知的	1	1	4	1	2	7
	自閉・情緒	2	2	4	6	2	12
勝山中	知的	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	2	3	6	4	3	13
川中中	知的	1	2	2	3	3	8
	自閉・情緒	1	2	2	3	2	7

区 分	障害別	学級	担当者数	生 徒			
				1年	2年	3年	合計
安岡中	知的	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	3	1	1	5
	病弱・虚弱	1	1	1	0	0	1
吉見中	自閉・情緒	1	1	0	3	0	3
彦島中	知的	1	1	2	1	1	4
	自閉・情緒	2	2	1	7	2	10
玄洋中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	2	5	1	2	8
木屋川中	知的	1	1	1	1	0	2
	難聴	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	2	3	3	1	7
内日中	弱視	1	1	0	0	1	1
山の田中	知的	1	1	4	0	2	6
	自閉・情緒	1	2	3	2	2	7
垢田中	知的	1	1	2	3	0	5
	自閉・情緒	1	1	0	1	2	3
長成中	知的	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	2	0	3
菊川中	知的	1	1	1	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	1	1	1	3
豊田中	知的	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1
豊洋中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1
夢が丘中	知的	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	3	0	0	3
豊北中	知的	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	2	3

(2) 通級指導教室 活動実態 (名池小・江浦小・豊浦小・誠意小・小月小・山の田小・日新中・彦島中)

(ア) 幼児

(単位：人)

	総数/年齢	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
平成30年度	254	3	31	83	137

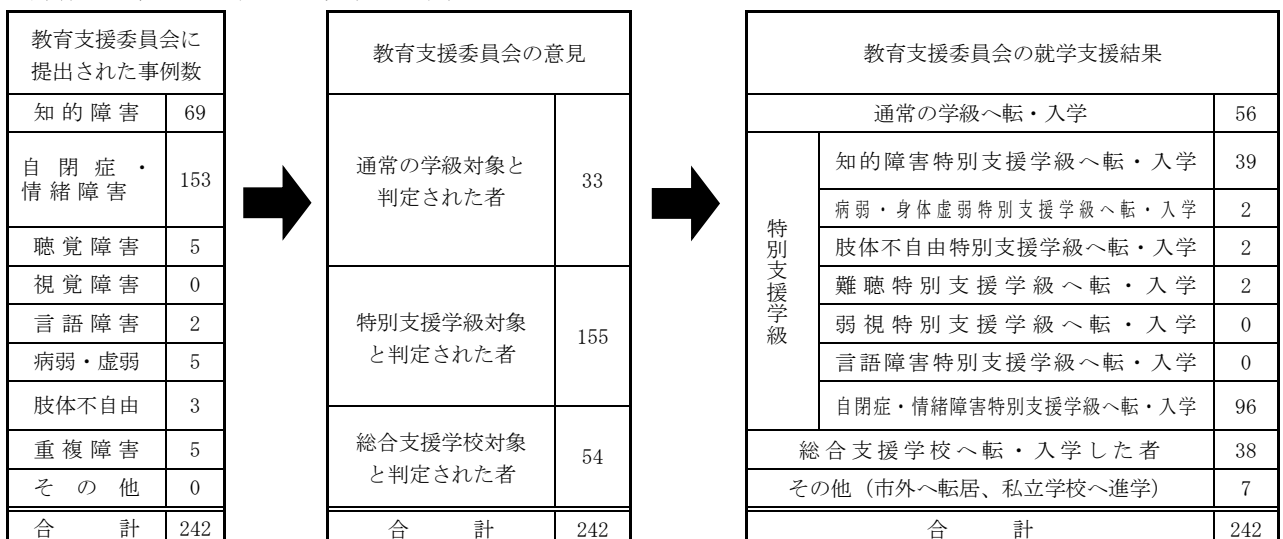
(イ) 児童・生徒

(単位：人)

	小学校							中学校			
	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総数	1年	2年	3年
平成30年度	413	107	93	64	61	47	41	47	18	18	11

(3) 令和元年度就学支援状況

(平成31年4月に転・入学等した者)



#### (4) 特別支援学級生徒の進路状況

(単位：人)

区 分	総数	高等学校			総合支援 学 校	各種学校	就職	自宅
		公立	定時制・通信制	私立				
平成 29 年度	32	6	0	11	13	1	0	1
平成 30 年度	41	7	3	11	15	4	0	1

#### (5) 下関市特別支援教育支援員配置状況

令和元年度 113名配置 (令和元年5月1日現在)

#### (6) 令和元年度に新設された特別支援学級

小学校 7学級 (自閉症・情緒障害 2、肢体不自由 2、難聴 2、知的障害 1)

中学校 4学級 (知的障害 3、病弱・身体虚弱 1)

## 8 就学援助

### (1) 就学援助費

(単位：人、円)

区 分		小 学 校		中 学 校	
		受給児童	援助額	受給生徒	援助額
平 成 29 年 度		3,135	71,086,037	1,735	115,883,658
平 成 30 年 度		2,910	66,364,808	1,640	87,073,451
再 掲	学用品・通学用品・校外活動費(日帰り)	2,897	36,356,378	1,623	34,231,905
	修学旅行費	563	11,374,637	527	23,144,450
	校外活動費(宿泊)	504	1,489,783	30	25,996
	通学費	33	1,299,860	5	541,430
	新入学児童生徒学用品費等	364	15,844,150	578	29,129,670

### (2) 特別支援教育就学奨励費

(単位：人、円)

区 分		小 学 校		中 学 校	
		受給児童	援助額	受給生徒	援助額
平 成 29 年 度		411	7,545,276	121	2,769,745
平 成 30 年 度		570	8,360,138	123	3,468,799
再 掲	学 校 給 食 費	240	4,953,316	72	1,537,042
	通 学 費	297	1,173,592	39	282,815
	職 場 実 習 交 通 費	0	0	4	2,249
	交 流 学 習 交 通 費	168	63,286	92	162,165
	修 学 旅 行 費	26	251,603	22	529,393
	校 外 活 動 費 (日 帰 り)	201	150,917	17	14,298
	校 外 活 動 費 (宿 泊)	108	192,302	1	2,000
	学 用 品 ・ 通 学 用 品 購 入 費	197	933,334	51	431,781
	新 入 学 児 童 生 徒 学 用 品 ・ 通 学 用 品 購 入 費	38	638,993	23	507,056
付 添 保 護 者 交 通 費	1	2,795	0	0	

## 9 下関市奨学金制度

月額奨学金	貸付金額 (月額)	①大学生	40,000 円
		②高校生	18,000 円
	貸付期間	在学する学校の正規の修業期間	
入学一時金	貸付金額	①大学生	40,000 円, 80,000 円, 120,000 円, 160,000 円, 200,000 円, 240,000 円のいずれかの額
		②高校生	18,000 円, 36,000 円, 54,000 円, 72,000 円, 90,000 円, 108,000 円のいずれかの額
据置期間	在学する学校の正規の修業期間経過後 1 年間		
返還方法	月賦により返還、毎月の返還額は月額奨学金の 2 分の 1 の額		

※1 無利子

※2 入学一時金は大学又は高校に入学した年度に 1 回のみ貸付

【平成 30 年度までの運用状況】

(単位：人、円)

年 度	合 計		大 学		高 校	
	人 員	貸付金総額	人 員	貸付金総額	人 員	貸付金総額
27	5	2,360,000	5	2,360,000	0	0
28	5	2,400,000	5	2,400,000	0	0
29	6	2,724,000	5	2,400,000	1	324,000
30	10	4,468,000	8	4,000,000	2	468,000

※大学生 1 人について、休学に伴い、平成 27 年度は 1 月分の貸付を休止した。

## 10 園・学校訪問

研修支援訪問 (小・中学校)	各学校が抱えている学習指導、生徒指導、特別支援教育、情報教育等の課題の解決を図るために、年 1 回の定期訪問及び各学校や研究団体からの要請に応じて指導主事等を派遣し、研修の充実を図る。
研修支援訪問 (幼稚園・認定 こども園)	各園の自主的な研修活動を促進させるために、年 1 回の定期訪問及び各園からの要請に応じて指導主事等や教育・保育専門監を派遣し、研究主題の解明や保育活動の充実を図る。
担当校訪問	各園、小・中学校に教育・保育専門監・担当指導主事等を配置することで、学校と教育委員会との連携を密にするとともに、各園・学校が抱えている課題の把握と解決、さらには人材育成への支援を図る。
生徒指導訪問	各学校の問題行動や、学校事件・事故等に素早く対応したり、未然に防止したりするために、指導主事、ガイダンスアドバイザー、カウンセリングアドバイザー、スクールソーシャルワーカー等を派遣する。

# 11 学校保健

## (1) 平成 30 年度 健康診断における疾患・異常

(単位：人、%)

区 分 項 目		小 学 校				中 学 校				
		男 子		女 子		男 子		女 子		
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	
栄養状態	栄養不良	6	0.10	10	0.16	4	0.13	11	0.40	
	肥満傾向	146	2.32	96	1.57	59	1.97	42	1.53	
	貧血	5	0.08	3	0.05	0	0.00	3	0.11	
脊 柱		85	1.35	72	1.18	47	1.57	53	1.93	
胸 郭		2	0.03	4	0.07	2	0.07	0	0.00	
骨・関節、四肢の状態		31	0.49	19	0.31	8	0.27	10	0.36	
裸眼視力	1.0未満0.7以上 B	499	7.95	617	10.16	262	8.76	245	8.91	
	0.7未満0.3以上 C	669	10.66	807	13.29	430	14.38	408	14.84	
	0.3未満 D	449	7.15	598	9.85	449	15.02	575	20.91	
聴 力		46	0.73	50	0.82	27	0.90	15	0.55	
眼	感染性眼疾患	1	0.02	2	0.03	1	0.03	0	0.00	
	その他の眼疾患異常	427	6.78	405	6.63	125	4.18	141	5.13	
耳鼻咽喉頭	耳 疾 患	459	7.29	410	6.71	181	6.05	86	3.13	
	鼻・副鼻腔疾患	723	11.48	296	4.84	254	8.49	122	4.44	
	口腔・咽頭疾患異常	26	0.41	32	0.52	7	0.23	4	0.15	
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎	209	3.32	122	2.00	91	3.04	65	2.36	
	その他の皮膚疾患	13	0.21	13	0.21	24	0.80	12	0.44	
結核精密検査者		1	0.02	0	0.00	1	0.03	1	0.04	
心臓疾患異常		83	1.32	86	1.41	35	1.17	31	1.13	
心電図二次検診受検者 ※		24	2.52	12	1.23	21	0.70	5	0.18	
尿	蛋 白	16	0.25	24	0.39	11	0.37	11	0.40	
	糖	2	0.03	1	0.02	2	0.07	2	0.07	
	潜 血	7	0.11	18	0.29	4	0.13	9	0.33	
その他の疾患異常		56	0.89	57	0.93	84	2.81	65	2.36	
歯・口腔	う 歯	処置完了者	1,772	28.29	1,516	25.01	716	24.63	727	28.43
		未処置歯のある者	1,640	26.18	1,383	22.82	601	20.67	540	21.12
	その他の歯疾患異常		907	14.48	955	15.76	550	18.92	379	14.82
	口腔の疾患異常		8	0.13	6	0.10	7	0.24	3	0.12

(単位：人)

在籍者総数	6,299	6,116	2,990	2,750
受検者数	6,296	6,111	2,960	2,728
歯・口腔の受検者数	6,264	6,061	2,907	2,557

※の受検対象者は、小学校1年生及び中学校1年生



## (2) 平成 30 年度 負傷・疾病の種類別災害発生状況

(単位：件)

負傷・疾病		学校種別					合計
		小学校	中学校	高等学校	幼稚園		
負傷	骨 折	222	198	21	2	443	
	捻 挫	211	243	19	0	473	
	脱臼	59	22	1	2	84	
	挫 傷 ・ 打 撲	343	253	19	4	619	
	靭 帯 損 傷 ・ 断 裂	18	24	1	0	43	
	挫 創	67	26	2	0	95	
	切 創	13	6	3	0	22	
	刺 創	2	3	0	0	5	
	割 創	0	0	0	0	0	
	裂 創	24	4	0	0	28	
	擦 過 傷	13	3	0	0	16	
	熱 傷 ・ 火 傷	3	0	0	0	3	
	歯 牙 破 折	10	1	0	0	11	
	そ の 他	0	2	0	0	2	
	負 傷 合 計	985	785	66	8	1,844	
疾 病	食 中 毒	0	0	0	0	0	
	食 中 毒 以 外 の 中 毒	0	8	0	0	8	
	熱 中 症	1	14	1	0	16	
	溺 水	0	0	0	0	0	
	異 物 の 嚥 下 ・ 迷 入	7	1	0	0	8	
	接 触 性 の 皮 膚 炎	8	2	0	0	10	
	外部衝撃、相当の運動量、心身に対する負担の累積に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	0	2	0	0	2
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	0	6	0	0	6
		骨 疾 患	1	8	1	0	10
		関 節 疾 患	3	10	0	0	13
		筋 腱 疾 患	6	33	1	0	40
		皮 膚 疾 患	4	0	0	0	4
		精 神 疾 患	0	0	0	0	0
		そ の 他	3	3	1	0	7
	計	17	62	3	0	82	
	負傷に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	1	0	0	0	1
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	0	0	0	0	0
		骨 疾 患	1	1	0	0	2
関 節 疾 患		5	0	0	0	5	
筋 腱 疾 患		1	0	0	0	1	
皮 膚 疾 患		6	0	0	0	6	
精 神 疾 患		0	0	0	0	0	
そ の 他		6	4	0	0	10	
計	20	5	0	0	25		
疾 病 合 計	53	92	4	0	149		
負 傷 ・ 疾 病 の 合 計	1,038	877	70	8	1,993		

### (3) 平成 30 年度児童・生徒の体位比較

年齢 (歳)	身長 (単位:cm)				体重 (単位:kg)				
	男		女		男		女		
	下関市	山口県	下関市	山口県	下関市	山口県	下関市	山口県	
小学校	6	118.8	116.0	115.0	114.7	21.1	21.3	20.7	20.5
	7	121.8	121.5	120.9	120.4	23.8	23.8	23.3	22.8
	8	127.5	127.2	126.9	126.6	26.9	26.7	26.4	26.2
	9	133.0	133.1	132.3	132.3	30.2	30.4	29.2	29.1
	10	137.8	138.1	139.3	139.4	33.4	33.5	33.5	34.1
	11	144.6	143.7	145.3	146.7	37.9	36.9	38.2	38.8
中学校	12	151.2	151.6	151.3	151.7	42.7	43.1	43.0	44.1
	13	159.0	158.9	154.6	154.4	48.1	47.8	47.0	46.5
	14	164.7	164.3	155.9	156.3	53.3	53.6	49.6	50.1

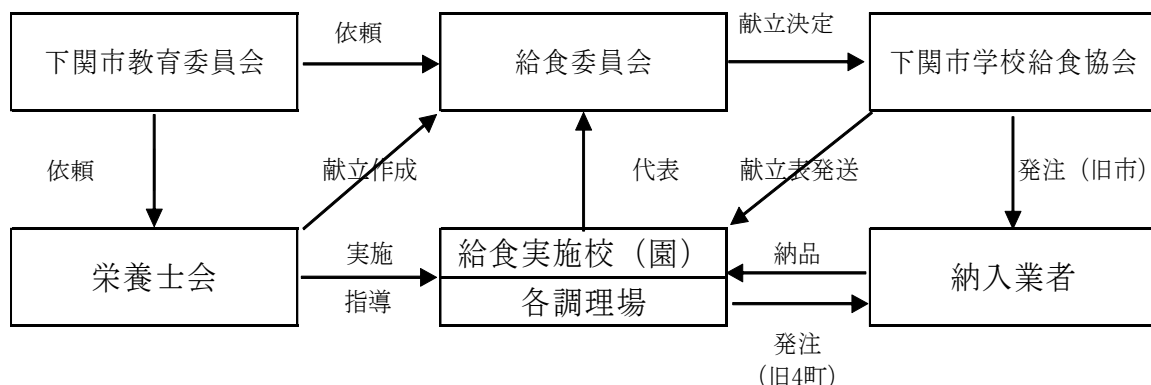
## 12 学校給食

### (1) 学校給食実施状況

(令和元年5月1日現在)

区分	完全給食			実施方式					
	校(園)数	実施人員	実施率	単独調理校		親子受配		調理場受配	
	校(園)	人	%	校(園)	人	校(園)	人	校(園)	人
小学校	47	12,284	100	31	9,865	1	8	15	2,411
中学校	22	5,775	100	7	2,308	1	13	14	3,454
幼稚園	8	302	100	0	0	7	292	1	10
計	77	18,361	100	38	12,173	9	313	30	5,875

### (2) 献立の作成から実施まで



## (3) 平成 30 年度就学援助費(給食費)

区分	実施人員(人)	援助額(円)
小学校	2,827	110,692,570
中学校	1,524	61,736,818
計	4,351	172,429,388

## (4) 学校給食共同調理場

(令和元年度)

共同調理場名 (所在地)	構造・延面積 (開設年月日)	運営方式	対象学校数 (児童生徒園児数)			対象 学校名
			学校 種別	学校(園)数	児童生徒 園児数	
南部学校給食共同調理場 (彦島江の浦町三丁目4-10) (TEL 267-2044)	軽量鉄骨 平屋建 延989.48㎡ (昭47.3.31)	民間 (平21.8~)	小	6	1,288	桜山、本村 西山、江浦 角倉、向井
			中	3	694	文洋、彦島 玄洋
			幼	1	10	江浦
			計	10	1,992	
中部学校給食共同調理場 (一の宮住吉二丁目9-8) (TEL 257-1578)	鉄骨 平屋建 延866.66㎡ (平2.4.1)	民間 (平30.4~)	小	1	119	養治
			中	7	2,161	日新、向洋 名陵、堀田 川中、長成 山の田
			計	8	2,280	
豊田町学校給食共同調理場 (豊田町大字矢田320-1) (TEL 766-0076)	鉄骨 平屋建 延486.51㎡ (昭38.4) (平4.3.24改 築)	民間 (平24.4~)	小	3	169	西市 豊田中 豊田下
			中	1	107	豊田
			計	4	276	
豊浦町学校給食共同調理場 (豊浦町大字川棚3630-1) (TEL 774-3390)	鉄骨 平屋建 延620㎡ (平5.4.1)	民間 (平20.4~)	小	2	453	川棚、小串
			中	2	375	豊洋 夢が丘
			計	4	828	
黒井学校給食共同調理場 (豊浦町大字黒井2200) (TEL 772-0290)	鉄骨 平屋建 延176㎡ (昭55.9) (平9.1.1開 設)	民間 (平23.4~)	小	2	232	誠意、室津
			計	2	232	
滝部学校給食共同調理場 (豊北町大字滝部1244-36) (TEL 782-0066)	鉄筋 コンクリート 平屋建 延413.25㎡ (平18.4.1)	民間 (平18.4~)	小	1	150	滝部
			中	1	117	豊北
			計	2	267	

## 13 生徒指導

### 成長促進事業一覧

●下関市教育支援教室「かんせい」	
目的	学校に行かない、行きたくても行けない子供たちのために、個別や小集団での相談や指導を行いながら、一人ひとりの社会的自立をめざす中で、学校復帰ができるように支援する。
内容	体験学習やスポーツ活動等とおした「集団適応指導」と、個別や小集団での相談・指導とおし基本的生活習慣の改善と精神的・社会的自立をめざした「生活指導」、または、一人ひとりの学力に応じた学習を進める「学習指導」を指導の柱としている。専門指導員による個別面談やグループ面談とおして、集団生活に参加する意欲を高める。
●「教育相談室」相談員及び「かんせい」専門指導員の訪問支援	
目的	引きこもりの傾向にある不登校の問題に対応するため、下関市教育支援教室「かんせい」と関係学校とが連携を図りながら、不登校児童生徒の学校復帰に向けた個別の訪問支援を行う。
内容	不登校で家庭に引きこもりがちな状態にある児童生徒を対象とし、「教育相談室」相談員及び「かんせい」専門指導員が学校及び家庭訪問による教育相談等を行う。
●カウンセリングアドバイザー（CA）派遣事業	
目的	犯罪被害及び学校事件・事故等の重大事案が発生した際、臨床心理士等をカウンセリングアドバイザーとして下関市立幼稚園、小・中学校及び下関商業高等学校（以下「学校」という。）に緊急に派遣し、助言・援助を行うことで、幼児児童生徒及び保護者等の心のケアに対応する。また、不登校の問題において、各学校に派遣しているスクールカウンセラーの業務以外で、カウンセリングアドバイザーによる助言・援助を校長・園長から求められた際、各学校・園に派遣し、その相談業務等の対応にあたる。
対象	校長からの要請に基づき、不登校や犯罪被害、学校事件・事故等により助言や援助が必要な幼児児童生徒及びその保護者等を対象として、カウンセリングアドバイザーを派遣する。
●下関市スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	
目的	いじめ、暴力行為、児童虐待や不登校等の生徒指導上の課題の内、学校だけでは解決が困難な事案に対し、社会福祉士・精神保健福祉士等の専門家をスクールソーシャルワーカー等として学校等に派遣し、専門的な知識・技能を用いて、幼児・児童・生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うことにより、生徒指導上の課題等の未然防止、早期対応を図る。
内容	学校・園からの支援要請に基づき、スクールソーシャルワーカー等を派遣し、幼児・児童・生徒の置かれた生活環境に働きかけ、又は児童相談所、福祉事務所その他の関係機関と連携して、幼児・児童・生徒、保護者、教職員その他の関係者に対する支援を行う。
●ガイダンスアドバイザー（GA）派遣事業	
目的	複雑・多様化してきている生徒指導上の課題に対応するため、管理職や教職員、警察等との連携のもと、児童生徒の見守り活動による問題行動の未然防止に努めるとともに実態把握による連携調整を行う。
内容	校内外の巡視等を行い、学校の実態を把握するとともに、教職員との情報交換をして、個別の支援が必要な生徒の状況を把握し、諸問題への早期対応、早期解決に役立てる。また、学校からの生徒指導に関する協力依頼に対して、積極的に支援する。
●スクールカウンセラー（SC）活用事業（山口県教育委員会実施事業）	
目的	教員とスクールカウンセラーが互いの立場を理解しつつ、相互に協力、補完して児童生徒の健全な育成を図る。
配置校	下関市立全小・中学校
●いじめ・不登校支援等総合推進事業	
目的	下関市教育支援教室「かんせい」に通うことが難しい不登校の児童及び生徒について、学校外での多様な学びの場の提供・支援を行う。
内容	訪問支援コーディネーターを配置することにより、民間フリースクール等との連携強化、不登校児童生徒に関する情報共有、下関市教育支援教室と協働の取組をコーディネートする等、児童生徒の「心の居場所」と「絆づくりの場」を確保する。

## 14 教育相談

## (1) 相談体制

●下関市教育委員会『教育相談室』	
目的	不登校、いじめ、非行問題等で悩む児童生徒や保護者への相談活動をとおして、児童生徒の主体的な自立を支援するとともに、学校や関係機関との連携を図りながら児童生徒を取り巻く心理的環境の改善を図る。
方法	来室（面接）相談、訪問相談、電話相談
時間	月～金 9時00分～16時30分
場所	下関市幡生新町1番1号 下関市教育委員会内（電話）231-6995（直通）
●いじめ相談専用電話『いじめテレホン相談』	
目的	いじめ問題に関わる悩みの相談を受け、早期解決を図る。
時間	月～金 9時00分～16時30分
場所	下関市教育委員会「教育相談室」内
電話	223-7830（な・や・み・ゼロ）

## (2) 平成30年度教育相談受理状況

問題行動別・相談者別			幼・小学生		中学生		高校生・他		男女別計		合計
			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
1	非行問題	行									
2		出									
3		家庭内暴力									
4		自殺									
5		犯罪・被害		1						1	1
6		その他									
7	学業・職業問題	学業・成績			1	1			1	1	2
8		不登校	10	7	8	3		3	18	13	31
9		進路				1				1	1
10		仕事									
11		その他									
12	家庭問題	家庭内不和									
13		しつけ	1						1		1
14		その他			1				1		1
15	交友問題	異性交際									
16		友人									
17		いじめ	22	9	2	16	17	2	41	27	68
18		その他									
19	健康問題	性									
20		健康									
21		性格									
22		その他									
23	その他		32	12	14	12	12	5	58	29	87
30年度			65	29	26	33	29	10	120	72	192
29年度			40	37	42	16	20	12	102	65	167
28年度			25	19	21	25	19	3	65	47	112

## Ⅱ 生涯学習関連資料

### 1 社会教育委員

委員定数 20名

任期 2年

職務 社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。(社会教育法第17条)

- (1)社会教育に関する諸計画を立案すること。
- (2)定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
- (3)前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

社会教育委員名簿（任期 令和元年6月1日～令和3年5月31日）（令和元年6月22日現在）

役職名	氏名	団体名等
委員長	吉井克也	学識経験者
副委員長	徳吉眞次	菊川町青少年育成町民会議 会長
委員	田上文雄	山口県教育会下関支部 支部長
〃	清永直志	下関市小学校長会
〃	中川和彦	下関市中学校長会
〃	佐々木猛	下関市PTA連合会 会長
〃	和崎法子	下関市連合婦人会 会長
〃	富永洋一	一般財団法人下関21世紀協会 常任理事
〃	杉山靖彦	下関市子ども会連合会 副会長
〃	勝野光枝	下関市連合婦人会菊川地区婦人会 副会長
〃	船瀬保美	菊川放課後子供教室 副会長
〃	水野捷子	豊田地区民生児童委員
〃	三戸恵子	下関市連合婦人会豊田地区婦人会 会長
〃	相原英嗣	豊田町青少年健全育成町民連絡協議会 会長 豊田地区子ども会連合会 会長
〃	伊藤忠晴	豊浦地区子ども会連合会 会長
〃	村岡亜由子	下関市放課後子どもプランコーディネーター
〃	中野千枝美	下関市地域活動（母親クラブ）連絡協議会 会長
〃	田中義道	下関市保育連盟 顧問
〃	鍋田和博	学識経験者
〃	板垣宏徳	豊北地区社会福祉協議会連合会 事務局長

### 2 図書館

#### (1) 中央図書館

沿革：昭和15年7月名池小学校校庭に創設されたものを源とする。昭和44年10月明治維新100年記念事業として上田中町に新築移転。平成21年11月下関市立中央図書館開館準備のため閉館。現施設は社会教育複合施設として建設され、平成22年3月に開館した。

位 置：下関市細江町三丁目1番1号

創 設：昭和15年7月（移転新築 平成22年3月）

施設概要：下関市生涯学習プラザ4,5階、一部1,6階（延面積5039.79㎡）

蔵書数：中央図書館 図書約395,000冊、視聴覚約3,000点 移動図書館 図書約19,000冊

休館日：館内整理日、12月29日～1月3日

利用時間：4階は、午前9時～午後8時

5階は、午前9時～午後9時



4階 児童図書コーナー



5階 一般図書コーナー

## (2) 彦島図書館

沿革：大正5年に本村小学校内に開設された村立のものを源とする。昭和27年に彦島公民館が開設されると、ここに下関図書館彦島分館が併設され、彦島公民館が江の浦町一丁目に改築されると、同所2階に移設された。現施設は、平成2年3月に新築移転されたもので、同年7月から下関市立彦島図書館として開館した。

位 置：下関市彦島江の浦町一丁目4番28号

創 設：昭和27年（新築移転 平成2年3月）

構造等：鉄筋コンクリート一部鉄骨2階建 延面積1001.77㎡

蔵書数：図書約66,000冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12月29日～1月3日

利用時間：午前9時30分～午後7時（但し、土・日曜日は午後6時まで）



## (3) 長府図書館

沿革：明治42年8月に豊浦郡教育会によって創設され、大正13年に長府町へ移管された。昭和12年に豊浦郡長府町が下関市と合併すると、下関市立長府図書館として運営され、昭和42年9月に明治100年記念事業の一環として改築された。

位 置：下関市長府宮の内町1番30号

創 設：明治42年8月（改築 昭和42年9月）

構造等：本館 鉄筋コンクリート2階建 延面積882.7㎡

蔵書数：図書約114,000冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12月29日～1月3日

利用時間：午前9時30分～午後7時

（但し、土・日曜日は午後6時まで）

児童室、2階の閲覧席の利用は午前9時30分～午後5時



#### (4) 菊川図書館

沿革：菊川図書館の前身である県立山口図書館豊浦分館は、昭和 26 年 12 月に岡枝公民館内に開館した。昭和 32 年 4 月に分館が閉館し、菊川町に移管され、菊川町立菊川図書館が誕生した。その後、昭和 48 年 4 月に現在の場所に移転改築した。

位置：下関市菊川町大字下岡枝 193 番地 8

創設：昭和 32 年 4 月（移転改築 昭和 48 年 4 月）

構造等：鉄筋コンクリート建 延面積 527.93 m<sup>2</sup>

蔵書数：図書 約 29,000 冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時



#### (5) 豊田図書館

沿革：平成 7 年 7 月に豊田町文化教育センターとして、現在地に創設された。平成 17 年 2 月の下関市豊浦郡 4 町の合併により、下関市立豊田図書館に改称。館内には、文化財資料室が併設されており、文書をはじめとする貴重な豊田の文化財を展示している。平成 27 年 4 月より、2 階部分が西市公民館となり複合施設となった。

位置：下関市豊田町大字矢田 153 番地 1

創設：平成 7 年 7 月

施設概要：鉄筋コンクリート 2 階建のうち 1 階部分（延面積 980.415 m<sup>2</sup>）

蔵書数：図書 約 44,000 冊、視聴覚 約 2,000 点

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時



#### (6) 豊浦図書館

沿革：昭和 52 年 12 月、川棚地区に公民館が開館し、館内に 60 m<sup>2</sup>の図書室が設置されたのを源とする。平成 2 年 4 月、公民館内図書室より図書館としての機能が独立する。平成 12 年 10 月、豊浦町商工会の事務所移転に伴い、旧商工会事務所に移転する。その後、豊浦総合支所の改築に合わせ、総合支所 2 階の旧議場を中心に図書館に改装され、平成 26 年 12 月に移転開館した。

位置：下関市豊浦町大字川棚 6895 番地 1

創設：平成 2 年 4 月（移設 平成 26 年 12 月）

施設概要：豊浦総合支所 2 階（延面積 471.06 m<sup>2</sup>）

蔵書数：図書 約 51,000 冊、視聴覚 約 600 点

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時 30 分～午後 7 時（但し、土・日曜日は午後 6 時まで）



#### (7) 豊北図書室

沿革：昭和 58 年に豊北町神田特牛に新設された豊北町町民センター（現在の豊北生涯学習センター）に図書室が設置され、20 年にわたって多くの人に利用されてきた。平成 18 年 4 月、豊北町滝部に開校した豊北中学校内に「豊北図書室」が開設された。

位置：下関市豊北町大字滝部 1244 番地 36（豊北中学校内）

創設：昭和 58 年 4 月（移設 平成 18 年 4 月）

施設概要：豊北中学校 1 階（延面積 350.5 m<sup>2</sup>）

蔵書数：図書 約 21,000 冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時（但し、日曜日は午後 5 時まで）





### 3 公民館活動

#### (1) 公民館運営審議会

委員定数：1 公民館 20 人以内

委員数：男性 120 人 女性 60 人 合計 180 人

任期：2 年（補欠委員は前任者の残任期間）

任務：館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について、調査審議する。

委嘱状況：平成 29 年 6 月 1 日～平成 31 年 5 月 31 日（本庁管内）

平成 29 年 8 月 1 日～平成 31 年 7 月 31 日（教育支所管内）

#### (2) 公民館設置状況

公民館名 (所在地)	構造・延面積 (建設年月)	公民館名 (所在地)	構造・延面積 (建設年月)
北部公民館 TEL083-253-3371 (山の田東町 4-13)	鉄筋・1,267.55 m <sup>2</sup> 4階建 (昭 49.6 / 増 平 4.3)	檜崎公民館 TELなし (菊川町大字檜崎 790-1)	S造・227.84 m <sup>2</sup> 平屋建 (平 2.4)
西部公民館 TEL083-231-6587 (伊崎町一丁目 4-30)	鉄筋・1,747.00 m <sup>2</sup> 4階建 (昭 54.4 / 増 平 3.3)	殿居公民館 TEL083-768-0556 (豊田町大字殿居 1039-2)	鉄筋・196.30 m <sup>2</sup> 2階建の2階部分 (昭 58.2)
玄洋公民館 TEL083-266-5455 (彦島西山町四丁目 1-28)	鉄筋・1,886.49 m <sup>2</sup> 3階建の1階部分 (昭 58.6)	豊田中公民館 TEL083-766-2361 (豊田町大字八道 2544-1)	鉄筋・347.89 m <sup>2</sup> 平屋建 (平 3.3)
長府東公民館 TEL083-246-1266 (長府松小田本町 4-15)	鉄筋・2,104.44 m <sup>2</sup> 3階建 (平 9.3)	三豊公民館 TEL083-766-3551 (豊田町大字地吉 122)	鉄筋・235.08 m <sup>2</sup> 平屋建 (平 6.1)
吉母公民館 TEL083-286-6226 (大字吉母 401-24)	鉄筋・481.56 m <sup>2</sup> 2階建 (昭 53.4)	西市公民館 TEL083-766-3511 (豊田町大字矢田 153-1)	鉄筋・373.50 m <sup>2</sup> 2階建の2階部分 (平 6.10)
川中公民館 TEL083-255-3501 (伊倉町二丁目 1-1)	鉄筋・2,903.22 m <sup>2</sup> 4階建 (平 4.6)	豊田下公民館 TEL083-766-2556 (豊田町大字手洗 285-1)	鉄筋・281.92 m <sup>2</sup> 平屋建 (昭 59.3)
川中公民館分館 TEL083-253-6169 (綾羅木本町三丁目 1-20)	鉄筋・1,014.89 m <sup>2</sup> 2階建 (昭 40.7)	小串公民館 TEL083-772-2001 (豊浦町大字小串 2207-1)	鉄筋・986.67 m <sup>2</sup> 2階建 (平 6.3)
彦島公民館 TEL083-267-1344 (彦島江の浦町一丁目 3-1)	鉄骨鉄筋・3,690.04 m <sup>2</sup> 6階建 (平 21.5)	川棚公民館 TEL083-772-2120 (豊浦町大字川棚 6167-2)	鉄筋・1,873.22 m <sup>2</sup> 2階建 (昭 52.12 / 増 平 12.1)
長府公民館 TEL083-246-3413 (長府土居の内町 1-6)	鉄筋・2,043.88 m <sup>2</sup> 4階建 (昭 38.12)	黒井公民館 TEL083-775-4182 (豊浦町大字黒井 2345-1)	鉄筋・759.81 m <sup>2</sup> 2階建 (賃貸借)
王司公民館 TEL083-248-3176 (王司神田一丁目 9-1)	鉄筋・2,018.81 m <sup>2</sup> 3階建 (昭 45.4 / 増 平 3.2)	室津公民館 TEL083-772-0055 (豊浦町大字室津下 681-3)	鉄筋鉄骨・448.74 m <sup>2</sup> 平屋建 (昭 63.3)
清末公民館 TEL083-282-1056 (清末陣屋 5-20)	鉄筋・1,144.63 m <sup>2</sup> 3階建 (昭 47.5)	神玉公民館 TEL083-788-1043 (豊北町大字神田上 2709)	鉄筋・408.00 m <sup>2</sup> 2階建 (昭 60.3)
小月公民館 TEL083-282-0661 (小月本町一丁目 7-7)	鉄筋・2,166.39 m <sup>2</sup> 3階建 (平 12.4)	角島公民館 TEL083-786-0734 (豊北町大字角島 1413-1)	鉄筋・526.00 m <sup>2</sup> 2階建 (昭 63.3)
王喜公民館 TEL083-282-0219 (王喜本町二丁目 15-10)	鉄筋・1,190.04 m <sup>2</sup> 3階建 (昭 48.4)	阿川公民館 TEL083-786-1010 (豊北町大字阿川 3752)	鉄筋等・452.00 m <sup>2</sup> 平屋建 (平 2.3)

吉田公民館 TEL083-284-0205 (大字吉田地方 2499)	鉄筋・1,121.20 m <sup>2</sup> 3階建 (昭 51.10)	栗野公民館 TEL083-785-0001 (豊北町大字栗野 3333-2)	鉄筋・435.00 m <sup>2</sup> 平屋建 (平元.2)
内日公民館 TEL083-289-2036 (大字内日下 1146-5)	鉄筋・1,091.28 m <sup>2</sup> 3階建 (昭 47.3)	滝部公民館 TEL083-782-1296 (豊北町大字滝部 3397-12)	木造・549.00 m <sup>2</sup> 2階建 (平 12.8)
勝山公民館 TEL083-256-2779 (秋根南町二丁目 4-33)	鉄筋・3,692.60 m <sup>2</sup> 4階建 (平 26.2)	田耕公民館 TEL083-783-0722 (豊北町大字田耕 4332)	木造・62.00 m <sup>2</sup> 平屋建 (平 10.2)
安岡公民館 TEL083-258-4792 (安岡駅前二丁目 7-1)	鉄筋・2,145.00 m <sup>2</sup> 4階建 (昭 40.10 / 増 平 2.3)		
吉見公民館 TEL083-286-2121 (大字吉見下 1533)	鉄筋・1,675.88 m <sup>2</sup> 3階建 (昭 52.4)		

### (3) 公民館利用状況 (平成 30 年度)

(単位：件、人)

公民館名	公用 (生涯・公民館・官公庁等)		公益 (教育・社会福祉等)		登録団体・自主学習グループ (公用・公益以外の減免団体等)		一般 (有料団体など)		総数	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
1 北部公民館	82	2,097	495	6,061	1,591	17,116	578	7,449	2,746	32,723
2 西部公民館	14	440	348	4,209	1,851	24,481	504	4,264	2,717	33,394
3 玄洋公民館	13	447	243	3,122	1,034	9,039	194	2,819	1,484	15,427
4 長府東公民館	85	2,156	215	5,946	2,024	21,466	673	7,420	2,997	36,988
5 吉母公民館	15	256	15	214	60	295	12	89	102	854
6 川中公民館	340	8,837	607	15,088	3,129	37,859	1,067	13,873	5,143	75,657
7 川中公民館分館	1	120	18	452	457	6,944	6	21	482	7,537
8 彦島公民館	167	2,781	465	9,924	2,016	27,847	661	10,274	3,309	50,826
9 長府公民館	125	2,799	394	7,787	1,321	16,153	407	4,977	2,247	31,716
10 王司公民館	70	1,972	415	7,992	1,083	8,795	272	4,544	1,840	23,303
11 清末公民館	62	1,295	324	6,021	700	8,891	239	4,652	1,325	20,859
12 小月公民館	87	1,689	272	6,711	1,269	15,721	560	6,946	2,188	31,067
13 王喜公民館	26	501	171	3,316	446	5,996	139	1,319	782	11,132
14 吉田公民館	17	361	166	3,056	136	1,518	27	479	346	5,414
15 内日公民館	36	441	243	3,489	141	1,334	65	809	485	6,073
16 勝山公民館	272	7,346	311	8,722	2,995	37,119	1,462	19,072	5,040	72,259
17 安岡公民館	134	1,854	332	6,132	1,782	18,968	751	4,880	2,999	31,834
18 吉見公民館	32	713	183	2,979	760	9,453	70	1,753	1,045	14,898
19 檜崎公民館	8	115	35	628	24	267	10	104	77	1,114
20 殿居公民館	57	614	8	91	32	273	13	54	110	1,032
21 豊田中公民館	53	828	36	409	147	1,127	27	206	263	2,570
22 三豊公民館	34	334	16	176	23	171	0	0	73	681
23 西市公民館	47	604	7	331	0	0	4	160	58	1,095
24 豊田下公民館	48	789	41	716	160	991	44	423	293	2,919
25 小串公民館	61	1,263	149	3,254	727	6,820	86	1,730	1,023	13,067
26 川棚公民館	118	2,294	337	6,902	1,529	14,497	466	5,054	2,450	28,747
27 黒井公民館	26	405	97	1,922	397	3,770	168	2,193	688	8,290

28	室津公民館	51	1,104	117	1,515	391	2,844	106	957	665	6,420
29	神玉公民館	27	458	37	656	87	611	102	696	253	2,421
30	阿川公民館	16	336	136	1,947	212	1,121	46	422	410	3,826
31	栗野公民館	18	256	50	675	20	95	18	325	106	1,351
32	田耕公民館	5	48	82	1,782	168	2,741	60	507	315	5,078
33	角島公民館	44	424	97	1,111	20	439	46	565	207	2,539
34	滝部公民館	23	283	85	1,461	553	4,402	298	3,113	959	9,259
	合 計	2,214	46,260	6,547	124,797	27,285	309,164	9,181	112,149	45,227	592,370

## 4 下関市生涯学習プラザ

沿 草：中央公民館、婦人会館、文化会館の跡地に市民の生涯学習拠点施設として平成22年3月に開館した、図書館と生涯学習施設の機能を備えた社会教育複合施設。

音響性能に優れ、コンサート・演劇・舞踊など幅広いジャンルに対応可能な大ホール・小ホール、式典・講演会などに適した多目的ホールのほか、料理教室、工作・工芸室、パソコンルーム、視聴覚室、音楽室、和室、茶室、会議室など目的性の高い諸室を備えている。(4階、5階は中央図書館)



位 置：下関市細江町三丁目1番1号

建設年月：平成22年2月

構造：地下1階、地上6階

SRC造(一部RC造/一部S造)

敷地面積：4,852 m<sup>2</sup>

建築面積：4,251 m<sup>2</sup>

延床面積：18,408 m<sup>2</sup>

駐車台数：80台/身障5台含む



大ホール（海のホール）

利用状況（平成30年度）

（単位：件、人）

室名	大ホール (海のホール)	小ホール (風のホール)	多目的ホール (宙のホール)	料理教室	工作工芸室	和室1	和室2	茶室
件数	179	188	392	105	66	101	83	73
人数	63,445	19,238	18,784	2,930	1,894	991	1,022	612

学習室1	学習室2	学習室3	学習室4	学習室5	レク室1	レク室2	PC室	視聴覚室
237	170	172	313	237	508	616	19	177
5,665	4,008	2,203	2,249	2,432	5,229	4,216	91	2,803

会議室1	会議室2	大練習室	小練習室	音楽室1	音楽室2	その他	合計
257	214	526	541	350	471	-	5,995
3,820	1,865	7,204	1,583	1,447	878	-	154,609

## 5 生涯学習センター

### (1) 豊田生涯学習センター

沿革：生涯学習の拠点施設として、昭和54年に豊田町制施行25周年記念事業の一環として建設され、今日まで豊田地区の教育・文化・体育振興の中心的役割を果たしてきた。平成13年度に2階ホールに電動式移動観覧席を設置するなど、大規模な改造工事を行い、施設面での整備充実も図っている。

位置：下関市豊田町矢田149番地1

建設年月：昭和54年8月

構造等：鉄筋コンクリート造3階建

延面積 2,510.65㎡

駐車場：134台収容



利用状況（平成30年度）

（単位：件、人）

室名	講堂	ステージ	トレーニング室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	視聴覚室	第1和室	第2和室	計
件数	136	30	134	236	159	106	132	131	121	1,185
人数	5,091	2,954	157	3,320	4,404	474	2,872	2,805	2,798	24,875

### (2) 豊北生涯学習センター

沿革：社会教育活動の拠点として、昭和58年に豊北町町民センターとして設置し、平成17年2月13日、合併を期に下関市豊北生涯学習センターと名称を変え、地域の生涯学習に積極的に取り組んでいる。

位置：下関市豊北町大字神田1199-1

建設年月：昭和58年4月

構造等：鉄筋コンクリート造2階建

延面積 3,292.70㎡

駐車場：200台収容



利用状況（平成30年度）

（単位：件、人）

室名	大ホール	中会議室1	和室(I)	和室(II)	調理室	小会議室	展示スペース	作業室	大会議室	中会議室2	視聴覚室	計
件数	88	71	16	10	13	116	7	76	87	1	8	493
人数	4,567	815	235	94	115	952	1,950	678	1,629	10	55	11,100

## 6 菊川ふれあい会館

### (1) 施設概要

沿革：21世紀に向けて「町づくりは人づくり」をテーマに生涯学習の一層の充実を図るとともに、幾世代にわたる交流と賑わいのある中核施設として、平成10年9月に開館した。

位置：下関市菊川町大字下岡枝117番地

建築面積：3,380.89㎡

延床面積：4,093.81㎡

構造：鉄筋コンクリート造 屋根 鉄骨トラス

駐車場：189台収容



### (2) 平成30年度の利用状況

利用日数：308日 利用回数：4,001回 利用人数：38,986人

(単位：回、日)

区分	午前		午後		夜間		合計		利用日数	
	回数	利用率	回数	利用率	回数	利用率	回数	利用率	日数	利用率
多目的ホール	70	22.7%	86	27.9%	61	19.8%	217	23.5%	98	31.8%
舞台	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
楽屋 1	37	12.0%	48	15.6%	32	10.4%	117	12.7%	49	15.9%
楽屋 2	27	8.8%	37	12.0%	28	9.1%	92	10.0%	38	12.3%
楽屋 3	82	26.6%	44	14.3%	28	9.1%	154	16.7%	89	28.9%
リハーサル室	96	31.2%	78	25.3%	132	42.9%	306	33.1%	179	58.1%
ミュージックルーム	71	23.1%	87	28.2%	60	19.5%	218	23.6%	120	39.0%
レクチャールーム1	75	24.4%	83	26.9%	51	16.6%	209	22.6%	143	46.4%
展示室	71	23.1%	77	25.0%	56	18.2%	204	22.1%	78	25.3%
調理室	77	25.0%	76	24.7%	35	11.4%	188	20.3%	88	28.6%
研修室	65	21.1%	84	27.3%	53	17.2%	202	21.9%	102	33.1%
小ホール	108	35.1%	125	40.6%	62	20.1%	295	31.9%	165	53.6%
中ホール	101	32.8%	117	38.0%	70	22.7%	288	31.2%	157	51.0%
女性室	125	40.6%	118	38.3%	62	20.1%	305	33.0%	177	57.5%
和室 1	106	34.4%	82	26.6%	82	26.6%	270	29.2%	160	51.9%
和室 2	97	31.5%	70	22.7%	73	23.7%	240	26.0%	159	51.6%
和室 3	34	11.0%	53	17.2%	22	7.1%	109	11.8%	69	22.4%
創作室	112	36.4%	66	21.4%	14	4.5%	192	20.8%	115	37.3%
レクチャールーム2	166	53.9%	136	44.2%	93	30.2%	395	42.7%	233	75.6%
合計	1,520	26.0%	1,467	25.1%	1,014	17.3%	4,001	22.8%	2,219	37.9%

## 7 その他社会教育施設

### (1) 豊浦ふれあいセンター

沿革：地域の生涯学習を推進するため、昭和 63 年に建設した施設で、交流室、管理室等を一体的に設けた施設。

位置：下関市豊浦町大字字賀 7925 番地 1

建設年月：昭和 63 年 3 月

構造：鉄骨造平屋建

床面積：202.54 m<sup>2</sup>

利用状況（平成 30 年度）（単位：件、人）

件数	114
人数	1,563



### (2) 宇賀ふれあいセンター

沿革：旧宇賀中学校舎等を利用し、地域の生涯学習を推進するため平成 18 年 4 月に使用を開始した社会教育施設で、屋内運動場、講座室、グラウンドを持つ施設。

位置：下関市豊浦町大字字賀 4940 番地

建設年月：昭和 55 年 3 月

構造：鉄筋コンクリート 3 階建（1 階は倉庫のため使用不可）

床面積：1,571 m<sup>2</sup>

利用状況（平成 30 年度）

（単位：件、人）

室名	体育館	市民教室					総数
		第 1 講座室	第 2 講座室	第 5 講座室	第 6 講座室	第 11 講座室	
件数	146	82	19	50	1	78	376
人数	1,460	1,316	102	585	10	640	4,113



### (3) 小野ふれあいセンター

沿革：旧小野小学校跡地に地域の生涯学習を推進するため、平成 17 年度に新築した施設で、情報発信室、調理実習室、多目的コミュニティ室を設けている。西側には旧小学校体育館があり、屋内スポーツ競技もできる。

位置：下関市豊浦町大字川棚 1486 番地 1

建設年月：平成 18 年 3 月

構造：木造スレート葺平屋建

床面積：281.55 m<sup>2</sup>（本館）

利用状況（平成 30 年度）

（単位：件、人）

室名	情報発信室	多目的 コミュニティ室	和室	調理実習室	特産加工室	体育館	総数
件数	34	56	108	12	31	17	258
人数	222	637	1,960	199	240	294	3,552



## 8 成人教育

## (1) 生涯学習まちづくり出前講座

30年度メニュー 72課所室 329講座

出前講座実施状況(平成30年度)		(単位:回、人)	
部局・課	講座名	回数	受講者数
<b>総合政策部</b>			
国際課	韓国文化講座	1	19
<b>総務部</b>			
行政管理課	公共施設はどうなるの?	1	33
防災危機管理課	災害に備えて	14	647
	災害図上ゲーム(DIG)	1	22
<b>市民部</b>			
生活安全課	幼児の交通教室	1	47
生活安全課(消費生活センター)	消費者講座	5	613
人権・男女共同参画課	男女共同参画について	1	22
	人権学習講座	14	1041
<b>福祉部</b>			
長寿支援課	高齢者の福祉サービスについて	1	11
	後期高齢者医療制度について	1	7
介護保険課	介護保険制度について	1	22
<b>こども未来部</b>			
こども家庭支援課	虐待かな?…と思ったら	2	24
<b>保健部</b>			
健康推進課	ふくふく健康講座(こども編)~生活リズムを整えよう~	8	893
	ぶちうま食育講座	2	113
	こころん体操	8	316
	知って得する!メタボ予防	1	64
	たばこと健康	1	20
	認知症ってな~に?	1	78
	こころの健康講座①	3	82
保健医療政策課	知って!救急医療	1	33
生活衛生課	食中毒予防について	4	59
	科学検査のバックヤードツアー	1	4
<b>環境部</b>			
環境政策課	環境教室(地球温暖化対策について)	1	74
	環境教室(水質検査)	1	74
	環境教室(地球温暖化とエネルギー問題)	1	15
クリーン推進課	ごみダイエットとリサイクル	14	685
環境施設課(環境みらい館)	リサイクル体験講座	5	189
<b>観光スポーツ文化部</b>			

観光政策課	下関の観光について楽しく学ぼう！	2	42
観光施設課 (園芸センター)	タネ！	19	678
	クサ！	3	237
スポーツ振興課	セキレック教室	4	74
	ノルディック・ウォーキング教室	1	24
	スロージョギング教室	5	95
	各種レクリエーション スポーツ教室	13	808
	関門 JAPAN フィットネス ボクシング教室	3	100
<b>港湾局</b>			
振興課	よくわかる下関港	1	37
	クルーズ客船教室！	2	82
<b>上下水道局</b>			
企画総務課	出張！水道教室	5	98
<b>教育委員会</b>			
文化財保護課	知って楽しむ！日本遺産「関門ノスタルジック海峡」	1	17
	下関文化遺産	3	182
考古博物館	「古代の技術」体験教室	11	383
歴史博物館	下関の歴史	6	233
	高杉晋作と下関	4	130
美術館	郷土ゆかりの画家① 狩野芳崖	1	43
図書館	図書オリジナル帯作り	1	42
	本のお医者さんになろう	1	14
土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム	ホネホネウオッチング	8	294
生涯学習課	百聞は一体験に如かず 友達づくり1・2・3！	10	398
<b>その他団体</b>			
下関地方气象台	大雨防災ワークショップ	2	162
下関地域温暖化防止推進員グループ	省エネの話	2	159
山口県廃棄物協会	環境出前授業	2	92
	産廃出前講座	1	43
山口合同ガス	天然ガスおもしろ実験	7	486
中国財務局 山口財務事務所 下関出張所	中小企業金融の円滑化に向けて	1	35
	身近で起こる金融トラブル	1	27
マルチメディア振興センター	e-ネットキャラバン(e-ネット安心講座)	2	115
	e-ネットキャラバン Plus	1	19
山口県弁護士会 下関地区	相続のはなし	1	15
	親の老いじたく	2	32
	騙される、その前に	2	29
	職場の法律問題	1	26
日本証券業協会 中国地区協会	よくわかる iDeCo(個人型確定拠出年金)	2	28



しものせき水族館 海響館	海響館いきもの探検隊Ⅰ 飼育員の仕事	1	125
	海響館いきもの探検隊Ⅲ 水の中の生き物(紙芝居)	3	138
	海響館いきもの探検隊Ⅳ 生き物クイズ	10	485
鯨類研究室	こちら下関鯨類研究室Ⅰ 鯨ってどんな生物	3	108
	こちら下関鯨類研究室Ⅳ 現代鯨事情	1	12
	こちら下関鯨類研究室Ⅴ 関門鯨学	1	12
	こちら下関鯨類研究室Ⅵ 食としての鯨	1	4
国土交通省 九州地方整備局 下関港湾空港技術 調査事務所	「みなと」の役割ってなに？	2	109
独立行政法人 水産大学校	日本の漁業を考える	2	63
	北太平洋の海ゴミの漂流	1	29
	ポンポン船を使った船の運動	2	170
	ドローンから見える海と船	12	522
	宇宙空間から見える海と船	2	51
	食べられた物の旅	4	145
	いろいろなフグ	1	26
	ワーク・モチベーション	1	27
学校法人下関文化産業専門学校	高齢者と子どもの手芸	2	21
長州科楽維新プロジェクト	おもしろ科学教室	26	1,050
社会福祉協議会	ふれあい福祉講座	1	22
障害者スポーツセンター	障害者スポーツ出前・体験教室	2	63
下関市薬剤師会	薬剤師が話しする健康のためにできること	2	88
	薬剤師が話しする病気と医療	1	33
	薬の正しい使い方	1	7
山口県自閉症協会	発達障害ってなに？	2	46
下関市立市民病院	腰痛予防	6	227
	転倒予防教室	5	76
済生会 下関総合病院	知って得する生活習慣 病気の基礎知識	1	9
	あなたにもできる救急蘇生	2	55
	知っておきたいがん検診・がん予防	1	22
	子供の事故予防 危険から子どもを守るのは私たち	1	18
関門医療センター	健康応援講座Ⅰ 生活習慣病予防講座	2	207
	健康応援講座Ⅵ 出前で行う救急蘇生講習	1	26
計		329	14,482

## (2) 市民文化セミナー

・実施状況(平成 30 年度)

テ ー マ	講 師	期 間	受講者数	実施地区
第 1 分野 「明治維新 150 周年と下関」 全 3 回	萩市立萩博物館 主任学芸員 道迫 真吾 外	6 月～10 月	125 人	下関地区
アブニール学級「NEKO THE MOVE」 上演会&トークショー	猫ひろし	11 月 3 日	200 人	菊川地区
響感ピアノ、ふれあいコンサート	トロンボーン奏者 小野隆洋 外	11 月 6 日	190 人	菊川地区
悠友大学 「菊舎と俳句入門」外 5 回	菊舎顕彰会 岡 昌子 外	7 月～1 月	117 人	豊北地区

## (3) 関門海峡・温故知新塾

・実施状況(平成 30 年度)

テ ー マ	講 師	期 間	受講者数
「未来へつなぐ関門の宝もの」 全 4 回	下関市立歴史博物館 館長 町田 一仁 外	7 月～11 月	123 人

## (4) 市民学級

・実施状況(平成 30 年度)

(単位：人)

公民館名	学 習 課 題	講 師	期 間	参加者数
彦 島	ヘルシーな季節の料理、ヨガ教室、ウクレレ教室、クラブ トテープでお正月飾り	下関市食生活改善推進 協議会 会長 家根内 清美 外	6 月～12 月	60
長 府	ミニトランポリン、源氏物語講座、行政書士によるお話、陶芸教 室、なつかしの歌声をもう一度、パン教室、絵遊び文字あそび	山口県おさんぼりん協会 門脇 久美子 外	5 月～11 月	71
王 司	お魚まるごと料理教室 3、足操術、包丁研ぎ、押し花画教室、源 氏物語講座、しめ縄かざり作り	山口県魚食普及組合員 黒瀬 美知子 外	5 月～12 月	108
清 末	心と身体の健康体操(全 6 回)、太極拳体験教室、スマホ講座(① ②)、押し花教室、お魚料理 昆布巻きとだて巻きを作ろう!、 節分 のり巻き作り	王司山田園支援員 伊藤 保幸 外	5 月～2 月	241
小 月	食パン手づくり体験とわんぱくサンド、オカリナを楽しむ、マッ トピラティス&ひめトレ講座、ウクレレ教室、童謡みんなで大合 唱♪、萩焼、郷土の歴史を知る、相続の「今」と「これから」	パン菓子教室講師 藤本 紀子 外	5 月～10 月	181
王 喜	マナー講座、料理教室、防災教室、健康体操①、健康体操②、健 康寿命をのばす運動、新年を迎える干支飾りづくり	(株)日本セレモニー下関 典礼会館 支配人 定丸 昭彦 外	4 月～12 月	549
吉 田	健康体操①②③、七夕飾りづくり、もみじウォーク&ノルディッ クウォーキング、料理教室、恵方巻きを作ろう	吉田地区保健推進委員会 会長 伊駒 恵 外	5 月～2 月	211
内 日	思い出の昔なつかし歌の散歩道、平家太鼓に合わせて踊りましょ う、体操でリフレッシュ、おふくろの料理教室、おやじの料理教 室	カラオケ講師 西田 麗子 外	7 月～1 月	66
勝 山	整体体操・足操術でリラックス、ヤッホー! 楽々体操①②、ウク レレで童謡を歌いながら演奏しよう、押花体験教室	スピロ健美体操指導者 中村 清子 外	6 月～11 月	166
川 中	相続の「今」と「これから」、さわやか健康体操、楽しい陶芸教 室(子供も大人も大歓迎)、おもしろ科学教室(科学のふしぎを五感 で体験しよう)、相続セミナー(我が家は課税されるのか?)、ノル ディック・ウォーキング、親子パン教室、身近で起こる金銭トラ ブル	行政書士 西谷 佳記 外	5 月～1 月	275
安 岡	骨盤体操、健康体操(①②)、フラダンス教室、料理教室	体操インストラクター 西川 登志美 外	5 月～11 月	165
吉 見	刃物研ぎ教室、アカモク料理教室、陶芸教室、わが家の防災対策、 料理教室、正月フラワー講座、おひなさまづくり	刃物研ぎ教室講師 河野 勝宣 外	6 月～1 月	131

吉 母	エンディングノートと遺言、太極拳教室、歌はともだち、整理収納教室、歌謡教室、下関史跡探訪、紙人形教室、料理教室	行政書士 西谷 佳記 外	5月～11月	156
北 部	パソコン教室(全3回)、笑いヨガ教室、クラフトで作る♪クリスマスリース、カフェオレ実演とおいしいコーヒーの楽しみ方、～下関の歴史～(古地図にみる幡生の歴史)	パソコン教室講師 開作 吉次 外	6月～1月	107
西 部	笑いヨガ、健康体操、童謡を歌おう、もしもに備えるエンディングノートの活用	ヨガ講師 歌島 小百合 外	7月～1月	115
玄 洋	笑いヨガ教室、男の料理教室、ミニトランポリン、刃物研ぎ教室、肩凝り腰痛ラクラク体操	笑いヨガ教室講師 歌島 小百合 外	9月～10月	123
長 府 東	平成30年度相続セミナー、みんなで歌いましょう、おやじ料理教室、セカンドステージに向けた予防運動、初歩の陶芸教室、かわいいちざりパンを作ろう!、足操術、簡単おひなさま作り	税理士ファイナンシャル プランナー 西川 洋明 外	6月～2月	180
殿 居	リクエスト講座、歴史探訪講座、いきいきふれあい教室	田中 和夫 外	4月～3月	483
豊 田 中	編み物教室、パソコン教室、料理教室、骨盤体操教室、園芸教室、史跡発見ウォーキング、手芸教室、木工教室、いきいきふれあい教室、陶芸教室	熊井 えり子 外	4月～3月	459
三 豊	そば打ち体験教室、陶芸教室、寄せ植え教室、編物教室、着付教室、着物リフォーム教室、マジック教室、切り絵教室、ものづくり教室、健康教室、生け花教室	小川 ふさ子 外	4月～3月	378
西 市	暮らしに役立つ教室、シニア教室、お菓子・料理教室、歴史・郷土史(古文書)講座、野菜づくり教室、手作り教室	伊藤 修二 外	4月～3月	104
豊 田 下	ふるさと歴史発見教室、チャレンジ教室、高齢者学級、女性学級	新田 正二 外	4月～3月	303
小 串	歌って元気講座、親父の料理教室、字手紙で年賀状づくり、がまぐち形メガネ入れ作り、元気はつらつ体操、生花教室、コーヒーの楽しみ方	麻野 和男 外	6月～3月	419
川 棚	革細工教室、パン教室、男の料理教室、包丁研ぎ教室、春に向けての寄せ植え教室、薬膳料理教室、ヨガ教室	土橋 彰次 外	6月～3月	105
黒 井	手作りパン教室、絵手紙教室、そば打ち教室、古布絵教室、しめ縄作り教室、男性料理教室	川前 裕美 外	7月～12月	94
室 津	初心者ヨガ教室、ラジオ体操・セルフコンディショニング、手作りパン教室、アロマ&ハーブ教室、アロマキャンドル作り、フラワーアレンジメント体験教室、蕎麦打ち体験教室、防災教室、しめ縄作り教室、編み物教室、紙芝居で認知症を学ぶ・パステル画体験、料理教室	平山 珠代 外	5月～3月	251
神 玉	歴史講座「神玉地区にみる民族の歴史」	大濱 博之	2月	30
角 島	陶芸教室、水餃子作り教室、そば打ち教室	中村 隆宣 外	6月～12月	56
阿 川	終活セミナー「エンディング・ノート」	西谷 佳記	12月	30
栗 野	お手軽、簡単ロコモ予防料理教室、そば打ち教室	岡田 和美 外	7月～3月	35
滝 部	つまみ細工で素敵なアクセサリーづくり、名画を愉しむ	石原 博子 外	7月～1月	52

社会教育 関係施設	学 習 課 題	講 師	期 間	参加者数
菊 川 ふれあい 会 館	夏の寄せ植えと土づくり、和紙ちぎり絵、歴史講座、しめ縄づくり教室、パソコン教室、薬膳料理教室、世界に1つだけの革小物を作ろう、デコまき寿司をつくろうほか	中川 昌彦 外	5月～3月	243
豊 田 生涯学習 センター	健康講座、大人の色鉛筆画講座、歴史講座、ものづくり講座、エンディングノート講座	坂本 洋子 外	6月～3月	240
宇 賀 ふれあい センター	デコ巻き寿司教室、終活と相続の仕方がわかる基礎講座、おやじ料理教室、みそ作り教室、絵手紙教室、アロマ教室、そば打ち教室、ヨガ教室	下手 知子 外	6月～3月	134
豊 北 生涯学習 センター	心と体の健康づくり教室、ワイヤーアートで小物作り教室、冠婚葬祭、表書きに役立つ筆ペン講座、ゆかた着付け教室、クラフトバック講座、ハーバリウム講座、門松風お正月アレンジ講座、そば打ち教室、ガラスアート教室	山村 勇介 外	5月～3月	153

### (5) 社会教育関係団体（令和元年度）

（単位：人、円）

団体名	代表者	団体の目的	会員数	補助金支出予定額
下関ユネスコ協会	山本 徹	ユネスコ精神の普及徹底と国際理解・交流・支援を深めるための活動を行う。（生涯学習課に事務局）	50 (H31.4.1現在)	—
下関市幼稚園PTA連合会	板井 佑介	健全なPTA活動を推進するため単位団体相互の連絡・資料交換・研修等を行う。	(8団体) 347	—
下関市小学校PTA連合会	松永 英治	同上	(47団体) 13,305	—
下関市中学校PTA連合会	川口 哲郎	同上	(23団体) 6,621	—
下関市PTA連合会	佐々木 猛	幼・小・中PTA連合会活動の統合・調整・情報交換・合同研修会を行う。	(78団体) 20,273	718,000
下関市連合婦人会	和崎 法子	婦人の資質向上と、社会参加をめざし、自主的活動を行う。	625	760,000
下関市子ども会連合会	関谷 博	各小学校区子ども会連合会相互の連絡調整を行う。子ども会の団体活動を通じて、青少年の健全育成に寄与する。	2,460	854,000
下関スカウト育成協議会	前田 晋太郎	スカウト加盟団体相互の連絡調整を図り、スカウト活動の健全なる育成発展に寄与する。	(3団体) 108	310,000
下関海洋少年団	西島 朋宏	海や船に関する知識や技術を学ぶ機会を提供し、心身ともに健康でたくましい青少年の育成をめざす。	24	—
菊川町青年団	長元 宏樹	交流会等事業実施や菊川地区イベント参加による青年団活動の推進及び積極的な社会参加の促進を図る。	5	—

### (6) PTA地域活動（令和元年度）

PTA連合組織と会員数

（単位：団体、人）

団体名	会長	事務局所在地	単位 団体数	会員	内 訳	
					児童数	教職員
平成30年度			82	20,478	18,815	1,663
令和元年度			78	20,273	18,656	1,617
下関市幼稚園PTA連合会	板井 佑介	唐戸町4番1号 カラトピア内5階	8	347	302	45
下関市小学校PTA連合会	松永 英治		47	13,305	12,281	1,024
下関市中学校PTA連合会	川口 哲郎		23	6,621	6,073	548

## 9 家庭教育

## (1) 平成30年度地域ふれあい活動（学校外活動）

(単位：人、回)

公民館名	参加者数	開設回数	主 な 学 習 内 容
彦島公民館	71	4	ホネホネウォッチング、お菓子教室、工作教室(木琴作り)、ケーキづくり教室
長府公民館	99	5	パン教室、小学生料理教室、スライド本立て作り、ホネホネウォッチング、おもしろ科学教室
王司公民館	165	8	グランドゴルフ、父の日のお花、料理教室、工作教室、ホネホネウォッチング、絵遊び文字遊び、クリスマスリースを作ろう、恵方巻きとキャラ巻き
清末公民館	298	7	リトミック音楽体験教室、おもしろ科学教室、卓球体験教室、お話し会と水鉄砲作りとソーメン流し、こども絵画教室、ミニトランポリン教室、お話し会と凧作りとお餅つき
小月公民館	422	17	習字と硬筆、カップケーキづくり、親子パン教室、夏休みの工作、茶道教室、科学実験、体育教室(運動遊び)、料理教室
王喜公民館	437	10	キッズダンス、陶芸教室、サイエンス教室、にちぎん出前講座、うどん作り、カレンダー・デザート作り、敬老の日のお花教室、親子体操教室、たこづくり、どんど焼きとたこあげ大会、
吉田公民館	340	7	灯籠づくり、子ども料理教室、キッズ・ミニトランポリン、遊びながらの体操教室、昔あそび、クリスマス会、どんど焼き
内日公民館	79	3	手づくり陶芸教室、かんたんクッキー作り、ミニコンサート(ハンドベルとトーンチャイム)
勝山公民館	328	5	子ども囲碁入門教室、子ども料理教室、子ども陶芸教室、楽しい読書とクリスマス会、しめなわづくり教室
川中公民館	658	43	囲碁教室、花遊び教室、料理教室、グラウンドゴルフ教室、生け花教室
安岡公民館	143	4	こども陶芸教室、楽しいお話の会及び手作り遊び(①②)、デコレーションケーキ作り
吉見公民館	75	5	母の日のフラワーアレンジメント、ふるさと川の生きもの観察教室、絵本の読み聞かせ、勾玉づくり教室、万華鏡をつくってみよう!、こねこね・生地からピザをつくってみよう
吉母公民館	50	3	読み聞かせと料理教室、陶芸教室、ひな祭りクラフト教室
北部公民館	87	6	絵画教室(全3回)、おもしろ科学教室、工作教室(スライド本たてを作ろう)、親子でチョコレート作り♥
西部公民館	28	2	科学体験工作教室、夏休み習字教室
玄洋公民館	102	4	親子陶芸教室、親子書道教室、木琴作り、親子でちぎりパン作り〜くまさん〜
長府東公民館	235	6	似顔絵パン教室、勾玉づくり、陶芸教室、おもしろ科学、たねのふしぎ、クリスマス会
殿居公民館	441	30	ちびっ子教室(大正琴、物づくり塾、開作川遊び等)、ふるさと伝承教室(浦安の舞、しめ縄作り)
豊田中公民館	363	22	子ども教室(料理、工作、海響館出前講座等)
三豊公民館	13	1	夏休み地域ふれあい教室
西市公民館	337	14	地域ふれあい教室夏休み子ども講座(木工、お花、茶道、書道)
豊田下公民館	660	32	小学生の文化教室(モビール作り、ぜんざい作り等)、地域ふれあい講座(寺子屋、養蜂体験、百人一首等)、豊田下文化教室(茶道)
小串公民館	142	6	楽しくリトミック、親子盆踊り教室、しめ飾りづくり教室、話題のデコ巻きにチャレンジ、蒸しパン作り
川棚公民館	121	6	ウォーキング教室、親子ヨガ教室、夏休み手づくり木工教室、陶芸教室、しめ縄作り教室、お菓子作り教室
黒井公民館	170	8	母の日のフラワーアレンジメント教室、カラーセラピー教室、親子料理教室、育児相談教室、普段着着付け教室、竹馬作り教室、育児相談教室、クリスマスリース作り教室、親子体操教室
室津公民館	231	9	室津音頭太鼓教室、地元の魚を知り海に親しむ釣り教室、英語であそぼう!ハロウィンパーティー、百人一首かるた教室、節分のデコ巻き・恵方巻料理教室、お茶席体験
神玉公民館	33	2	夏休みこども講座(つくってみよう!サマー・スノードーム、公民館で遊ぼう!!)
角島公民館	13	1	星の観察会
合計	6,141	270	

(単位：人、回)

社会教育関係施設名	参加者数	回数	主な学習内容
菊川ふれあい会館	311	15	わんぱくいけばな教室、わんぱく料理教室ほか
豊田生涯学習センター	53	5	わくわく実験講座、歴史講座
宇賀ふれあいセンター	50	2	陶芸教室、日銀出前教室
豊北生涯学習センター	42	1	工房の森(小学生体験工房)

## (2) 家庭教育学級【幼稚園・こども園】(平成30年度)

・実施状況

(単位：人、回)

実施園・校	参加者数	開設回数	主な学習内容
第一幼稚園	71	3	心の栄養の大切さについて、英語って楽しい♪
第五幼稚園	61	3	親子リズム体操・親子ヨガ、英語って楽しい♪、お茶席体験
豊浦幼稚園	169	3	深坂の森の幼稚園、こころん体操、和食(だし)を味わおう
小月幼稚園	170	2	親子リズム体操・親子ヨガ、英語って楽しい♪
江浦幼稚園	78	2	生活リズムを整えよう、いのちの教室
清末幼稚園	160	3	深坂の森の幼稚園 体を使った体育遊び 3B体操
川中西幼稚園	108	2	体を使った体育遊び、英語って楽しい♪
川中幼稚園	215	2	遊びを通しての学び、3B体操
室津幼稚園	4	1	親子リズム体操・親子ヨガ
王喜こども園	68	1	遊びを通しての学び
豊田下こども園	80	1	体を使った体育遊び
黒井こども園	173	3	親子お茶席会
川棚こども園	78	1	英語って楽しい♪
豊北こども園	35	1	子どもへの上手なかかわり方
中央こども園	158	3	体を使った体育遊び
垢田こども園	144	2	絵本の読み聞かせ、子どもへの上手なかかわり方
合計	1,772	33	

**(3) 家庭教育学級【小学校】（平成 30 年度 ※旧名称：「大人の学び塾」）**

「家庭教育学級【小学校】」は、平成 28 年度より実施している「保護者、地域の大人」を対象とし、「気づき、考え、学ぶ」ことを体験してもらうことで、家庭教育力の向上を目的とする。家庭をめぐる問題が困難化する中で、より効果的な家庭教育支援を実施するために、学校等を会場とし、就学時検診・参観日・学校保健委員会・PTA 研修会など多くの保護者が集まる機会を活用し、家庭でのさまざまな課題の解決につながる講演会を実施した。

・実施状況

(単位：人)

実施場所	内 容	講 師	日 時	参加者数
市内小学校 16 校	「どの命にも価値があり、生まれてきて、いき続けることは奇跡の連続である」ということを、大人とこどものそれぞれの視点で実体験をもとに、講演会を行った。	家庭教育支援チーム	10月5日 10月11日 10月15日 10月18日 10月25日 11月29日	319
	「子どもたちに伝えたい！親として、大人として、地域として」熊丸氏を招き、笑いあり涙ありの子育て講演会を行った。	子育てアドバイザー 幼児教育・家庭教育専門家 熊丸 みつ子	10月5日 10月9日 10月18日 1月16日 1月22日	461
	自らの体験をもとに、学習障がいなどの発達障がいへの正しい理解について講演を行い偏見や差別などさまざまな人権問題を考える機会となった。	映画コメンテーター 和田山企画 代表 大橋 広宣	10月4日 10月30日 1月11日	325
	絵本「いのちをいただく」の主人公である食肉解体業の坂本氏を招き、体験談を聞くことを通して、いのちの尊厳、食の意味や大切さを感じる講演会を行った。	元熊本市食肉センター勤務 坂本 義喜	10月4日	380

**(4) 女性団体の育成**

○下関市連合婦人会

会 長 和崎 法子

会 員 数 625 人（令和元年 5 月現在）

重 点 目 標

- ・安心安全のまちづくり活動を推進し地域の絆を深めよう
- ・青少年健全育成を進め明るい社会につなげよう
- ・日常生活を見直し防災・環境意識を高めよう
- ・生涯学習をすすめ健康ではつらつと生きよう
- ・ルールとマナーを守り交通事故のない社会をつくろう

## 10 下関みらい塾事業

「下関みらい塾事業」は、平成16年度から始まった事業で、下関の子供達に夢や希望を与え、未来に羽ばたく人物を育成することを目的として、各分野の第一線で活躍している人材に、自身の人生や専門の世界についての講演で、子供達に熱いメッセージを送ってもらう機会をつくる。

平成23年度からは、間近で講演が聴くことができ、より多くの子供達に深く感動してもらえるよう、講師が各学校に出向く「出前型」での講演会を実施している。

・下関みらい塾実施状況（平成30年度）

（単位：人）

実施場所	内 容	講 師	日 時	参加者数
市内中学校 12 校	「命・生きること・産まれること」というテーマで、助産師・思春期保健相談士として各地で講演活動をされている内田氏を講師として招き、直接学校に出向いてもらい講演会を行った。	助産師・思春期 保健相談士 内田 美智子	6月8日 6月15日 6月26日 12月4日	1,329
	「夢を持って前を向いて生きていくこと」「自分や周りの人々を大切に生きていくこと」をテーマに、一線で活躍している中村氏を講師として招き、直接学校に出向いてもらい講演会を行った。	有限会社 クロフネカンパニー 代表取締役社長 中村 文昭	11月8日 11月9日	1,415
	奇跡的に命をとりとめ、多くの人達に支えられて生きていることに気づいた腰塚氏が、命の大切さ、生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せや、人は皆誰かを照らす存在であるというメッセージを送ってもらう講演会を行った。	株式会社命の授業 代表取締役 腰塚 勇人	4月12日 4月13日	814



## 11 豊田ホタルの里ミュージアム

### (1) 施設概要

沿革：昭和32年に豊田町を貫流する木屋川がゲンジボタルの発生地として天然記念物の指定を受けたが、河川改修工事等による影響でゲンジボタルが減少した。そこで、町内の有志や小学校等によりさかんに保護活動が行われた。豊田ホタルの里ミュージアムは、これらホタルの保護活動の拠点として、また、ホタルとそれを取り巻く豊田町の自然の情報を全国に発信する場所として平成16年6月5日開館した。

位置：下関市豊田町大字中村50-3

敷地面積：10,480 m<sup>2</sup>

構造：鉄骨造平屋建

建設面積：1,455 m<sup>2</sup>

延床面積：1,377 m<sup>2</sup>

常設展示室 349 m<sup>2</sup> シアター室 43 m<sup>2</sup>

ネイチャーラボ 24 m<sup>2</sup> 多目的ホール 138 m<sup>2</sup>

エントランスホール 169 m<sup>2</sup> その他 654 m<sup>2</sup>

開館時間：午前9時～午後5時

(但し最終入館は午後4時30分)

※6月の開館時間は変更になることがある。

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/28～1/4)

観覧料：一般 200円(160円)

大学生等 100円(80円)

( )内は20人以上の団体料金

※18歳以下、70歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※下関市内と北九市内に在住の65歳以上の方および障害者の方は無料(証明書必要)。



平成30年度月別利用状況表

(単位：日、人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	26	28	26	27	26	26	26	23	23	24	27	308
総入館者数	855	2,074	5,538	1,898	5,054	1,937	707	762	745	768	1,583	982	22,903

## 12 青少年教育

### (1) 青少年健全育成事業

#### ① 青少年問題協議会

ア 委員数 15 名（会長は委員の互選による、委員は関係行政機関の職員及び学識経験者のうち市長が委嘱又は任命）

イ 専門委員 必要に応じ任命する。

#### ② 青少年健全育成市民会議

○ 下関市青少年健全育成市民会議 昭和 60 年 11 月 15 日発足

ア 委員等：86 名

（会長は市長、副会長 7 名、顧問 3 名、参与 5 名、企画・運営委員 18 名、委員 52 名）

- ・ 総 会 開催日 平成 30 年 7 月 17 日（火）  
会 場 下関市教育センター大研修室  
参加者 95 名
- ・ 青少年健全育成推進大会 開催日 平成 30 年 11 月 5 日（月）  
会 場 下関市教育センター大研修室  
参加者 196 名
- ・ 標語募集 最優秀 1 点 優秀 1 点 佳作 3 点
- ・ 功労者表彰 個人 5 名

イ 各地区（校区）育成協議会の活動助成 2 団体 講演会の講師謝礼の一部を助成する。

○ 菊川町青少年育成町民会議（菊川教育支所管内） 平成 2 年 1 月 20 日発足

ア 運営委員：13 名（会長、副会長 2 名、常任委員 8 名、監事 2 名）代議員 42 名

イ 主な事業

- ・ 常任委員会及び代議員会議 開催日 平成 30 年 7 月 18 日（水）  
会 場 菊川ふれあい会館（アブニール）  
参加者 28 名

(1) ブックトーク&選書会共催

(2) 国体出場等祝い懸垂幕作成 他

○ 豊田町青少年健全育成町民連絡協議会（豊田教育支所管内）

5 月 県青少年育成県民会議総会参加 1 名

7 月 市青少年健全育成市民会議総会参加 1 名

11 月 市青少年健全育成推進大会参加 2 名

○ 豊浦町青少年育成町民会議（豊浦教育支所管内）昭和 57 年 9 月 6 日発足

ア 役員 29 名（会長、副会長 4 名、顧問 1 名、理事 18 名、監事 2 名、事務局 3 名）

イ 地域活動の拡充と推進体制の整備

- ・ 総 会 開催日 平成 30 年 6 月 2 日（土）  
会 場 下関市立川棚公民館  
参加者 66 名
- ・ 青少年育成関係団体連携セミナー 開催日 平成 30 年 11 月 10 日（土）  
会 場 下関市立川棚公民館  
参加者 120 名

ウ 青少年の社会活動参加への啓発促進

- (1) 「私の主張」発表大会 開催日 平成31年2月9日(土)  
 会場 下関市立川棚公民館  
 発表者 22名 聴衆 160人

- (2) 青少年の自主性や社会性を育むスポーツ・団体活動への参加奨励及び支援  
 放課後子供教室及び各地区民会議への支援

- 豊北町青少年健全育成連絡協議会（豊北教育支所管内） 昭和57年発足  
 協議会委員 27名（会長、副会長1名、監事2名、委員21名、事務局2名）

ア 主な活動

- (1) 「少年非行防止と社会を明るくする運動」及び「青少年健全育成」啓発活動  
 (2) 薬物乱用防止ヤングキャンペーン  
 (3) 社会を明るくする運動豊北町推進大会  
 (4) 子供110番の家のぼり設置更新

**③成人の日記念行事**

対象者：平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの人

○本庁管内

- ア 開催日 平成31年1月13日(日)午前11時～午後0時30分  
 イ 会場 下関市民会館  
 ウ 参加者 1,149名  
 エ 行事内容 (1) 式典 市長式辞、議長祝辞、はたちのメッセージ  
 (2) 実行委員会主催「はたちの交流会」

○菊川・豊田総合支所管内

- ア 開催日 平成31年1月13日(日) 午後2時～午後4時30分  
 イ 会場 菊川ふれあい会館  
 ウ 参加者 103名  
 エ 行事内容 (1) 式典 市長式辞、来賓祝辞、はたちの誓い  
 (2) 記念写真撮影  
 (3) 実行委員会主催アトラクション

○豊浦・豊北総合支所管内

- ア 開催日 平成31年1月13日(日) 午後1時～午後3時  
 イ 会場 豊浦夢が丘スポーツセンター  
 ウ 参加者 182名  
 エ 行事内容 (1) 式典 市長式辞、議長祝辞、はたちの提言  
 (2) 記念写真撮影  
 (3) アトラクション

**④学校・家庭・地域の連携協力推進事業**

ア ふるさと下関協育ネット事業の実施

- (1) 本庁管内 17小学校 10中学校  
 (2) 菊川教育支所管内 3小学校 1中学校  
 (3) 豊田教育支所管内 3小学校 1中学校

- (4) 豊浦教育支所管内 2 小学校 1 中学校
- (5) 豊北教育支所管内 1 小学校
- イ 放課後子供教室の実施（土曜日の教育支援体制等構築事業で実施の 2 教室を含む）
  - (1) 本庁管内 11 教室（土曜日の教育支援体制等構築事業で実施の 2 教室を含む）
  - (2) 菊川教育支所管内 3 教室
  - (3) 豊田教育支所管内 3 教室
  - (4) 豊浦教育支所管内 5 教室
  - (5) 豊北教育支所管内 1 教室
- ウ 平成 30 年度子供指導者研修会
  - 開催日 平成 31 年 1 月 30 日(水)
  - 会 場 下関市教育センター
  - 参加者 29 名
  - 内 容 「困難を抱える子ども・保護者への支援～ペアレント・トレーニングを参考に～」

## (2) 青少年非行防止対策業務

### ①青少年補導センター

- ア 所 在 地：下関市幡生新町 1 番 1 号 下関市教育委員会教育部生涯学習課内
- イ 設 置 年 月 日：昭和 39 年 4 月 1 日
- ウ 活動地域の青少年人口：13,667 人（14 才～20 才未満） 平成 31 年 3 月 31 日現在
- エ 活動地域の関係機関：家庭裁判所 1、警察署 3、児童相談所 1、小学校 47、中学校 23、  
高等学校 16、中等教育学校 1、特別支援学校 4、短期大学・大学等 5
- オ 職員配置：所長 1 名、青少年健全化推進員 2 名、青少年相談員 1 名

### ②青少年補導センター運営協議会

- ア 委 員：13 名（教育委員会委嘱、任期 2 年、会長は教育長）
- イ 委員の構成：警察署生活安全課長(3 署)、児童相談所長、中学校長代表、  
高等学校代表、PTA 連合会代表、保護司会代表、民生児童委員代表、婦人会代表、  
防犯対策協議会代表、青少年補導委員代表 市教育委員会教育長 計 13 名
- ウ 任 期：平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
- エ 会 議：年 1～2 回開催

### ③青少年補導委員

- ア 青少年補導委員状況(令和元年 6 月 1 日現在) (単位：人)

区 分	委 員 数	内 容
一 般	142	16 育成協単位(17 校区)
小 学 校	31	各校教員 1 名
中 学 校	17	〃
高 等 学 校	13	〃
職 域	4	デパート、スーパーマーケット等各 1 名
合 計	207	

- イ 任 期：2 年(現在の任期 令和元年 6 月 1 日～令和 3 年 5 月 31 日)
- ウ 青少年補導委員幹事：各所属区分毎に 1 名 計 20 名  
毎月 1 回幹事会を開催して情報の交換を行うほか、校区活動等に関し自主計画の策定、委員会間の連絡にあたる。

### (3) 青少年教育施設

#### ①下関市立青年の家

研修活動や団体宿泊を通じて、多様な活動や体験学習を行い、規律・友愛・協同の精神を養い健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設。

位 置：下関市棕野町一丁目 17-1（一里山公園内）

TEL 083-223-0521

開 所：昭和 48 年 3 月 21 日

宿 泊 定 員：112 人

施設・設備：本 館 鉄筋コンクリート 3 階建、延 1,913.35 m<sup>2</sup>

1 階 事務室、ロビー、食堂談話室(120 名)、保健室、浴室、当直室、従業員室

2 階 第 1 研修室(112 名)、第 2 研修室(40 名)、第 3 研修室(24 名)、音楽研修室(60 名)、  
講師控室、展示ホール

3 階 宿泊室(112 名)、講師室(6 畳)、和室(20 畳)

体育館 鉄骨平屋建 772.79 m<sup>2</sup>

バレーコート 2 面、バスケットコート 1 面、バドミントンコート 2 面、  
卓球台 3 台

運動場 5,000 m<sup>2</sup> 200mトラック、ソフトボール、サッカー等

ア 生活目標 規律正しい生活をしよう。明るい交歓をしよう。積極的に実践しよう。

イ 研修内容 研修内容については、青年の家と協議して、各団体が自主的に計画立案する。

(1) 学 習 活 動…研修討議、視聴覚教材を利用した討議、茶道、華道

(2) 体 育・レクリエーション…歌唱、ゲーム、フォークダンス、球技（バレー、バスケット、卓球、  
サッカー、ソフト、ドッジボール）等

ウ 要請により青年の家が協力する事項

(1) 講話（講師のあっせん）

(2) 研修プログラム立案の相談

(3) 団体活動の相談

(4) 生活、体育、レクリエーション等指導

(5) 研究討議の指導助言

エ 年度別利用状況

(単位：団体、人)

区分		年度				
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
宿 泊	団体数	121	132	104	120	98
	利用者数	4,648	4,400	3,167	4,319	4,400
日 帰 り	団体数	245	270	302	399	367
	利用者数	5,244	5,689	5,521	6,605	5,552
合計(団体数)		366	402	406	519	465
合計(利用者数)		9,892	10,089	8,688	10,924	9,952

---

## ②下関市菊川青年交流館

青年が交流を通じて、自主的活動の振興促進を図ることを目的とする社会教育施設。

位 置：下関市菊川町大字下岡枝9番地2

建設年月：平成12年3月

建築面積：187.7 m<sup>2</sup>

延床面積：173.9 m<sup>2</sup>

会議室 63.76 m<sup>2</sup> 調理室 19.87 m<sup>2</sup> 倉庫ほか 90.27 m<sup>2</sup>

構 造：木造平屋建

開館時間：午前9時から午後10時まで

休 館 日：12月29日から翌年1月3日まで

## Ⅲ 学術文化関係資料

### 1 美術館

#### (1) 沿革

昭和 56 年 4 月美術館等開館準備室を教育委員会に設置  
 昭和 57 年 4 月美術館建設工事に着手  
 昭和 58 年 2 月美術館建設工事が完成  
 昭和 58 年 4 月美術館の設置等に関する条例を制定  
 昭和 58 年 11 月開館  
 昭和 63 年 10 月駐車場を増設  
 平成 5 年 10 月駐車場及び修景を整備  
 平成 22 年 3 月リニューアル工事、屋外エレベーター設置



#### (2) 位置

下関市長府黒門東町 1 - 1 (〒752-0986)  
 TEL (245) 4131 FAX (245) 6768

#### (3) 建築概要等

敷地面積 15,787.04 m<sup>2</sup>  
 建築面積 2,261.31 m<sup>2</sup>  
 延床面積 4,837.07 m<sup>2</sup> (展示部門 906.01 m<sup>2</sup>、收藏部門 1,060.13 m<sup>2</sup>、学術研究部門 445.15 m<sup>2</sup>、共用部門他 2,334.2 m<sup>2</sup>、屋外施設 91.58 m<sup>2</sup>)  
 構造 鉄筋コンクリート造 2 階建、塔屋 1 階、地下 1 階 (一部光庭ドーム、鉄骨造)

#### (4) 開館時間等

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)  
 休館日 祝日以外の月曜日、年末年始 (12 月 30 日～1 月 2 日)、その他展示替え等のための臨時休館

観覧料 (所蔵品展)

一般 200 円 (160 円)

大学生等 100 円 (80 円)

( )内は 20 人以上の団体料金。

※18 歳以下、70 歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※下関市内と北九州市内に在住の 65 歳以上の方は無料 (証明書必要)。

企画展観覧料は別に定める。

会場使用料

(単位：円)

区 分	第 4 展示室	講 堂
午前 9 時 30 分～正午	2,420	1,810
午後 1 時～午後 5 時	4,980	3,650
午前 9 時 30 分～午後 5 時	7,420	5,590

## (5) 収蔵品

収蔵品種別集計表  
(令和元年5月1日現在)

種別	点数
日本画	397
洋画	381
水彩・素描	176
版画	772
彫塑	156
工芸	308
写真	19
書	3
資料	148
合計	2,360

(寄託品を含む)



清水恒治《下関街景 長崎四町周辺》より  
昭和39-40年(1964-65年)  
写真、ゼラチン・シルバープリント  
平成30年度寄贈

## (6) 企画展開催と観覧者の状況

(単位：日、人)

名称	会期	観覧者数			
		開館 日数	有料	無料	計
さいとう・たかを ゴルゴ 13	31年2月2日～3月24日	45	5,986	4,350	10,336

## 2 歴史博物館

### (1) 沿革

平成28年11月18日、旧下関市長府博物館(旧館)の活動を継承発展するために開館した博物館。博物館活動の基本となる展示については、「海峡に育まれた下関の歴史と文化-海峡の歴史に未来が見える」をメインテーマとし、下関の古代から近代までの歴史について紹介している。また、市域の歴史についての調査研究、本市ゆかりの資料の収集などを積極的に行うとともに、本市の文化財観光の拠点として交流人口の拡大に取り組んでいる。



### (2) 位置

下関市長府川端二丁目2番27号(〒752-0979) TEL (241) 1080 FAX (245) 3310



### (3) 構造等

敷地面積 10,155 m<sup>2</sup> (新館部 5,484 m<sup>2</sup>, 旧館部 4,671 m<sup>2</sup>)

構 造 新館 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺

旧館 (旧長府博物館) 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺ほか

※旧館本館は昭和8年建築、戦前の博物館建築の典型として国登録有形文化財。

延床面積 2,105 m<sup>2</sup> (新館部 1,500 m<sup>2</sup>, 旧館部 605 m<sup>2</sup>)

### (4) 開館時間等

開館時間 午前9時30分～午後5時 (ただし、入館は午後4時30分)

休 館 日 月曜日 (休日の場合は翌日以降最初の休日でない日)、年末年始 (12月28日～1月4日)

観 覧 料 常設展示 一般200円 (160円)、大学生等100円 (80円)

企画展示 一般100円 (80円)、大学生等50円 (40円)

※ ( ) 内は20名以上の団体料金

※18歳以下、70歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※障がい者の方は観覧料免除、下関市内と北九州市内に在住の65歳以上の方は常設展示観覧料免除 (ただし、いずれも証明書必要)。

※特別展示観覧料は別に定める。

駐 車 場 有料26台 身障者用2台 (開場時間は、午前9時から午後5時30分まで)

駐車料金 最初の2時間は1時間ごとに100円、2時間を超えた後は30分ごとに100円。

※減免あり。

### (5) 展示と観覧者の状況

〔開館日数〕 307日

〔観覧者数〕 43,435人 (有料22,828人、無料20,607人)

〔展示別観覧者数〕

名 称	会 期	開催日数	観覧者数(人)		
			有料	無料	計
常設展示	H30.4.1～H31.3.31	307日	13,023	11,187	24,210
企画展示		189日	6,326	5,599	11,925
幕末のメディアと下関	H30.4.1～5.20	44日	1,953	1,393	3,346
下関のラストサムライ	H30.5.26～7.1	32日	1,343	1,238	2,581
長府藩の能と茶の湯	H30.9.8～10.14	32日	1,198	1,002	2,200
海峡往来	H30.12.15～H31.2.17	49日	1,077	1,065	2,142
長門国府から長府へ	H31.2.23～3.31	32日	755	901	1,656
特別展示		94日	3,479	3,821	7,300
海峡の幕末維新	H30.7.7～9.2	50日	1,894	1,768	3,662
大内氏の興亡と毛利氏の隆盛	H30.10.20～12.9	44日	1,585	2,053	3,638

## (6) 普及活動

### ①ミニ講座（15回 717人）

- (1) 瓦版を読む―報じられた幕末の事件―（33人）
- (2) 幕末の情報網―暴かれた長州藩の内情―（35人）
- (3) 近代を生きた藩主―毛利元敏・毛利元純（55人）
- (4) 近代を生きた藩士―サムライたちのゆくえ（60人）
- (5) 海峡の対外危機意識（33人）
- (6) 子供向け講座「それぞれが見た景色」（24人）
- (7) 戊辰戦争と報国隊（27人）
- (8) 長府藩と能（45人）
- (9) 秀元と茶の湯（47人）
- (10) 大内氏と下関（34人）
- (11) 毛利氏と下関（60人）
- (12) 諸国廻船と下関について（52人）
- (13) 参勤交代と下関について（65人）
- (14) 政治都市としての長府（86人）
- (15) 古代～中世の長府と寺社（61人）

### ②歴史講座・展示解説

「維新 150 年を振り返る」（60人）

### ③特別展示及び企画展示関連イベント

れきはくクイズラリー（3,946人）

秋の野点（164人）

### ④出前講座（11回 420人）

### ⑤年報の製作

### ⑥講師派遣

山口県文化振興課、周南市、北九州市立大学、下関市婦人防火クラブ、表千家山口県青年部  
豊田中公民館、長府庭園、長府観光協会、ロータリークラブなど

## (7) 分館 日清講和記念館

平成 28 年 4 月 1 日、文化財保護課から所管替えするとともに、歴史博物館の分館として「公の施設」として位置づけた。また、同日付けで博物館法に基づく博物館登録を行った。

沿革 明治 28 年春、下関市の春帆楼を会議場として開催された日清講和会議、および下関条約と称される講和条約の歴史的意義を後世に伝えるため、昭和 12 年 6 月に開館。館内は会議に使用された調度品や筆記用具などにより、当時の会議場を再現、また、両国の全権を務めた伊藤博文や李鴻章の遺墨なども展示している。

なお、建物は国登録有形文化財。

所在地 下関市阿弥陀寺町 4 番 3 号

構造等 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺（一部地下）

敷地面積 458 m<sup>2</sup> 延床面積 191 m<sup>2</sup>

入館者 75,869 人

観覧料 無料

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（年中無休）



### 3 東行記念館

#### (1) 沿革

平成 22 年 6 月 1 日に開設した下関市立東行記念館は、高杉晋作・奇兵隊を中心に、その活動した時代と周辺の歴史を基本テーマとし、資料の収集・調査研究および展示活動を行っている。また、博物館活動を通じ、郷土の歴史に対する市民の知識及び理解を深め、市民の教育と文化の向上に資することを目的とする。なお、この記念館は、高杉晋作 100 年祭記念事業として、全国有志の寄付により、昭和 41 年 4 月 14 日に開館した宗教法人東行庵設置の東行記念館を前身とする。

#### (2) 位置

下関市大字吉田 1184 番地（〒750-1101）

TEL (284) 0212 FAX (284) 0219

#### (3) 構造等

構造 鉄筋コンクリート造 2 階建  
 延床面積 2 階：展示室 110.5 m<sup>2</sup>、収蔵庫 27.6 m<sup>2</sup>  
 学芸員室 27.6 m<sup>2</sup>、  
 ホール 55.3 m<sup>2</sup>（1 階：310.2 m<sup>2</sup>）



#### (4) 開館時間等

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（ただし、入館は午後 4 時 30 分）

休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）、展示替え等のための臨時休館

観覧料 一般 300 円（240 円）

大学生等 200 円（160 円） ※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※18 歳以下、70 歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※下関市内と北九州市内に在住の 65 歳以上の方および障がい者の方は無料（証明書必要）。

特別展示観覧料は別に定める。

#### (5) 観覧者の状況

名称	会期	開催日数	観覧者数（人）		
			有料	無料	計
常設展示	H30. 4. 1～H31. 3. 31	306 日	4,300	3,904	8,204

#### (6) 展示会開催（平成 30 年度）

常設企画展として「高杉晋作の素顔～流水奔波の 29 年」、「高杉晋作×下関」、「奇兵隊の軌跡」、「幕末に生きた女性たち」を開催した。

#### (7) 教育・普及活動

出前講座（55 人）、展示解説&境内見学 5 回（84 人）、講演会及び現地見学会（8 人）、講演会及び展示解説（14 人）、こども向け展示解説（116 人）、晋作クイズ（655 人）を実施した。

## 4 考古博物館

### (1) 沿革

平成 2 年 10 月	遺跡公園等建設推進調査委員会設置
平成 5 年 3 月	下関市考古資料館（仮称）建設開始
平成 6 年 6 月	名称を下関市立考古博物館と決定
平成 6 年 6 月	考古博物館本館工事が完成
平成 6 年 12 月	考古博物館の設置等に関する条例を制定
平成 7 年 3 月	考古博物館完成
平成 7 年 5 月	開館



### (2) 位置

下関市大字綾羅木字岡 4 5 4 番地

### (3) 構造等

敷地面積	12,942 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造 2 階（地上 1 階、地下 1 階）
建築面積	1,875 m <sup>2</sup>
延床面積	2,664 m <sup>2</sup> （展示部門 794 m <sup>2</sup> 、収蔵部門 390 m <sup>2</sup> 、教育普及部門 237 m <sup>2</sup> 、調査研究部門 360 m <sup>2</sup> 、その他 883 m <sup>2</sup> ）
屋外施設	竪穴式住居（2 棟）、岩谷古墳、屋外便所
駐車場	87 台（うちバス 5 台）
付属施設	休憩所「弥生の里」（平成 28 年 4 月より、子育て支援施設として使用）

### (4) 利用案内

開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休館日	月曜日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
観覧料	無料

### (5) 常設展示

綾羅木郷遺跡を中心に、市内の弥生・古墳時代遺跡から出土した代表的な考古資料を展示し、当時の人々の暮らしと文化を紹介する。また、展示品や当時の社会についての理解や興味を深めるため、模型や視聴覚機器等を設置している。

### (6) 収蔵品の主なもの

- 綾羅木郷遺跡の出土品及び市内出土の考古資料の一部
- 弥生時代・・・連弧文銘帯鏡、埴形土製品、多鈕細文鏡、細形銅剣、弥生土器・壺（織物付着）
- 古墳時代・・・六鈴鏡、勾玉、鈴付釧、小環付釧、三輪玉形金具

### (7) 入館者の状況

年度	開館日数	入館者数
平成 28 年度	312	23,960
平成 29 年度	311	25,227
平成 30 年度	314	24,685

(8) 展示会開催と観覧者の状況

名 称	会 期	開館日数	観覧者数
企画展Ⅰ 「発掘された山口 巡回展」	平成30年04月14日(土)～ 平成30年06月17日(日)	57日	4,492人
発掘速報展 「掘ったほ！下関 2018」	平成30年06月23日(土)～ 平成30年09月02日(日)	63日	4,305人
企画展Ⅱ 「郷台地奇譚 EpisodeⅠ — 文化財保護の金字塔—」	平成30年09月08日(土)～ 平成30年11月11日(日)	59日	5,432人
第20回やよい絵画展 (全作品展示)	平成30年11月17日(土)～ 平成31年01月27日(日)	57日	2,119人
小企画展 「勝山御殿跡の軌跡」	平成31年02月16日(土)～ 平成31年03月03日(日)	14日	800人
第20回やよい絵画展 (受賞作品展示)	平成31年03月01日(土)～ 平成31年03月16日(日)	14日	2,099人
企画展Ⅲ 「郷台地奇譚 EpisodeⅡ —綾羅木式土器の世界—」	平成31年03月16日(土)～ 平成31年03月31日(日) 現在	14日	2,161人
合 計		226日	21,408人

(9) 教育・普及活動

ア 一般教養講座(外部講師)……年間テーマ「下関出身の考古学者」

- ① 平成30年 5月19日(土) 多田 仁 (愛媛県埋蔵文化財センター 調査第二係長)  
「後期旧石器時代の文化伝播—四国の事例から—」 聴講者 59人
- ② 平成30年 7月14日(土) 矢野健一 (立命館大学文学部教授)  
「ロボットで調査する水深70mの琵琶湖底遺跡」 聴講者 76人
- ③ 平成30年 7月1日(土) 河野正訓 (東京国立博物館研究員)  
「ジーコンボ古墳群と東アジアの積石塚」 聴講者 69人
- ④ 平成30年11月10日(土) 林 潤也 (大野城市教育委員会ふるさと文化財課啓発整備係長)  
「大野城と北部九州の古代山城 ～長門城所在地論争を考える～」 聴講者 83人

イ 文化財講座(下関市職員担当)

- ① 平成30年 4月28日(土) 太田雅史 (文化財保護課)  
「古代人の顔あれこれ」 聴講者 49人
- ② 平成30年 6月 2日(土) 岸本充弘 (下関市立大学事務局)  
「関門鯨産業文化史」 聴講者 45人
- ③ 平成30年 8月11日(土) 安田 豊 (考古博物館)  
「中世下関市域の塩づくり—長門国正吉郷を中心に—」 聴講者 38人
- ④ 平成30年12月15日(土) 松永博明 (考古博物館)  
「古墳の被葬者はわかるか②」 聴講者 65人
- ⑤ 平成31年1月19日(土) 濱崎真二 (考古博物館)  
「瓦礫の類というけれど…—瓦から見る下関の歴史—」 聴講者 59人
- ⑥ 平成31年 3月23日(土) 高月鈴世 (文化財保護課)  
「明治・大正期の国宝の姿—住吉神社本殿・功山寺仏殿—」 聴講者 57人

ウ	ミュージアム・セミナー（当館学芸員担当） ……年間テーマ「きいて、みて、つくる—綾羅木式土器の世界—」 平成31年2月9日（土）・16日（土）・25日（土）	全3回	聴講者	延32人
エ	体験学習教室（当館学芸員担当）			
	① 土器づくり教室	2回	参加者	57人
	② 土笛・土鈴づくり教室	1回	参加者	88人
	③ 勾玉づくり教室	3回	参加者	91人
	④ 考古博物館探検	1回	参加者	26人
	⑤ 夏休み古代こども体験教室 （火起こし、竪穴住居組み立て、勾玉づくり・ハニワづくり）	3日間	参加者	延48人
オ	その他			
	① 考古体験学習・出前講座	17回	参加者	延623人
	② 発掘速報展関連イベント			
	「調査担当者に聞く！」	2回	参加者	延70人
	「おやこで展示解説会」	2回	参加者	延10人
	考古・人類特別講演会「お墓から何がわかるのか!?!」	1回	参加者	51人
	③地質調査を体験しよう！			
	特別講演会「堆積物から歴史を読む」	1回	参加者	44人
	現地調査体験（吉母地区）	4日間	参加者	延12人
	④企画展Ⅱ講演会	3回	参加者	延150人
	⑤川まち弥生まつり（主催：川中まちづくり協議会）	1日	参加者	1500人

## 5 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

### (1) 沿革

昭和53年	「史跡土井ヶ浜遺跡保存管理計画」策定
平成2年	遺構覆屋（土井ヶ浜ドーム）完成、公開
平成5年3月	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム完成
平成5年5月	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館

### (2) 位置

下関市豊北町大字神田上 891-8

### (3) 構造等

敷地面積	18,748.26 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造3階建陸屋根
延床面積	1,977.65 m <sup>2</sup>
1階	（倉庫・収蔵庫、機械室など）：740.52 m <sup>2</sup>
2階	（玄関・エントランスホール・展示室・事務室・倉庫・会議室・トイレ）：1,057.36 m <sup>2</sup>
3階	（展望所）：146.02 m <sup>2</sup>
PH	：33.75 m <sup>2</sup>

屋外施設	湿生花園、研修田	駐車場 100台
付属施設	遺構覆屋（土井ヶ浜ドーム）、休息所「ほねやすめ」	



#### (4) 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

観覧料 大人：200円（160円）、大学生等100円（80円）

（ ）内は20名以上の団体料金、高校生以下は無料、下関市と北九州市の65歳以上の方、他地域の70歳以上の方、療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳（項症）の交付を受けている方（身体障害の程度が1～4級、戦傷病者の特別項症から第4項症までの方は付添人1人を含む）は無料

#### (5) 常設展示

##### ① 弥生シアター

弥生シアターでは3D映像「よみがえる弥生人」を上映。土井ヶ浜弥生人の特徴とルーツについて映像で紹介。

##### ② 展示室

- ・土井ヶ浜遺跡のジオラマ
- ・土井ヶ浜遺跡の土層はぎ取り展示
- ・埋葬のようす（土井ヶ浜遺跡でみられた埋葬の種類）
- ・日本人の起源
- ・日本人の身長の変遷（縄文時代から現代までの身長の変化）
- ・弥生人形質の地域差（弥生人には顔かたちにより地域差があったことを人骨のレプリカで紹介）
- ・副葬品（南海産貝製腕輪、玉状貝製品などのアクセサリ類を展示）
- ・副葬されていた土器
- ・殺されたシャーマン（124号人骨の謎）
- ・土器に文様を付けてみよう

#### (6) 収蔵品

土井ヶ浜遺跡出土遺物、角島沖田遺跡出土遺物、圃場整備事業にかかる発掘調査で出土した遺物  
土井ヶ浜人骨および弥生人骨、古墳人骨、古代人骨、中世人骨、近世人骨、河村コレクション（貝）

#### (7) 観覧者の状況

	開館日数	観覧者数
平成28年度	308	10,525
平成29年度	307	9,464
平成30年度	310	9,869

#### (8) 企画展示・講演・教育・普及活動

##### ア 企画展

- ① ミニ企画展「赤米通信～土井ヶ浜と赤米のかかわり～」平成30年5月12日（土）～6月24日（日）
- ② 「人骨が語る江戸時代の下関」平成30年7月3日（火）～10月8日（月・祝）
- ③ 「「国境の島 壱岐」展 -魏志倭人伝に記された一支国の世界-」平成30年10月16日（火）～平成31年1月20日（日）
- ④ ミニ企画展「墓と副葬品」平成31年1月26日（土）～2月24日（日）
- ⑤ 「#土井ヶ浜遺跡～日本人のツールを物語る遺跡～」平成31年3月5日（火）～6月2日（日）

##### イ 講演

- ① 考古・人類連携企画 特別講演会「発掘調査と古人骨～お墓から何がわかるのか!?～」8月25日（土）

## ウ 展示解説

- ① 企画展「人骨が語る江戸時代の下関」8月19日(日)
- ② 企画展「「国境の島 壱岐」展 -魏志倭人伝に記された一支国の世界-」11月25日(日)

## エ 講座

### ① 企画展関連講座

「倭人伝の国、一支国・対馬国の弥生人」(松下孝幸)平成30年10月28日(日)

「壱岐の弥生時代 - 魏志倭人伝に記された一支国の世界 - 」(壱岐市教育委員会 松見裕二)平成30年11月25日(日)

「壱岐の古墳時代 - 280基の古墳が物語る壱岐の古墳文化 - 」(壱岐市教育委員会 田中聡一)平成30年12月2日(日)

### ② 体験講座

自然人類学体験講座「ホネホネウォッチング」平成30年6月24日(日)、7月15日(日)、7月29日(日)、8月12日(日)、8月26日(日)

体験講座「貝輪づくり体験」平成30年8月5日(日)

体験講座「勾玉づくり教室」(下関市立考古博物館共催)平成30年12月1日(土)

### ③ 館長講座

自然人類学講座「三浦按針墓出土の人骨 - 平戸で亡くなったイギリス人? - 」(松下孝幸)平成30年11月4日(日)

自然人類学講座「マカオの日本人殉教者たち ~奇跡の物語~」(松下孝幸)平成30年7月22日(日)

自然人類学講座「人骨が語る日本人 その2」(松下孝幸)平成30年11月4日(日)

### ④ 学芸員講座

自然人類学講座「下関の弥生時代 #土井ヶ浜遺跡」(大藪由美子)平成30年9月17日(月・祝)

自然人類学講座「土井ヶ浜遺跡と弥生人 - 土井ヶ浜から日本人のルーツがみえる - 」(松下孝幸)平成30年11月18日(日)

歴史学講座「近代ツーリズムと下関」(河田聡)平成30年12月8日(土)

民俗学講座「庚申塔とその周辺」(吉留 徹)平成31年1月27日(日)

## エ 博学連携

### ① 市立神玉小学校とのふるさと学習「赤米の田植え・稲刈り」

田植え:平成30年5月29日(火)、稲刈り:平成30年10月30日(火)

### ② 出張体験講座

「ホネホネウォッチング」出前授業 計 18回

「勾玉づくり教室」(下関市立考古博物館共催)平成30年12月1日(土)

### ③ 県立下関西高等学校の対外体験学習の受け入れ 平成30年8月3日(金)

### ④ 市立阿川小学校教頭の「せんせいの社会体験研修」の受け入れ

平成30年8月12日(日)から8月16日(木)

### ⑤ 九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携

土井ヶ浜遺跡出土の弥生時代人骨および松山藩久松松平家の人骨調査を実施について共同研究を実施。

### ⑥ 国内大学および研究機関との研究連携

慶応義塾大学ほか国内大学研究者等との沖縄県石垣市白保竿根田原洞穴遺跡出土の更新世人骨の調査。熊本大学との鹿児島県南種子町広田遺跡の共同研究。新潟大学災害・復興科学研究所及び文化財保護課と響灘沿岸地域の地質ボーリング調査。



**(9) 調査・研究**

- ア 中国上海市広富林遺跡出土の新石器時代人骨の国際共同研究。
- イ バハレーン国マカバ古墳群出土人骨の発掘調査。
- ウ 九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携。
- エ 慶応義塾大学ほかとの沖縄県石垣市白保竿根田原洞穴遺跡出土の更新世人骨の調査。
- オ 熊本大学との鹿児島県南種子町広田遺跡の共同研究。
- カ 新潟大学災害・復興科学研究所及び文化財保護課と響灘沿岸地域の地質ボーリング調査の共同研究。
- キ 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第 14 号の刊行。

**(10) 付属施設（遺構覆屋＝土井ヶ浜ドーム）**

約 80 体の人骨（レプリカ）を発掘当時の状態で復元し、土井ヶ浜弥生人たちの埋葬の特徴が一目で理解できるような展示をおこなっている。

**6 烏山民俗資料館**

下関市烏山民俗資料館は、平成 8 年に地域の歴史・民俗等の地域文化に関する資料及びアジア地域及び日本各地の手仕事文化に関する資料について、収集・調査研究及び展示活動を行う資料館として開館した。

平成 22 年 1 月 17 日より地域住民および観光客の交流を目的として設置された下関市川棚温泉交流センター内に移転し、新たに開館することとなった。移転後は、烏山民俗資料館の幅広い収蔵品の魅力を伝えるために、さまざまなテーマに沿った企画展・所蔵品展を開催している。

**(1) 沿革**

- 平成 8 年 4 月 旧烏山工芸館の民芸コレクションの寄贈を受ける。
- 平成 8 年 6 月 豊浦町烏山民俗資料館として開館する。
- 平成 17 年 2 月 下関市との合併により下関市烏山民俗資料館となる。
- 平成 20 年 8 月 下関市川棚温泉交流センター内への移転準備のため 8 月 31 日より休館。
- 平成 22 年 1 月 下関市川棚温泉交流センター内に移転。

**(2) 位置**

(〒759-6301) 下関市豊浦町大字川棚 5180 番地  
川棚温泉交流センター内  
(TEL) 083-774-3855 (FAX) 083-774-3856

**(3) 構造等（施設全体）**

- 敷地面積 4,498 m<sup>2</sup>
- 構造 鉄骨構造 2 階建
- 延床面積 1,242.85 m<sup>2</sup>  
うち烏山民俗資料館展示室 251.63 m<sup>2</sup>

**(4) 利用案内**

開館時間 午前 10 時～午後 8 時（入館は午後 7 時 30 分）

休館日 年末年始（12月31日～1月3日）

※展示替え等のための臨時休館あり

観覧料 無料（ただし、特別展開催時には別に定める）

## (5) 観覧者の状況

	開館日数	観覧者数
平成28年度	361	38,613
平成29年度	361	41,728
平成30年度	361	44,302

## (6) 展覧会等

### ア 企画展等

- ①「アルフレッド・コルトー ピアニストが歩んだ道のり」（パネル展）会期 平成30年4月28日（土）～平成30年7月16日（月）
- ②「明治維新と暮らしの変化」（明治維新150年記念企画展）会期 平成30年7月14日（土）～平成30年10月9日（火）
- ③「湯浅為之進・倉平 兄弟の足跡・故郷山口から福島・東京へ」（パネル展）平成30年7月21日（土）～平成30年11月13日（火）
- ④「シゴトとカタチ 暮らしの解剖学」（企画展）会期 平成30年10月13日（土）～平成31年1月20日（日）
- ⑤「郷土玩具から見る“こども”」（所蔵品展）会期 平成30年11月17日（土）～平成31年4月16日（火）
- ⑥「カラスヤマのひなまつり 2019」（所蔵品展）  
会期 平成31年1月26日（土）～平成31年3月12日（火）
- ⑦「お菓子レシピ 明治・大正・昭和初期の暮らしとともに」（企画展）会期 平成31年3月16日（土）～平成31年7月9日（火）

### イ イベント・共催事業等

- ①川棚の杜 Meets the Artist vol.1 堀尾寛太「目的の設計」展 会期 平成30年10月13日（土）～平成30年10月21日（日）  
会場：川棚の杜 烏山民俗資料館  
主催：川棚温泉まちづくり株式会社、Permanent reality  
共催：烏山民俗資料館
- ②「川棚温泉ひなまつり」会期 平成31年3月1日（金）～3月6日（水）  
会場：川棚の杜 烏山民俗資料館  
主催：川棚温泉まちづくり株式会社 川棚コスモス倶楽部 烏山民俗資料館

## 7 豊北歴史民俗資料館

### (1) 沿革

（県指定文化財旧滝部小学校の歴史）

明治8年(1875)8月 滝部八幡宮境内に開誘（かいゆう）小学校を創設する。

明治17年(1884)2月 学区改正により、大庭小学校の開誘分校として、現在地に校舎を改築する。

明治20年(1888)4月 独立し、開誘尋常小学校となる。

明治28年(1895)8月 高等科を併設し、滝部尋常高等小学校となる。

大正13年(1924)3月 中山太一・豊三・喜助三兄弟の寄附により、本館・東側校舎が完成。

- 昭和 22 年(1947) 5 月 新学制により、滝部小学校と改称する。  
 昭和 54 年(1979) 3 月 山口県有形文化財（建造物）に指定される。  
 昭和 55 年(1980)11 月 豊北町歴史民俗資料館として、開館する。  
 平成 17 年(2005) 2 月 合併に伴い、下関市立豊北歴史民俗資料館となる。  
 平成 19 年(2007) 5 月 改修工事（保存修理工事）のため休館する。  
 平成 23 年(2011) 3 月 改修工事（保存修理工事）が完了する。  
 平成 23 年(2011) 4 月 西教室棟が、山口県有形文化財（建造物）に追加指定される。  
 平成 23 年(2011)11 月 リニューアル開館する。

## (2) 位置

下関市豊北町大字滝部 3153-1

## (3) 構造等

構 造 木造 2 階建、寄棟及び切妻造棧瓦葺  
 敷地面積 1,970.14 m<sup>2</sup>  
 延床面積 1,268.05 m<sup>2</sup>



- 1 階 812.97 m<sup>2</sup>  
 E V 棟（トイレなど）：49.85 m<sup>2</sup>、収蔵庫棟：73.09 m<sup>2</sup>、ポンプ室（別棟）：8.40 m<sup>2</sup>  
 既設建物（和室・倉庫・閲覧室・事務室・展示室・教室など）681.63 m<sup>2</sup>  
 2 階 455.08 m<sup>2</sup>  
 E V 棟（倉庫など）：44.90 m<sup>2</sup>  
 既存建物（講堂など）：410.18 m<sup>2</sup>

## (4) 利用案内

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）  
 休 館 日 月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  
 入 館 料 無料（ただし、特別展開催時には別に定める）  
 貸 室 貸室使用料一覧

室 名（収容人員）	使用料	
	AM9:00～PM5:00 1時間あたり	特別使用料
2階 講堂（120）	520円	9,000円
1階 和室（20）	100円	
1階 教室（20）	100円	
1階 展示室	310円	

- （備考）※特別使用料とは、全施設同時使用及び、午後 5 時から午後 10 時までの使用の場合の金額。  
 ※営利、営業、宣伝等を目的とし、又は入場料その他これに類する料金を徴収する場合は、この表の金額の倍額となる。  
 ※冷暖房を使用した場合は、使用状況に応じて実費を徴収する。

## (5) 常設展示

- 1 階・エントランス  
 ・豊北ガイドマップ、滝部小学校の沿革、郷土の偉人中山太一氏などを紹介。また、豊北町の歴史民俗文化についての映像案内を実施。

## (6) 収蔵品

国登録有形民俗文化財「豊北の漁撈用具」をはじめとする民俗文化関係資料。郷土資料としての古文書、行政文書など歴史文化関係資料（なお、民俗文化関係資料については資料収蔵室（旧豊北第二中学校）にて保管）

## (7) 入館者の状況

	開館日数	入館者数
平成28年度	308	3,555
平成29年度	308	2,979
平成30年度	308	2,885

## (8) 企画展示・講演・教育・普及活動

### ア 企画展

- ① 「こどもの遊び—いまとむかし—」平成30年7月24日（火）～平成30年9月23日（日）
- ② 「流浪の貴公子—中山忠光卿の足跡と豊北—」平成30年9月11日（火）～平成30年12月24日（月・祝）
- ③ 「くらしの道具—移り変わる「モノ」たち—」平成31年1月29日（火）～令和元年6月23日（日）

### イ 講座

- ① 「竹の水でつぼうをつくろう」平成30年7月28日（土）・平成30年8月18日（土）
- ② 「新春の遊びをしよう」平成31年1月4日（金）～平成31年1月31日（火）
- ③ 「昔の道具を使ってみよう」平成31年2月17日（日）
- ④ 歴史民俗講座「人を神に祀る—中山忠光の伝説と地域」平成30年12月23日（日）
- ⑤ 「歴史文学講座」（3回/年度）（豊北郷土文化友の会主催：資料館共催事業）

### ウ イベント

#### ① 夜間ライトアップ

平成30年	7月26日（木）	～	7月28日（土）	19時～23時
平成30年	8月11日（金・祝）	～	8月15日（火）	19時～23時
平成30年	12月22日（金）	～	12月25日（月）	18時～23時

## 8 文化財保護

### (1) 下関市文化財保護審議会

下関市文化財保護審議会委員名簿（任期：平成29年6月1日～令和元年5月31日）

担当分野	氏名	現職等
建造物	三浦正幸	広島大学名誉教授
絵画	菊屋吉生	山口大学国際総合科学部教授
彫刻	井形進	九州歴史資料館技術主査
古文書・歴史資料	小山良昌	財団法人毛利博物館顧問
考古資料・史跡	渡辺一雄	元梅光学院大学副学長
民俗文化財	清水満幸	萩博物館館長
記念物（動物）	山岡郁雄	山口大学名誉教授
記念物（植物・名勝）	田邊護	山口植物学会顧問

記念物(地質鉱物)

西村 祐二郎

山口大学名誉教授

## (2) 施設

### ア 旧下関英国領事館

所在地 下関市唐戸町 4-11  
 構造等 本館 煉瓦造二階建・棧瓦葺  
 (建築面積 161.35 m<sup>2</sup>)  
 附属屋 煉瓦造平屋建・棧瓦葺  
 (建築面積 80.93 m<sup>2</sup>)  
 敷地面積 597.93 m<sup>2</sup>

平成 30 年度入館者数 64,700 人

この建物は、領事館として建てられたわが国現存最古の建物で、明治 39 年 8 月に上棟した。平成 11 年 5 月 13 日、重要文化財に指定。平成 20 年度から 25 年度に実施した構造補強及び建築当初への復原を目的とした保存修理工事竣工後、平成 26 年 7 月 18 日より、指定管理者による公開活用を図っている。年間入館者数は前年度より 2,574 人増加し、平成 26 年 7 月からの通算入館者数は 334,169 人となった。また、下記の事業を実施した。

・英国王立写真協会日本支部写真展

会期 平成 30 年 8 月 29 日(水)～9 月 5 日(水)

会期中来館者数 1,807 人

### イ 豊田文化財資料室

所在地 下関市豊田町大字矢田 153-1  
 構造等 鉄筋コンクリート造(床面積 255.60 m<sup>2</sup>)

豊田地域の貴重な文化財を展示保存するとともに、地域の歴史と民俗に関する調査研究施設として平成 7 年に豊田図書館内に設置し、市民に無料公開している。

※休館日 下関市立豊田図書館に準ずる。



## (3) 調査・保存修理

### ア 国指定天然記念物「川棚のクスの森」枯損対策作業に伴う調査指導

国指定天然記念物「川棚のクスの森」について、昨年度に引き続き、文化庁が推薦する樹木医 3 名および文化庁調査官を招聘して、現地調査および枯損対策についての検討を行い、水圧穿孔作業による枯損対策を講じた。

### イ 無形民俗文化財の調査

平成 30 年度に挙行された式年祭の「浜出祭」(7 年に一度開催・県指定)や「蓋井島山ノ神神事」(6 年に一度開催・市指定・国選択)について、豊北歴史民俗資料館と協力して、記録作成を行ったほか、未指定の無形民俗文化財についても現況把握などを行い、今後の保護措置を講ずるための基礎資料の作成を行った。

#### (4) 市内の文化財（令和元年5月1日現在）

##### ア 国指定文化財

##### ① 国宝（2件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺仏殿 1棟 桁行三間、梁間三間、一重裳階附、 入母屋造、檜皮葺	建造物	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 28. 11. 14
住吉神社本殿 1棟 九間社流造、正面五ヶ所千鳥破風附、 檜皮葺、附 玉殿5基・棟札4枚	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14

##### ② 重要文化財（17件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
住吉神社拝殿 1棟 桁行三間、梁間一間、一重切妻造、 妻入、檜皮葺	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 29. 9. 17
旧下関英国領事館 2棟 本館・附属屋 附 煉瓦塀1基・幣串1本	建造物	唐戸町〔下関市〕	平成 11. 5. 13
絹本著色十二天曼荼羅図 1幅 （寺伝 安鎮曼荼羅）	絵画	南部町〔国分寺〕	昭和 25. 8. 29
木造不動明王立像 1軀	彫刻	南部町〔国分寺〕	昭和 25. 8. 29
木造薬師如来立像 1軀	彫刻	南部町〔専念寺〕	昭和 25. 8. 29
刀 無銘（伝則宗） 1口	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
太刀 銘 備州長船盛光 1口	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
銅鐘 1口	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 25. 8. 29
金銅牡丹唐草透唐鞍 1具 鞍一背、銀面二面、轡二口、雲珠二箇、 杏葉一箇、鞍二箇、障泥一双、鞆一双、 鞍褥残片一枚、革鞆残片二条	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 31. 6. 28
紙本墨書平家物語（長門本）自一至廿 20冊	書跡	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 25. 8. 29
紙本墨書豊浦宮法楽和歌 1巻 尊氏外三人筆	書跡	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
住吉社法楽百首和歌短冊 （明応四年十二月） 1帖 附 三条西実隆筆序文並相良正任・杉 武明連署添状1冊、新撰菟玖波集作 者附 1冊、宗祇署名短冊箱1合、毛 利秀元奉納蒔絵短冊箱1合	書跡	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14
赤間神宮文書 10巻1冊	古文書	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 51. 6. 5
忌宮神社文書 28巻3冊（372通） 附 忌宮神社記録 忌宮神社境内絵図	古文書	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 53. 6. 15

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
長門国鑄銭遺物 和同開珎銭范残欠 12 個・坩堝残欠 3 個・鞆口残欠 4 個・和同開珎 1 枚	考古資料	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 39. 1. 28
絹本著色仁王経曼荼羅図	絵画	豊田町大字江良〔神上寺〕 (山口県立山口博物館寄託)	昭和 53. 6. 15
木造阿弥陀如来坐像	彫刻	豊浦町大字厚母郷〔安養寺〕	昭和 4. 4. 6

## ③ 重要有形民俗文化財 (1 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
蓋井島「山ノ神」の森 4 か所	有形民俗文化財	大字蓋井島〔藤永家他〕	昭和 35. 10. 11

## ④ 史跡・名勝・天然記念物 (20 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
長門鑄銭所跡	史跡	長府安養寺三丁目〔覚苑寺他〕	昭和 4. 12. 17
高杉晋作墓	史跡	大字吉田〔東行庵〕	昭和 9. 5. 1
中山忠光墓	史跡	綾羅木本町七丁目〔中山神社〕	昭和 16. 8. 1
綾羅木郷遺跡	史跡	大字綾羅木字若宮他〔下関市〕	昭和 44. 3. 11 (昭和 56. 12. 23 追加)
梶栗浜遺跡	史跡	梶栗町四丁目他〔下関市〕	昭和 55. 3. 14
仁馬山古墳	史跡	大字延行字神間他〔下関市〕	平成 3. 5. 15
長州藩下関前田台場跡	史跡	前田一丁目〔下関市〕	平成 22. 8. 5
勝山御殿跡	史跡	大字田倉	平成 31. 2. 26
満珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字干珠〔忌宮神社〕	大正 15. 10. 20
干珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字満珠〔忌宮神社〕	大正 15. 10. 20
六連島の雲母玄武岩	天然記念物	大字六連島字辻〔国他〕	昭和 9. 1. 22
石柱溪	名勝及天然記念物	豊田町大字今出〔下関市他〕	大正 15. 10. 20
狗留孫山	名勝	豊田町大字杵路子〔修禅寺〕	昭和 15. 8. 30
木屋川・音信川ゲンジボタル発生地	天然記念物	音信川、木屋川流域 〔国土交通省、山口県〕	昭和 32. 10. 16
川棚のクスの森	天然記念物	豊浦町大字川棚〔下関市〕	大正 11. 10. 12
大吼谷蝙蝠洞	天然記念物	豊浦町大字小串〔山口県漁業協同組合〕	昭和 3. 3. 24
小串エヒメアヤメ自生南限地帯	天然記念物	豊浦町大字小串〔下関市〕	昭和 5. 11. 19
壁島ウ渡来地	天然記念物	豊北町大字神田(壁島)〔文部科学省〕	昭和 9. 5. 1
恩徳寺の結びイブキ	天然記念物	豊北町大字神田関領 〔山口県漁業協同組合〕	昭和 30. 10. 26
土井ヶ浜遺跡	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 37. 6. 21

## イ 山口県指定文化財 (43 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
山口銀行旧本店 付 棟札	有形文化財 (建造物)	観音崎町〔山口銀行〕	平成 17. 10. 4
観察院五輪塔 付 自然石板碑	有形文化財 (建造物)	富任町八丁目〔観察院〕	平成 23. 11. 24
紙本金地着色安徳天皇絵	有形文化財 (絵画)	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 41. 6. 10

板絵着色繫馬図	有形文化財 (絵画)	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	平成 2. 11. 6
狩野芳崖筆板絵着色絵馬	有形文化財 (絵画)	長府宮の内町〔忌宮神社〕 一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕 大字井田〔菅原神社〕(住吉神社寄託) 長府黒門町〔東西山瀬〕(美術館寄託)	平成 6. 5. 2
絹本着色楊柳観音坐像	有形文化財 (彫刻)	長府川端一丁目 〔功山寺〕(歴史博物館寄託)	平成 7. 12. 19
木造地藏菩薩半跏像	有形文化財 (彫刻)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 41. 6. 10
木造聖観音菩薩立像	有形文化財 (彫刻)	大字有富〔竹生寺〕	昭和 41. 6. 10
手鑑「筆陳」	有形文化財 (書跡)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 23. 2. 8
住吉神社文書	有形文化財 (古文書)	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 52. 11. 11
武久家文書 付 紙本着色武久季依像	有形文化財 (古文書)	羽山町〔武久家〕(歴史博物館寄託)	昭和 55. 12. 5
安尾家文書	有形文化財 (古文書)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 62. 3. 27
綾羅木郷遺跡出土品	有形文化財 (考古資料)	大字綾羅木字岡〔考古博物館〕	昭和 51. 3. 16
心光寺古墳出土品	有形文化財 (考古資料)	大字綾羅木字岡〔考古博物館〕	昭和 55. 4. 11
大内家壁書 下関市立長府博物館所蔵本	有形文化財 (歴史資料)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 8. 12. 13
法林寺のソテツ	天然記念物	大字吉母〔法林寺〕	昭和 41. 6. 10
長門国一の宮住吉神社社叢	天然記念物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 41. 6. 10
長府正円寺の大イチョウ	天然記念物	長府中之町〔正円寺〕	昭和 44. 2. 4
蓋井島のヒゼンマユミ群落	天然記念物	大字蓋井島〔松本家〕	昭和 57. 11. 5
忌宮神社の数方庭行事	無形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 59. 11. 2
赤間硯	無形文化財 (工芸技術)	保持者 堀尾信夫	平成 14. 3. 26
長府藩主毛利家墓所	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕 長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕 長府川端二丁目〔笑山寺〕	平成 26. 12. 2
法輪寺本堂	有形文化財 (建造物)	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 42. 7. 4
木造虚空蔵菩薩坐像	有形文化財 (彫刻)	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 41. 6. 10
鰐口 天文元年壬辰十一月 二十八日	有形文化財 (工芸品)	菊川町大字檜崎〔美栄神社〕 (歴史博物館寄託)	平成元. 10. 24
明版一切経 付 八角輪蔵	有形文化財 (典籍)	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 5. 1. 12



旧殿居郵便局局舎 付 棟札	有形文化財 (建造物)	豊田町大字殿居〔河田家〕	昭和 52. 3. 29 (平成 5. 1. 12 追加)
絹本極彩色理界曼荼羅 絹本極彩色智界曼荼羅	有形文化財 (絵画)	豊田町大字江良〔神上寺〕 (歴史博物館寄託)	昭和 41. 6. 10
木造薬師如来坐像	有形文化財 (彫刻)	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 55. 12. 5
線刻菩薩形坐像懸仏	有形文化財 (工芸品)	豊田町大字八道〔八鷹八幡宮〕 (豊田文化財資料室寄託)	昭和 55. 12. 5
神上寺銅矛	有形文化財 (考古資料)	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 53. 3. 31
紙本墨画白衣観音図	有形文化財 (絵画)	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	平成 5. 5. 14
木造千手観音菩薩立像	有形文化財 (彫刻)	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54. 12. 4
金銅薬師如来坐像懸仏	有形文化財 (工芸品)	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54. 12. 4
中ノ浜遺跡	史跡	豊浦町大字川棚〔下関市〕	昭和 50. 3. 22
黒井一ノ瀬一里塚	史跡	豊浦町大字黒井〔山本家〕	平成 15. 4. 4
川棚三恵寺のモッコク	天然記念物	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 44. 4. 25
旧滝部小学校本館	有形文化財 (建造物)	豊北町大字滝部〔下関市〕	昭和 54. 3. 31 (平成 23. 4. 8 追加)
土井ヶ浜遺跡出土品	有形文化財 (考古資料)	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 57. 4. 16
滝部のシダレザクラ	天然記念物	豊北町大字滝部〔中山家〕	昭和 52. 11. 11
滝部八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊北町大字滝部〔滝部八幡宮〕	昭和 52. 11. 11
阿川八幡宮のイヌマキ巨樹群	天然記念物	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 53. 3. 31
浜出祭	無形民俗文化財	豊北町〔浜出祭文化財保存会〕	昭和 51. 11. 24

## ウ 下関市指定文化財 (147 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺山門	有形文化財 (建造物)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 45. 3. 4
高林寺山門	有形文化財 (建造物)	赤池町〔高林寺〕	昭和 49. 3. 25
笑山寺十三重塔	有形文化財 (建造物)	長府川端二丁目〔笑山寺〕	昭和 50. 2. 27
長府藩侍屋敷長屋	有形文化財 (建造物)	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 51. 3. 16
菅家長屋門 付練塀	有形文化財 (建造物)	長府古江小路町〔菅家〕	昭和 51. 3. 16
吉岡家長屋	有形文化財 (建造物)	長府宮の内町〔吉岡家〕	昭和 52. 2. 16
功山寺輪蔵	有形文化財 (建造物)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54. 3. 1
旧野々村家表門	有形文化財 (建造物)	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 54. 12. 7
妙音寺無縫塔	有形文化財 (建造物)	大字永田郷〔妙音寺〕	昭和 55. 2. 5
清末内藤家表門 付練塀及び門前石段	有形文化財 (建造物)	清末西町一丁目〔内藤家〕	昭和 56. 2. 18
岩元家・岡村家練塀	有形文化財 (建造物)	長府惣社町〔岩元家・岡村家〕	昭和 56. 3. 9
河村家練塀	有形文化財 (建造物)	長府古江小路町〔河村家〕	昭和 56. 3. 9
乃木神社練塀	有形文化財 (建造物)	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56. 3. 9
旧梶山家練塀	有形文化財 (建造物)	長府宮の内町〔下関市〕	昭和 56. 11. 27

旧今藤家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56. 11. 27
益本家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔益本家〕	昭和 56. 11. 27
長府藩の場跡練堀	有形文化財（建造物）	長府松原町〔アースコーポレーション(株)〕	昭和 57. 4. 15
大村家練堀	有形文化財（建造物）	長府侍町二丁目〔大村家〕	昭和 57. 4. 15
磯谷家表門及び練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔磯谷家〕	昭和 58. 3. 30
引接寺三門	有形文化財（建造物）	中之町〔引接寺〕	昭和 58. 5. 26
佐藤家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔佐藤家〕	昭和 59. 3. 30
西尾家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔西尾家〕	昭和 59. 3. 30
阿山家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔阿山家〕	昭和 59. 3. 30
沖田家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔沖田家〕	昭和 59. 3. 30
広江家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔広江家〕	昭和 59. 3. 30
覚苑寺本堂	有形文化財（建造物）	長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕	昭和 61. 5. 10
王司山田自然石板碑	有形文化財（建造物）	大字山田〔片山家〕	平成 3. 5. 9
六連島灯台	有形文化財（建造物）	大字六連島〔海上保安庁〕	平成 7. 6. 27
旧逋信省下関郵便局電話課 庁舎（下関市役所第一別館）	有形文化財（建造物）	田中町〔下関市〕	平成 14. 2. 15
旧金ノ弦岬灯台	有形文化財（建造物）	大字彦島金ノ弦岬 （公有水面上）〔下関市〕	平成 16. 4. 13
旧内務省下関土木出張所 下関機械工場乾船渠	有形文化財（建造物）	阿弥陀寺町〔下関市〕	平成 27. 10. 27
旧秋田商会ビル	有形文化財（建造物）	南部町〔下関市〕	平成 27. 10. 27
絹本著色仏涅槃図	有形文化財（絵画）	長府川端一丁目〔功山寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 9. 10. 15
木造十一面観音座像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44. 6. 13
西楽寺木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	彦島本村町五丁目〔西楽寺〕	昭和 60. 12. 20
竹生寺木造十一面千手観音 立像	有形文化財（彫刻）	大字有富〔竹生寺〕	昭和 60. 12. 20
功山寺千手観音菩薩坐像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
功山寺韋駄天立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
功山寺二十八部衆立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕 （2 軀：歴史博物館寄託）	昭和 61. 11. 10
海蔵寺木造聖観音菩薩立像	有形文化財（彫刻）	垢田町三丁目〔海蔵寺〕	昭和 63. 6. 15
法専寺銅造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔法専寺〕	平成元. 11. 1
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44. 6. 13
太刀 銘 備州住正廣	有形文化財（工芸品）	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 45. 10. 26
萌葱絲威肩白胴丸 付筋兜、大袖、頬当、喉輪、 箆手、脛当	有形文化財（工芸品）	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 46. 7. 24
銅鐘	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46. 11. 16
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46. 11. 16
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字阿内〔専念寺〕	昭和 47. 11. 9
打刀銘 長州住頭国 応永四 年二月吉日	有形文化財（工芸品）	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 48. 3. 27

金山長福禅寺開山虚菴和尚 行録 景泰五年孟春 南浦如幻書	有形文化財（書跡）	長府川端二丁目〔功山寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 12. 11. 17
白石家文書	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔白石家〕 （歴史博物館寄託）	昭和 44. 10. 1
亀屋伊藤家文書	有形文化財（古文書）	唐戸町〔伊藤家〕	平成 8. 3. 21
日頼寺文書 附毛利元就遺品	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔日頼寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 26. 3. 26
彦島杉田岩刻画	有形文化財（考古資料）	彦島江の浦町五丁目〔三菱重工業〕	平成 3. 5. 9
旧長府毛利家遺品	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目〔毛利家（歴史博物館寄託）・歴史博物館〕	昭和 52. 2. 16
赤間関朝鮮通信使関係資料 朝鮮通信使壇ノ浦懷古詩 波田嵩山朝鮮通信使唱酬詩 並筆語	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目〔赤間神宮・波田家〕 （歴史博物館寄託）	平成 27. 4. 21
亀山八幡宮「亀山能」 付能面三面・能面管一合	無形文化財	中之町〔亀山能楽会〕	昭和 44. 10. 1
蓋井島「山ノ神」神事記録	有形民俗文化財	大字蓋井島〔藤永家他〕	昭和 47. 3. 25
能面・狂言面 付忌宮神社神事能規則書 旧長府藩能舞台棧敷割図	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕 長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 47. 5. 11
安養寺宝篋印塔	有形民俗文化財	大字吉見上〔安養寺〕	昭和 50. 2. 27
「内日五年神」の森	有形民俗文化財	大字内日上〔上田家〕	昭和 56. 2. 18
能面 付面箱	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 58. 12. 10
先帝祭	無形民俗文化財	阿弥陀寺町〔赤間神宮奉賛会〕	昭和 45. 3. 4
蓋井島「山ノ神」神事	無形民俗文化財	大字蓋井島	昭和 45. 10. 26
彦島八幡宮「サイ上り」神事	無形民俗文化財	彦島迫町五丁目〔彦島八幡宮〕	昭和 53. 10. 19
「内日五年神」神事	無形民俗文化財	大字内日上	昭和 56. 2. 18
小野一里塚	史跡	大字小野〔西川家（管理）〕	昭和 48. 3. 27
功山寺旧境内地付 伝大内義長の墓	史跡	長府川端一丁目 〔功山寺・歴史博物館〕	昭和 49. 3. 25
功山寺書院	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54. 3. 1
宮山古墳	史跡	幡生宮の下町〔生野神社〕	昭和 54. 8. 7
有富古墳	史跡	大字有富〔専徳寺〕	昭和 54. 8. 7
秋根1号墳	史跡	秋根西町一丁目〔秋根八幡宮〕	昭和 54. 8. 7
櫻山招魂場	史跡	上新地二丁目〔櫻山神社〕	平成 27. 4. 21
吉母海岸植物群落	天然記念物	大字吉母 〔西光寺・山口県漁業協同組合〕	昭和 44. 10. 1
彦島西山の化石層	天然記念物	大字彦島〔山口県〕	昭和 46. 7. 24
紙本着色八幡大菩薩縁起 付納箱	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目〔吉賀八幡宮〕 （歴史博物館寄託）	平成 12. 6. 12
操り人形面一対 付納箱	有形文化財（彫刻）	菊川町大字田部〔小河家〕	平成 15. 3. 14
巖島・浅間神社の梵鐘	有形文化財（工芸品）	菊川町大字響井〔響井自治会〕	平成 11. 3. 18

西光寺文書	有形文化財（古文書）	菊川町大字下保木〔西光寺〕	平成 12. 6. 12
上原遺跡出土品	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝〔下関市〕	平成 13. 4. 25
ガラス製勾玉鎔范	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝〔下関市〕	平成 13. 12. 20
植松古墳群	史跡	菊川町大字吉賀 〔下関市・笹尾家〕	平成 16. 3. 12
河内神社の夫婦杉	天然記念物	菊川町大字道市〔道市自治会〕	平成 13. 4. 25
快友寺のイヌマキ巨樹群	天然記念物	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 13. 4. 25
若宮石造宝塔	有形文化財（建造物）	豊田町大字中村〔下関市〕	昭和 51. 3. 31
吉敷毛利氏の祖 毛利秀包 夫人引地の墓	有形文化財（建造物）	豊田町大字江良〔松田家〕	昭和 51. 3. 31
石造豊田種長供養板碑	有形文化財（建造物）	豊田町大字殿敷〔一の瀬部落〕	昭和 51. 3. 31
紙本着色涅槃像及八相図	有形文化財（絵画）	豊田町大字日野〔日野自治会〕	昭和 54. 5. 1
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 52. 10. 5
木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字鷹子〔鷹子自治会〕	昭和 54. 5. 1
木造薬師如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字字内〔字内薬師堂〕	昭和 55. 5. 10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔光明寺〕	昭和 55. 5. 10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔舜青寺〕	昭和 56. 5. 11
木造不動明王立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字柰路子〔修禅寺〕	昭和 57. 4. 8
木造聖観音立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字柰路子〔修禅寺〕	昭和 57. 4. 8
木造愛染明王坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 59. 4. 10
木造神像及び本地仏像 8 軀 〔木造男神坐像 2 軀、 木造男女神坐像 2 軀、 木造十一面観音坐像 1 軀、 木造阿弥陀如来坐像 1 軀、 木造阿弥陀如来坐像 1 軀、 木造虚空蔵菩薩坐像 1 軀〕	有形文化財（彫刻）	豊田町大字殿居〔巖島神社〕	昭和 61. 7. 10
懸仏残欠 2 軀 〔銅造阿弥陀如来坐像 1 軀 銅造如意輪観音半跏像 1 軀〕	有形文化財（工芸品）	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	昭和 56. 5. 11
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊田町大字字内〔字内薬師堂〕	昭和 60. 4. 22
日幡神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	昭和 60. 4. 22
巖島神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字殿居〔巖島神社〕	昭和 62. 9. 25
浮石の赤崎神社楽踊	無形民俗文化財	豊田町大字浮石〔亀尾山神社〕	昭和 55. 5. 10
佐野の岩戸神楽舞	無形民俗文化財	豊田町大字佐野〔日幡神社〕	昭和 55. 5. 10
栄長院墓所	史跡	豊田町大字高山〔高山自治会〕	昭和 59. 4. 10
台の変花崗岩	天然記念物	豊田町大字今出〔渡辺家〕	昭和 58. 4. 18
殿敷、トロニエム岩	天然記念物	豊田町大字殿敷〔福本・藤本家〕	昭和 58. 4. 18
狗留孫山修禅寺の一本スギ	天然記念物	豊田町大字柰路子〔修禅寺〕	平成元. 1. 12
館ヶ浴のツバキ	天然記念物	豊田町大字殿敷〔柳瀬家〕	平成 3. 11. 1
日幡神社のナギノキ	天然記念物	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	平成 5. 2. 26
西八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊田町大字矢田〔西八幡宮〕	平成 5. 3. 2
華山のアセビ群生林	天然記念物	豊田町大字庭田〔下関市〕	平成 13. 12. 26
吉永八幡宮本殿	有形文化財（建造物）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	平成 13. 3. 30

木造大日如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54. 12. 1
木造隨身倚像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 62. 3. 26
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	昭和 54. 12. 1
杜屋神社文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 54. 12. 1
永富家文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字川棚〔永富家〕	平成 4. 2. 17
古谷道庵日乗	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 4. 2. 17
青井古墳群及び大迫古墳群 出土遺物	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	昭和 62. 3. 26
磯上遺跡出土の水晶石器	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	平成 4. 2. 17
鑄鉄製鋤先	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	平成 4. 2. 17
大門古墳	史跡	豊浦町大字黒井〔窪田・三井田家〕	昭和 51. 7. 9
涌田青井の台場	史跡	豊浦町大字涌田〔(株) ダイナ ムビジネスサポート〕	昭和 51. 7. 9
泊ヶ鼻の台場	史跡	豊浦町大字室津下 〔室津漁業協同組合〕	昭和 51. 10. 1
泊ヶ鼻祭祀場跡	史跡	豊浦町大字室津下 〔室津漁業協同組合〕	昭和 51. 10. 1
青井古墳群	史跡	豊浦町大字涌田後地	昭和 62. 3. 26
妙青寺庭園	名勝	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	平成 13. 3. 30
川棚神社のチシャノキ	天然記念物	豊浦町大字川棚〔川棚神社〕	昭和 62. 3. 26
角島灯台	有形文化財（建造物）	豊北町大字角島〔海上保安庁〕	平成 17. 1. 18
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字神田〔住吉神社〕	昭和 55. 2. 20
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字阿川上市〔海翁寺〕	昭和 56. 4. 22
江田家文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 55. 2. 20
徳蓮寺文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字神田上〔下関市〕	平成 17. 1. 26
滝部八幡宮の腰輪踊	無形民俗文化財	豊北町大字滝部	昭和 53. 6. 16
附野薬師の流灌頂	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔東山寺〕	昭和 55. 2. 20
阿川河内のカンコ踊り	無形民俗文化財	豊北町大字阿川河内	昭和 56. 4. 22
神田大川のみかがみ祭り	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 57. 4. 21
和久古墳	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 56. 4. 22
肥中台場跡	史跡	豊北町大字神田〔保井家〕	昭和 60. 2. 18
七神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔七神社〕	昭和 53. 12. 1
客神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 53. 12. 1
角島のハマオモト	天然記念物	豊北町大字角島夢崎〔下関市〕	昭和 53. 12. 1
寺畑のコジイ	天然記念物	豊北町大字北宇賀寺畑〔西島家〕	昭和 56. 4. 22
観涛園の俵石	天然記念物	豊北町大字神田〔来見田家〕	昭和 60. 2. 18
平畑のスタジイ	天然記念物	豊北町大字阿川平畑〔井原家〕	昭和 61. 4. 24

エ 登録有形文化財（建造物）・登録有形民俗文化財（建造物 35 件、民俗 1 件）

名称	種別	所在の場所等	指定年月日
下関市水道局内日第一貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16

下関市水道局内日貯水池事務所	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場着水井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池付設調節弁	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場配水池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日第二貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日第二貯水池溢水隧道入口	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局水道資料室 (旧日和山浄水場事務所)	建造物(生活関連)	長崎中央町	平成 10. 1. 16
下関市立長府博物館本館 (旧長門尊攘堂)	建造物(文化福祉)	長府川端一丁目	平成 11. 6. 7
下関南部町郵便局庁舎 (旧赤間関郵便電信局)	建造物(官公庁舎)	南部町	平成 13. 8. 28
護國寺本堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 15. 3. 18
護國寺清正公堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
護國寺納骨堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
護國寺門柱	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
日本基督教団下関丸山教会 (旧日本メソヂスト下関教会) 会堂	建造物(宗教)	丸山町四丁目	平成 16. 2. 17
功山寺総門	建造物(宗教)	長府川端一丁目	平成 16. 7. 23
歌野清流庵	建造物(住宅)	菊川町上岡枝 郷ヶ原	平成 17. 7. 12
藤原義江記念館 (旧リンガー邸)	建造物(住宅)	阿弥陀寺町	平成 18. 11. 9
中野家住宅主屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅納屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅土蔵	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅塀	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅石垣	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
めぐみ幼稚園第一園舎 (旧下関バプテスト教会)	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19. 5. 15
めぐみ幼稚園第二園舎 (旧宣教師住宅)	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19. 5. 15
大乘寺山門	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20. 4. 18
大乘寺鐘楼	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20. 4. 18
日清講和記念館	建造物(文化福祉)	阿弥陀寺町	平成 23. 1. 26
蜂谷ビル (旧東洋捕鯨株式会社下関支店)	建造物(産業 3 次)	岬之町	平成 25. 3. 29
玉椿旅館	建造物(産業 3 次)	豊浦町大字川棚	平成 25. 3. 29
旧宮崎商館	建造物(産業 3 次)	田中町	平成 25. 12. 24
住吉神社楼門	建造物(宗教)	一の宮住吉一丁目	平成 29. 10. 27
住吉神社唐門及び透塀	建造物(宗教)	一の宮住吉一丁目	平成 29. 10. 27
赤間神宮水天門及び回廊	建造物(宗教)	阿弥陀寺町	平成 30. 11. 2
豊北の漁撈用具	有形民俗文化財 (生産・生業)	豊北町大字神田上	平成 24. 3. 8

オ 重要美術品 (3件)

名称	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
紙本墨書後陽成天皇宸翰御懷紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10. 12. 23
紙本墨書靈元天皇宸翰御懷紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10. 12. 23
手鑑「筆陳」	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 18. 10. 1

カ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択されたもの (1件)

名称	所在の場所等	指定年月日
蓋井島「山ノ神」神事	大字蓋井島	昭和 34. 3. 28

キ 下関市に所在する指定文化財等一覧 (管内別)

文化財	有形文化財														無形文化財			民俗文化財				記念物					計	
	重要文化財														重要無形文化財			重要民俗文化財				記念物						
	国宝				重要文化財										県/市無形文化財			県/市民俗文化財				記念物						
	種別	建造物	絵画	工芸品	書跡	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料	計	芸能	工芸	計	有形	無形	計	特別天然記念物	史跡	名勝	天然記念物	名勝及天然記念物		計
国	下関	2				2	1	2	4	3		2	1		17			0	1		1		8		3		11	29
	豊浦							1						1			0			0					3		3	4
	豊田						1							1			0			0			1	1	1	3	4	
	豊北														0			0			0		1		2		3	3
	菊川														0			0			0						0	0
	計	2	0	0	0	2	2	3	4	3	0	2	1	0	19	0	0	0	1	0	1	0	9	1	9	1	20	40
県	下関	-	-	-	-	2	3	3		1		3	2	1	15		1	1		1	1	-	1		4		5	22
	豊浦	-	-	-	-		1	1	1					3			0			0	-	2		1		3	6	
	豊田	-	-	-	-	1	1	1	1			1		5			0			0	-					0	5	
	豊北	-	-	-	-	1						1		2			0		1	1	-			3		3	6	
	菊川	-	-	-	-	1		1	1		1			4			0			0	-					0	4	
	計	-	-	-	-	5	5	6	3	1	1	3	4	1	29	0	1	1	0	2	2	-	3	0	8	0	11	43
市	下関	-	-	-	-	32	1	8	7	1		3	1	2	55	1		1	5	4	9	-	7		2		9	74
	豊浦	-	-	-	-	1		2	4			3	3		13			0			0	-	5	1	1		7	20
	豊田	-	-	-	-	3	1	9	2					2	17			0		2	2	-	1		7		8	27
	豊北	-	-	-	-	1			2			2			5			0		4	4	-	2		6		8	17
	菊川	-	-	-	-		1	1	1			1	2		6			0			0	-	1		2		3	9
	計	-	-	-	-	37	3	20	16	1	0	9	6	4	96	1	0	1	5	10	15	-	16	1	18	0	35	147
合計	2	0	0	0	44	10	29	23	5	1	14	11	5	144	1	1	2	6	12	18	0	28	2	35	1	65	230	

## 9 埋蔵文化財調査

### (1) 平成 30 年度実施の埋蔵文化財調査実績

事業区分	本庁管内		菊川総合支所管内		豊田総合支所管内		豊浦総合支所管内		豊北総合支所管内		総合計		
	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	総件数
分布調査	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
試掘調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
確認調査	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
本発掘調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事立会	26	3	0	0	0	0	2	4	0	0	28	7	35
立会調査	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	2	5
資料整理	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
報告書作成	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
総件数	37	6	0	0	0	0	2	5	0	1	39	12	51

#### 凡例（調査の区分）

**分布調査**：遺跡の分布を予察するための地表面観察を含む踏査。**試掘調査**：遺跡の有無を確認するための部分的な試し掘り。

**確認調査**：遺跡の詳細を確認するための部分的な試し掘り。**本発掘調査**：記録・保存を目的とした発掘調査。

**工事立会**：土木工事中の立会による遺跡の保存を目的とした記録作業。

**立会調査**：土木工事の施工に合わせて実施する遺跡の有無を確認するための記録作業。

**資料整理**：出土遺物の洗浄、復元等の室内整理作業。

**報告書作成**：本発掘調査に伴う成果とりまとめ作業。

**その他**：上記以外の調査、作業。（自然科学調査、地質調査、構造物調査等）

### (2) 周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）件数

令和元年 5 月 1 日現在

地域区分	合計	本庁管内	菊川総合支所管内	豊田総合支所管内	豊浦総合支所管内	豊北総合支所管内
周知の埋蔵文化財包蔵地件数	633	323	43	32	121	114

平成 30 年度は新たに豊田地区の「橋本遺跡」・「宮ノ前遺跡」・「槇の尾遺跡」の 3 遺跡、王喜地区の「松屋里遺跡」、吉見地区の「山田遺跡」が新発見の遺跡として登録された。

### (3) 平成 30 年度実施の愛護・普及活動

活動名	日時	参加者	内容
発掘速報展 「掘ったほ！下関 2018」	平成 30 年 6 月 23 日 ～平成 30 年 9 月 2 日	4,305 人	平成 29 年度に実施した下関市内遺跡の発掘調査成果などについて、下関市立考古博物館特別企画展示室にて出土した遺物を展示し、併せてパネルなどで遺跡の説明を行なった。また、展示解説会を 7 月 30 日、8 月 26 日の 2 日間、各日 2 回実施した。
勝山御殿跡記念イベント	平成 30 年 11 月 24 日 ～11 月 25 日	500 人	下関市明治維新 150 周年関連事業および平成 30 年 11 月 16 日に史跡指定の答申がなされた勝山御殿跡の史跡指定の記念イベントを勝山地区まちづくり協議会と共催で行った。勝山公民館から勝山御殿跡まで時代衣装を纏った行列を行ったほか、勝山地区周辺の各史跡を巡るウォークラリーなどを行い、勝山御殿跡の史跡指定を祝うとともに、勝山御殿跡の認知度の向上や勝山地区の歴



			史や文化への関心が深まるようなイベントを開催した。
--	--	--	---------------------------

(4) 平成 30 年度刊行の埋蔵文化財関係印刷物

書名	体裁・部数	概要
丸小山墳墓群発掘調査報告書	A4 版 24 頁 300 部	平成 29 年度に実施した丸小山墳墓群発掘調査の調査成果について、整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行した。
下関市埋蔵文化財年報 10	A4 版 50 頁 300 部	平成 29 年度の埋蔵文化財調査業務内容を報告し、埋蔵文化財調査の概要を 6 件掲載した。

(5) 平成 30 年度実施の主な埋蔵文化財発掘調査成果概要

遺跡名	調査対象地	調査期間	調査原因	調査の概要
坂磯遺跡ほか 試掘調査	下関市 秋根上町一丁目ほか	平成 30 年 5 月 11 日～ 平成 30 年 9 月 27 日	土地区画整理 事業	昨年度に引き続き、土地区画整理事業計画に伴い、試掘調査を実施した。対象地内に設定した 13 か所の試掘坑のうち、4 か所の試掘坑でピットや土坑、墓坑などの遺構分布を確認した。検出した墓坑のうち、3 基を部分的に掘削した結果、土師器皿や寛永通寶を伴う成人女性の人骨を確認したほか、成人男性、幼児の人骨の残存を確認し、近世墓が良好に残存する状況を確認した。
長門国府跡 (宮の内地区) 確認調査	下関市 長府宮の内町	平成 30 年 6 月 22 日～ 平成 30 年 7 月 11 日	宅地造成	宅地造成工事に伴い、確認調査を実施した。対象地は史跡長門鑄銭所跡の東側隣接地に位置し、長門鑄銭所関連の遺構や遺物の分布が想定された。調査の結果、対象地の旧地形は国分寺川（逢坂川）の河道に位置し、中世以降の造成により、現在の地形面が形成された状況が確認された。なお、西側山麓部の崩落土と思われる堆積土中からは国府系軒丸瓦や均整唐草文軒平瓦などが出土し、長門鑄銭所に伴う瓦葺建物との関連が窺える。
長門国府跡 (宮の内地区) 確認調査	下関市 長府宮の内町	平成 30 年 8 月 9 日～ 平成 30 年 10 月 5 日	宅地造成	宅地造成工事の計画変更に伴い、前述の確認調査実施地点の南側隣接地について確認調査を実施した。対象地は史跡長門鑄銭所跡の東側隣接地に位置し、また平成 22 年度に鑄銭関連遺物が大量に出土した工事立会地点の北東隣接地に位置する。調査の結果、北側隣接地の調査所見同様、対象地の旧地形は国分寺川（逢坂川）の河道に位置し、中世以降の造成により、現在の地形面が形成された状況が確認された。これまでの調査成果や鑄銭関連遺物の出土状況からみて、対象地西側の市道におよび住宅地付近を境に地形変換点があり、長門鑄銭所関連遺構は西側の山麓部付近を中心に分布すると想定され、今回の対象地付近が長門鑄銭所跡の東限と考えられる。
延行条里遺跡 (松ノ木地区) 確認調査	下関市 富任町 7 丁目	平成 30 年 10 月 9 日～ 平成 30 年 10 月 25 日	宅地造成	宅地造成計画に伴い、確認調査を実施した。対象地は青山西麓から綾羅木川にかけての段丘上に位置する。基盤土上面で、中世頃の溝状遺構やピット状遺構の分布が確認された。堆積状況から、対象地周辺は近世以降に耕地化したものと考えられる。

## (6) 史跡管理・保存活用

活動名	日時	内 容
平成30年度 長門鑄銭所跡出土遺物保存活用	平成30年5月14日～ 平成31年3月29日	平成22年度に「長門鑄銭所跡」において出土した鑄銭関連遺物のうち、木簡資料55点について、適切な保存と価値付けを目的として、専門機関への委託により、保存処理等を実施した。併せて、撮影・積読等記録、樹種同定作業等を実施した。
丸小山墳墓群出土遺物保存処理等委託業務	平成30年11月21日～ 平成31年3月29日	丸小山墳墓群発掘調査で出土した鉄鏃等金属製品の一部について、委託業務による保存処理を実施した。



坂磯遺跡ほか試掘調査



長門国府跡（宮の内地区）確認調査



長門国府跡（宮の内地区）確認調査



延行条里遺跡（松ノ木地区）確認調査

# IV その他資料

## 1 教育委員会

### (1) 機構及び事務分掌

(平成31年4月1日現在)



## (2) 職員配置

(単位：人)

		平成 30 年度	平成 31 年度	内 訳					
				事 務	技 術	校 務 技 士	調 理 員	指 導 主 事	教 員
事務部局の職員		320	311	106	9	29	71	20	76
事務局		109	107	77	8	2	0	20	0
内 訳	教育部（教育長を含む）	5	4	4					
	教育政策課	8	8	7	1				
	学校教育課	15	15	5				10	
	教育研修課	10	10	2				8	
	学校支援課	13	12	5	5	2			
	学校保健給食課	9	10	8	2				
	生涯学習課	12	11	10	0			1	
	文化財保護課	10	10	10					
	体育課								
	図書館政策課	5	5	5					
	菊川教育支所	6	6	5				1	
	豊田教育支所	5	5	5					
	豊浦教育支所	6	6	6					
豊北教育支所	5	5	5						
学 校		186	179	5	0	27	71	0	76
内 訳	幼稚園	36	34						34
	小学校	72	69			12	57		
	中学校	29	28			14	14		
	高等学校	49	48	5		1			42
学校以外の教育機関		25	25	24	1	0	0	0	0
内 訳	公民館	0	0						
	南部調理場	1	1	1					
	中部調理場	1	1	1					
	豊田調理場	0	0						
	豊浦調理場	1	1		1				
	黒井調理場	0	0						
	滝部調理場	0	1	1					
	歴史博物館	7	7	7					
	考古博物館	4	2	2					
	図書館	0	0						
	豊田ホテルの里ミュージアム	1	1	1					
美術館	5	6	6						
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	5	5	5						

各年度4月1日現在。再任用短時間職員を除く。

## (3) 教育費予算

(単位：千円、%)

款	項	目	令和元年度			平成30年度	
			当初予算額	構成比	対前年比	当初予算額	構成比
教育費			7,786,339	100.0	98.3	7,924,124	100.0
		教育総務費	1,068,827	13.7	102.8	1,039,653	13.1
		教育委員会費	21,087	0.3	99.7	21,159	0.3
		事務局費	1,047,740	13.5	102.9	1,018,494	12.9
		小学校費	1,250,336	16.1	90.5	1,381,596	17.4
		学校管理費	990,453	12.7	89.1	1,111,088	14.0
		教育振興費	259,883	3.3	96.1	270,508	3.4
		中学校費	648,999	8.3	90.4	717,850	9.1
		学校管理費	437,542	5.6	86.0	509,008	6.4
		教育振興費	211,457	2.7	101.3	208,842	2.6
		高等学校費	565,465	7.3	94.2	599,970	7.6
		高等学校総務費	493,963	6.3	100.8	490,015	6.2
		高等学校管理費	53,718	0.7	64.3	83,596	1.1
		教育振興費	17,784	0.2	67.5	26,359	0.3
		幼稚園費	81,728	1.0	180.0	45,393	0.6
		幼稚園費	81,728	1.0	180.0	45,393	0.6
		社会教育費	1,881,116	24.2	96.5	1,949,455	24.6
		社会教育総務費	695,656	8.9	101.3	686,773	8.7
		青少年対策費	46,746	0.6	98.2	47,597	0.6
		文化財保護費	92,994	1.2	90.2	103,113	1.3
		公民館費	149,175	1.9	94.0	158,676	2.0
		図書館費	284,601	3.7	99.9	284,778	3.6
		博物館費	273,491	3.5	97.1	281,566	3.6
		美術館費	118,360	1.5	70.5	167,985	2.1
		生涯学習施設費	220,093	2.8	100.5	218,967	2.8
		保健体育費	2,104,622	27.0	106.7	1,972,838	24.9
		保健体育総務費	862,809	11.1	96.4	895,210	11.3
		体育振興費	112,209	1.4	128.2	87,521	1.1
		体育施設費	474,656	6.1	139.9	339,309	4.3
		学校給食共同調理場費	654,948	8.4	100.6	650,798	8.2
		大学費	185,246	2.4	85.2	217,369	2.7
一般会計			114,510,000	100.0	100.2	114,285,000	100.0
教育費			7,786,339	6.8	98.3	7,924,124	6.9

(注) 四捨五入の関係で、構成比が合計の数字と一致しない場合がある。

## 2 教育年譜

明治	22年	1889年	4月	市制施行、赤間関市誕生
	32	1899	1	赤間関幼稚園（現市立第一幼）開園
	35	1902	6	下関市と改称、赤間関商業学校を市立下関商業学校と改称
	38	1905	5	市立下関高等女学校開校（現下関南高、昭和3年県移管）
	39	1906	8	英国領事館（現旧下関英国領事館）上棟
	42	1909	4	名池小学校開校、市立第二幼稚園開園
			8	豊浦（長府）図書館開館
			10	市立第三幼稚園開園
	43	1910	4	市立下関実業補修学校開校（現下関中央工高）
大正	2	1913	-	梶栗浜遺跡から多紐細文鏡と細形銅剣を発掘
	3	1914	6	梅光女学院開校
	4	1915	4	桜山小学校開校
	9	1920	4	市立下関中学校開校（現下関西高）
	11	1922	3	市立第四幼稚園開園
	15	1926	7	下関商業学校、現在地へ移転
昭和	3	1928	9	向山小学校開校
	8	1933	10	桂 弥一、長門尊攘堂創建（現長府博物館）
	10	1935	4	安岡町役場（現安岡考古資料室）新築
	12	1937	6	日清講和談判記念館（現日清講和記念館）開設
	15	1940	7	市立下関図書館開館
	20	1945	6	空襲罹災、桜山・菁莪・生野・蓋井国民学校、第一・第四幼稚園、下関女子商業学校、梅光女学院、阿部高等技芸女学院、下関盲啞学校
			8	太平洋戦争終結、名池国民学校全焼
	21	1946	5	農林省水産講習所下関分所開設（現水産大学校）
	22	1947	4	新学制、新制中学校発足、第一中学校（現日新中）、第二中学校（現文洋中）、彦島中学校、長府中学校、東部中学校、安岡中学校、吉見中学校、王喜中学校、吉田中学校、内日中学校、北部中学校
	23	1948	4	第三中学校（現名陵中）開校、小月幼稚園開園
				新制高等学校発足、下関高等学校（現下関西高）、下関女子高等学校（現下関南高）、豊浦高等学校、長府女子高等学校（現長府高）、下関工業高等学校、下関実業高等学校（現下関中央工高）、下関商業高等学校、梅光女学院高等学校、早鞆高等学校、河野学園高等学校（現下関女子短期大学附属高等学校）
			7	第1回下関美術展開催
	24	1949	4	北部中学校分離、川中中学校と勝山中学校となる
			6	新制大学発足、山口大学農学部開設
			10	下関球場完成
	25	1950	4	西山小学校開校
			11	市民館（現文化会館）、公民館（現中央公民館）完成
	27	1952	6	下関図書館彦島分館開館
			11	市教育委員会発足、委員長 浅尾逸司
	28	1953	11	国宝指定（功山寺仏殿・住吉神社本殿）
	30	1955	4	神田小学校・玄洋中学校開校
	31	1956	2	市史編修委員会発足
			4	下関商業短期大学開学、角倉小学校開校
	33	1958	7	下関陸上競技場完成
			8	第11回全国高等学校陸上競技対抗選手権（インターハイ）開催

昭和	33年	1958年	12月	吉見公民館開館
	34	1959	4	向洋中学校開校
			10	日独交歓陸上競技大会開催
	35	1960	4	市営庭球場設置
			10	小月公民館開館
	36	1961	5	下関商業高等学校と鹿児島商業高等学校が姉妹校となる
			6	市民学級講座開講
	37	1962	4	下関市立大学開学、市立（現在県立）下関第一高等学校開校
	38	1963	4	第35回選抜高校野球大会で下関商業高等学校優勝
			8	第45回全国高校野球選手権大会で下関商業高等学校準優勝
			9	下関市体育館開設
			10	第18回山口国体秋季大会開催
			12	長府公民館開館
	39	1964	6	下関電子工業高等学校開校（現下関国際高校）
	40	1965	4	江浦幼稚園開園
			7	弥生遺跡綾羅木郷台地の発掘調査開始、川中公民館開館（現川中公民館分館）
			10	安岡公民館開館
	41	1966	4	山の田小学校、木屋川中学校（王喜・吉田両中の統廃合）開校
			8	第1回日韓親善関釜両市高校生交歓事業発足
	42	1967	9	長府図書館全面改築
	43	1968	8	全日本高校ハンドボール選手権大会で下関中央工業高校優勝 （以後44年、51年、52年優勝）
	44	1969	3	綾羅木郷遺跡緊急史跡指定
			4	山の田中学校、川中西小学校開校、生野・清末幼稚園開園
				下関市文化会館開館
			6	市指定文化財第1号の指定（蓮台寺木造十一面観音坐像）
			10	下関図書館移転改築完成
	45	1970	5	下関考古館開館、王司公民館開館
	46	1971	4	向山幼稚園開園、彦島公民館開館
			8	第1回関釜親善陸上競技大会開催、移動図書館業務開始
	47	1972	4	南部学校給食共同調理場完成、清末・内日公民館開館
			6	下関市武道館設置
	48	1973	3	市立青年の家完成
			4	川中西幼稚園開園、王喜・勝山公民館開館
	49	1974	1	彦島中学校火災
			3	全国子ども音楽コンクールで玄洋中学校全国1位（以後53年1位）
			4	桜山・第五幼稚園開園
			7	長府運動場完成、北部公民館開館
			10	桜山小学校六連分校廃校、彦島武道館開館
	50	1975	12	毎日音楽コンクールで安岡小学校全国1位
	51	1976	3	小月武道館完成
			7	市民プール完成
			10	下関市・韓国釜山直轄市姉妹都市盟約締結
			11	吉田公民館開館
	52	1977	1	全国合奏コンクールで下関西高校全国1位
			3	吉見武道館設置

昭和	52年	1977年	4月	彦島運動場設置
			5	下関市民会館完成
			7	吉見公民館移転改築
	53	1978	3	長府武道館設置
			4	川中幼稚園開園、吉母公民館開館 教育委員会が庁舎第一別館（旧逋信省下関電信局電話課庁舎）に移転
	54	1979	4	長府小学校開校、西部公民館開館
			8	第9回全国中学校バスケットボール選抜大会で彦島中学校優勝
			10	下関市・中国山東省青島市友好都市締結
	55	1980	4	玄洋・吉見中学校移転改築、長府博物館市移管（財団法人より）
			10	下関・青島市不定期航路就航（日中友好の船「ユートピア号」）
			12	川中武道館開館
	57	1982	4	向井・垢田小学校開校、西山・垢田幼稚園開園、下関市弓道場開設
9			蓋井小学校水泳プール完成（市内全小学校に設置完了）	
58	1983	4	下関市長府体育館開館	
		6	玄洋公民館開館	
59	1984	11	下関市立美術館開館	
		4	下関商業高等学校校舎全面改築完了	
		6	長州砲が120年ぶりにフランスから里帰り（博物館展示）	
		10	下関商業高等学校創立100周年記念	
		11	川中西小学校と中国山東省青島市上清路小学校が友好校締結 日新中学校と中国山東省青島市第17中学校が友好校締結 下関商業高等学校と中国山東省青島市第一職業高級中学校が友好校締結	
60	1985	4	垢田中学校開校	
		5	北運動公園に下関第二球場開設	
		10	中国青島市教育考察団来関	
		11	下関市青少年健全育成市民会議発足	
		11	一の宮小学校開校	
61	1986	4	一の宮小学校開校	
		8	全国高校総体開催（バドミントン・ウエイトリフティング・弓道）	
		10	下関商業高等学校と韓国釜山直轄市釜山商業高等学校（現 開成高等学校）が姉妹校調印	
62	1987	8	下関相撲場開設	
63	1988	3	豊浦幼稚園舎全面改築完了	
		7	北運動公園に新下関球場開設	
		11	内日中学校水泳プール完成（市内全中学校に設置完了）	
平成	元	1989	4	下関市制施行100周年記念、彦島体育館開館、森の家下関オープン
			8	下関市彦島庭球場開設
			12	“あるかぼ〜と下関”起工
	2	1990	1	下関市立大学と韓国釜山直轄市東義大学が姉妹校調印
			4	熊野小学校開校 長成中学校開校 下関市立大学学術センター完成 中部学校給食共同調理場完成
			7	彦島図書館開館
			7	彦島図書館開館
			7	彦島図書館開館
	3	1991	3	教員委員会が庁舎第一別館から教員委員会棟（旧水道局庁舎）に移転
			4	下関アーチェリー場開設 下関市垢田体育館開設
			5	仁馬山古墳が国指定史跡となる
			5	仁馬山古墳が国指定史跡となる
5			仁馬山古墳が国指定史跡となる	



平成	3年	1991年	7月	第1回下関市中学校海外派遣研修（韓国）
			9	台風17、19号により学校諸施設に多数の被災を受ける
			10	下関図書館コンピュータ化に着手
	4	1992	3	史跡綾羅木郷遺跡の西地区を古墳の森として整備 向洋町スポーツセンターテニスコート全天候型に改修完了
			6	川中公民館移転改築
			9	学校週5日制スタート
	5	1993	8	第41回日本海洋少年団全国大会開催 （常陸宮殿下、同妃殿下来関）
			10	吉見体育館開設
	6	1994	3	下関商業高等学校図書館改築
			4	下関市立下関・長府・彦島各図書館コンピューター処理開始 北運動公園庭球場設置
	7	1995	1	生涯学習推進本部設置
			5	下関市立考古博物館開館 （三笠宮殿下・同妃殿下来関）
	8	1996	10	一の宮児童クラブ（別棟教室）開設
	9	1997	4	下関市体育館リニューアルオープン
			5	長府東公民館開館
			8	「下関市生涯学習まちづくり推進基本構想」策定
			10	熊野児童クラブ（別棟教室）開設
	10	1998	4	下関市民会館リニューアルオープン 財団法人下関市文化振興財団発足
			10	下関陸上競技場リニューアルオープン
	11	1999	5	旧下関英国領事館が重要文化財に指定
	12	2000	3	勝山児童クラブ（別棟教室）改築
			5	小月公民館リニューアルオープン
			12	「下関市生涯学習まちづくり推進プラン」策定
	13	2001	4	児童・ふれあいクラブが保健福祉部こども課に移管 火の山ユースホステルが産業経済部観光施設課に移管 下関市立しものせき水族館「海響館」オープン 「唐戸市場」リニューアルオープン
			10	移動図書館車「ともしび号」にかわり、新車「ブックル」で運行開始
	14	2002	4	社会教育課同和教育係の事務を人権啓発課に移管 青少年課の係を廃止 第54回国際捕鯨委員会（IWC）年次会合開催
	15	2003	4	北九州市との図書館広域利用開始
			10	第18回世界宇宙飛行士会議・コミュニティデーin下関開催
			11	下関市フットサル場完成
	16	2004	6	文化課の係を廃止し、文化課を文化財保護課に改める
	17	2005	2	下関市と豊浦郡4町が合併し、新しい下関市が誕生する 菊川、豊田、豊浦、豊北の各教育支所を設置する
			4	豊浦中学校と宇賀中学校を統合し、夢が丘中学校を開校
			10	図書館のコンピュータシステム統合
	18	2006	4	小野ふれあいセンター開館 豊北第一中学校・豊北第二中学校・豊北第三中学校・角島中学校を統合し、豊北中学校を開校

平成	18年	2006年	9月	下関球場スコアボード電光掲示板供用開始
	19	2007	10	第28回国際・全日本マスターズ陸上競技選手権山口（下関）大会開催
	20	2008	3	「下関市子どもの読書活動推進計画」策定
			4	教育委員会機構改革 総務課を教育政策課と学校支援課へ分割 学校教育課を学校教育課と学校安全課に分割 指導課を廃止し学校教育課内に教育研修室を設置 社会教育課と青少年課を生涯学習課として統合 教育支所の課を廃止
	21	2009	4	幼保一体化施設「西市こども園」、「豊北こども園」開園
			5	彦島公民館リニューアルオープン
			11	下関図書館閉館
	22	2010	1	鳥山民俗資料館が下関市川棚温泉交流センター内に移転、開館
			3	生涯学習プラザ開館 中央図書館開館
			4	川中中学校が伊倉新町の新校舎に移転
			6	東行記念館開館
			8	長州藩下関前田台場跡（前田砲台）が国指定史跡となる
	23	2011	2	教育委員会が教育委員会棟から上田中町庁舎（旧下関図書館）に移転
			4	教育委員会機構改革 教育部を設置 体育課の事務（学校体育を除く）を観光交流部スポーツ振興課に移管し、体育課を廃止 長府博物館、東行記念館を文化財保護課に移管 鳥山民俗資料館及び豊北歴史民俗資料館を人類学ミュージアムに移管 学校安全課内に生徒指導推進室を設置
			11	豊北歴史民俗資料館リニューアルオープン
	24	2012	4	豊田西中学校と豊田東中学校を統合し、豊田中学校を開校
	25	2013	4	下関商業高等学校の新講堂が竣工
	26	2014	2	勝山公民館リニューアルオープン
			3	神田公民館廃止
			4	第二、第四、桜山、檜崎幼稚園を廃園
			8	全国コミュニティ・スクール研究大会 in 下関開催
			12	豊浦図書館が豊浦総合支所2階にリニューアルオープン
	27	2015	3	「下関市子どもの読書活動推進計画（第二次）」策定 三豊、二見、田耕小学校を閉校
			4	西市公民館開設
			5	第1回下関市総合教育会議開催 「下関市教育振興基本計画（下関市教育大綱）」策定
			7	第23回世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラム開催
	28	2016	3	下関市教育センターオープン 教育委員会が上田中町庁舎から下関市教育センターに移転 殿居小学校を閉校
			4	教育委員会機構改革 教育研修室を廃止し、教育研修課を設置 生徒指導推進室を学校安全課内から学校教育課内に移管 歴史博物館を設置、学校安全課を組織改正し、学校保健給食課の設置

---

平成	28年	2016年	5月	下関市立図書館のコンピュータシステム更新
			10	NHK全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞
			11	下関市立歴史博物館開館
	29	2017	3	神田小学校（西神田町）を閉校
			4	関門海峡が「関門ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として日本遺産に認定
			10	NHK全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞（2年連続） 「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記録」に登録
	30	2018	3	「下関市立図書館基本計画」策定
			4	旧菊川体育館を菊川中学校体育館として学校支援課に移管
	31	2019	2	勝山御殿跡が国指定史跡となる
			3	神玉、神田小学校（豊北町）を閉校



# 教 育 要 覧

令和元年度

発行：下 関 市 教 育 委 員 会

〒751-0830

山口県下関市幡生新町 1-1 下関市教育センター

編集：下関市教育委員会 教育部 教育政策課

T E L 0 8 3 - 2 3 1 - 1 5 6 0